

1 学校給食が好きか

学校給食が「大好き」、「好き」と回答した者は、図 1、2 のとおり、小学校男子で 65.0%、小学校女子で 62.7%、中学校男子で 55.9%、中学校女子で 55.3%であった。小・中学校間で比較すると、小学校の方が中学校よりも、給食が好きだと回答する者がやや多い傾向にあった。

学校栄養職員配置、未配置で比較すると、図 3、4 のとおりであり、中学校では学校栄養職員配置校の方が「給食が好き」と回答している生徒の割合が高かった。

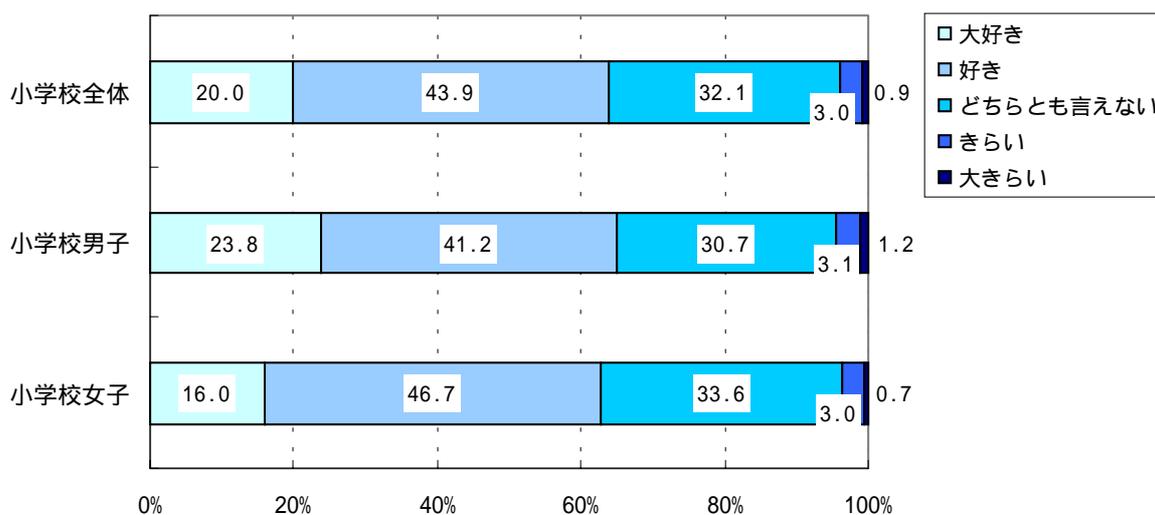


図 - 1 学校給食が好きか（小学校）

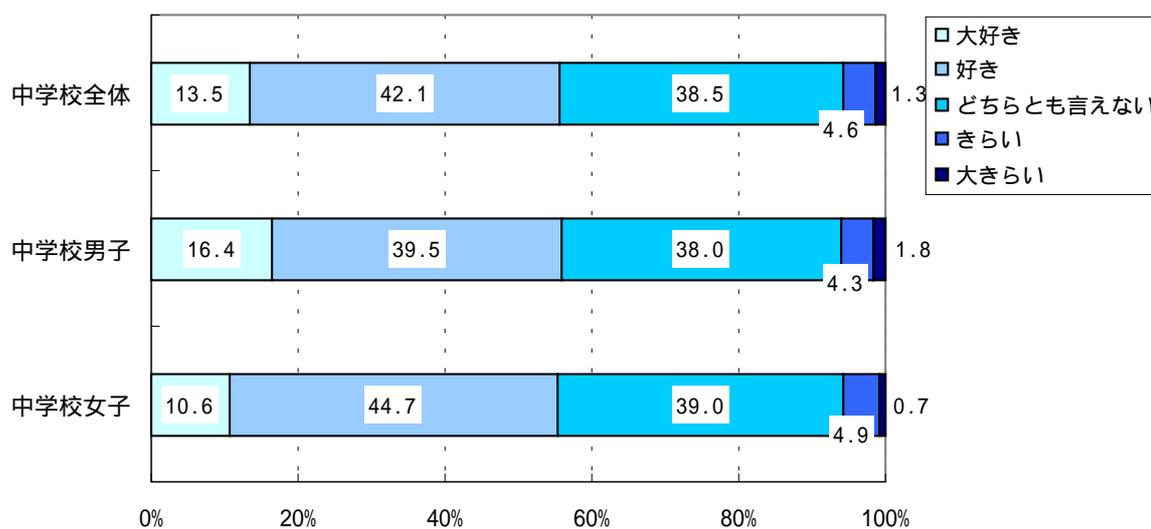


図 - 2 学校給食が好きか（中学校）

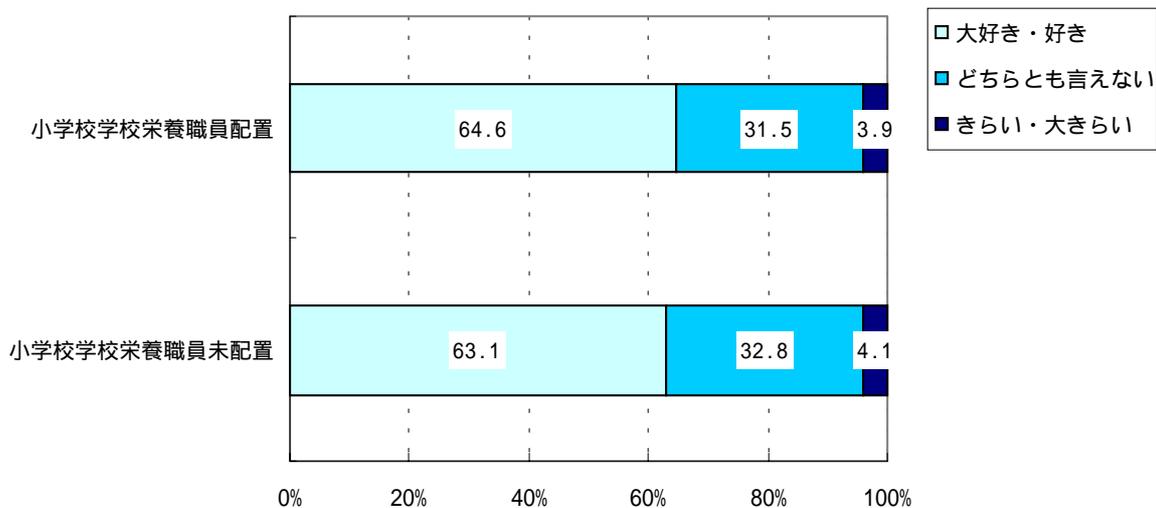


図 - 3 学校給食が好きか《学校栄養職員配置未配置》（小学校）

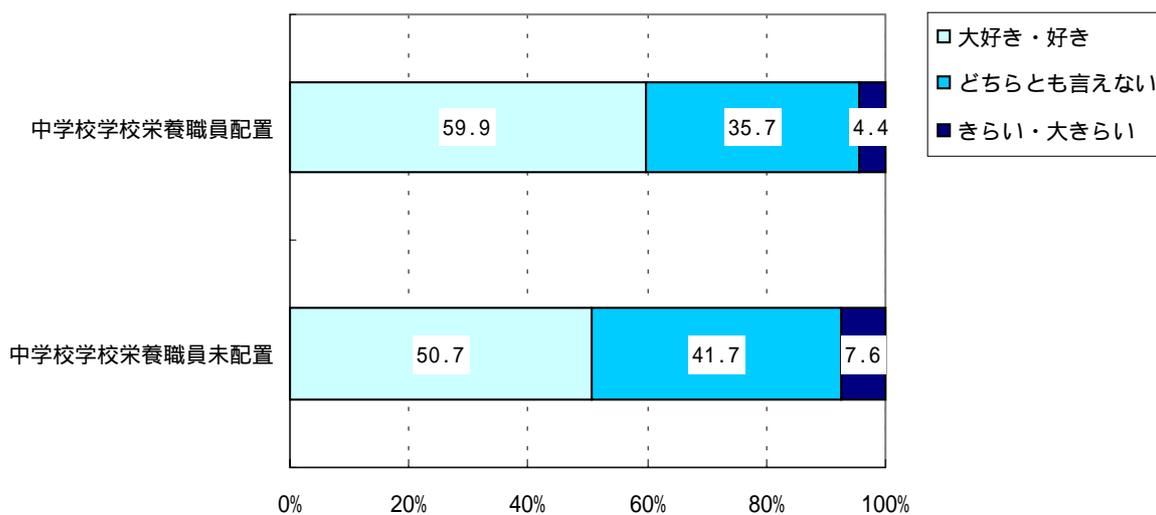


図 - 4 学校給食が好きか《学校栄養職員配置未配置》（中学校）

2 学校給食が好きな理由

学校給食が「大好き」、「好き」な理由は、図 5 のとおり「みんなと一緒に食べられる」、「おいしい給食が食べられる」からと回答した児童生徒が多かった。「おいしい給食が食べられる」という項目は、小学校 64.0%、中学校 63.4%と、小・中学校間で差は見られなかったが、「みんなと一緒に食べられる」という項目は小学校 69.8%、中学校 59.3%と、小学校の割合が高かった。また、男女間で比較すると、図 6 のとおり、男子は「おいしい給食が食べられる」、「好きなものが食べられる」、女子は「みんなと一緒に食べられる」、「家で食べられない料理が食べられる」、「栄養のバランスがとれた食事が食べられる」という項目で割合が高かった。

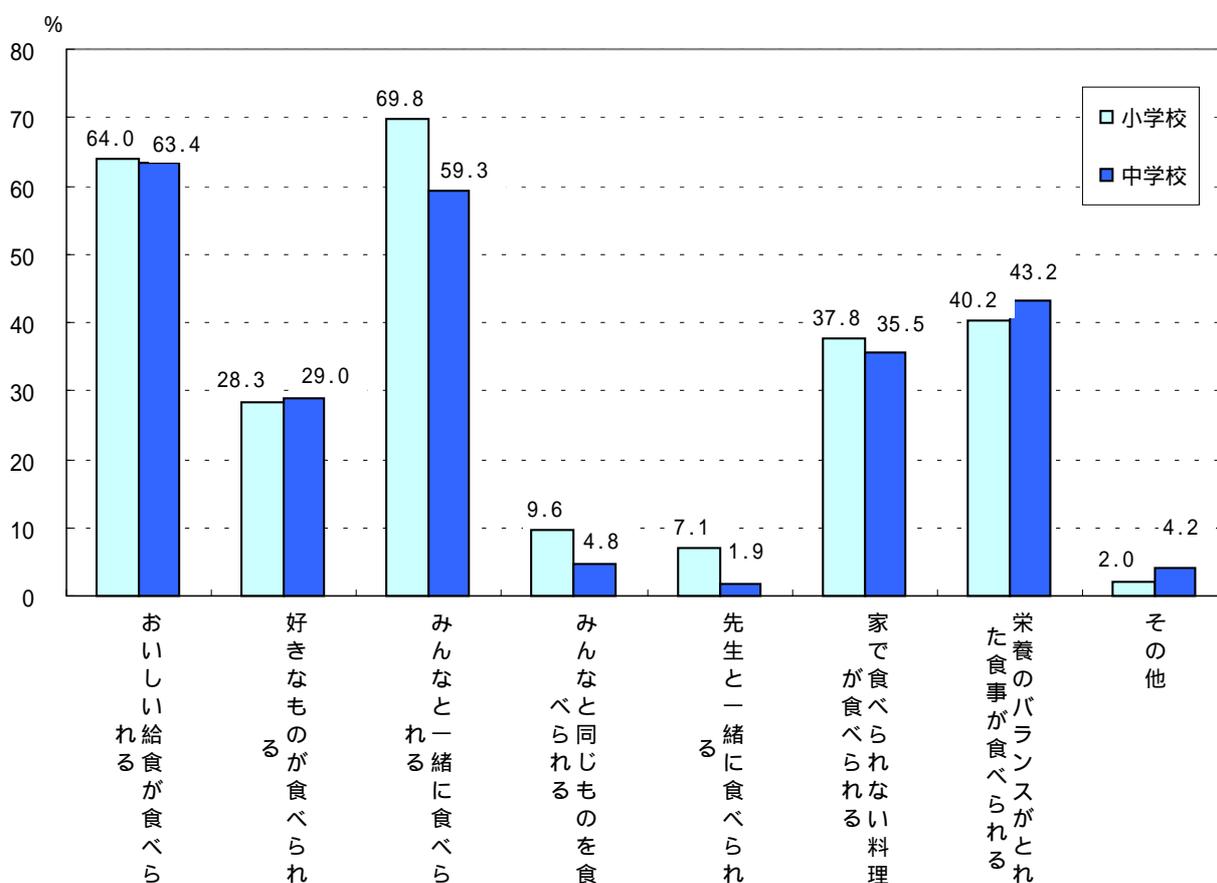


図 - 5 学校給食が好きな理由(複数回答)

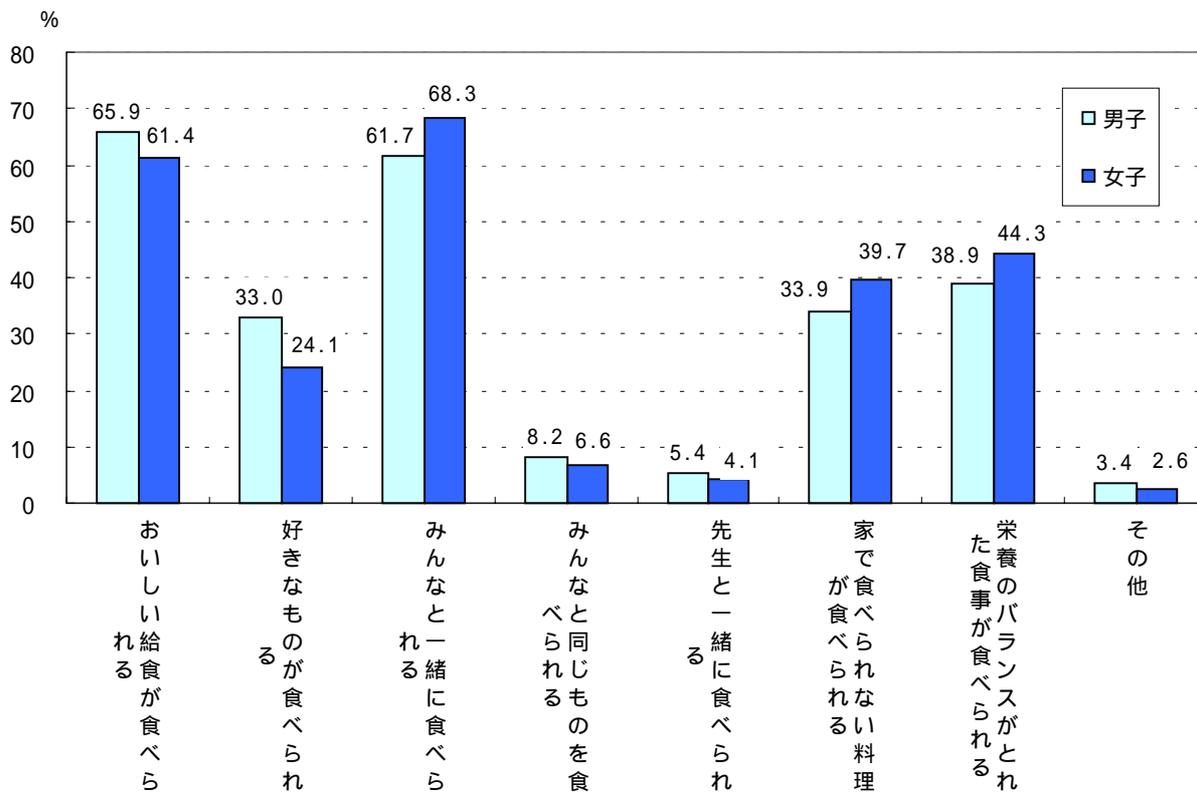


図 - 6 学校給食が好きな理由《男女別》(複数回答)

3 学校給食を残すことがあるか

学校給食を残すことがあると回答した者は、図 7、8 のとおり、小学校全体で 62.6%、中学校全体では 71.8%であった。男女間で比較すると、小学校、中学校とも女子の方がやや割合が高くなっており、特に中学校女子で高く、84.7%であった。

都市部、農山漁村部で比較すると、図 9 のとおり都市部でわずかに残す者の割合が高かった。

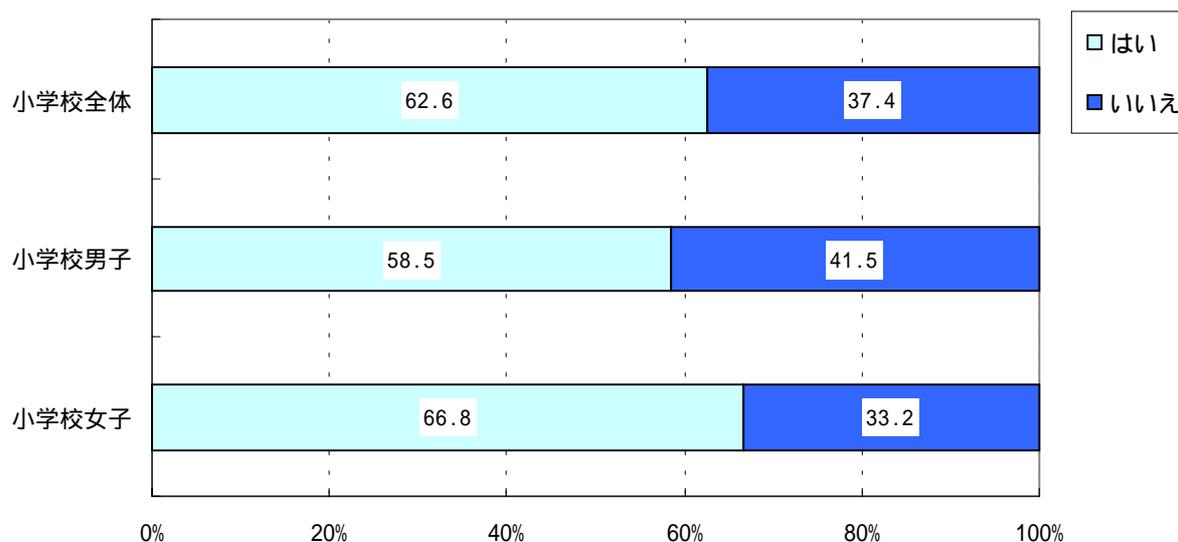


図 - 7 学校給食を残すことがあるか(小学校)

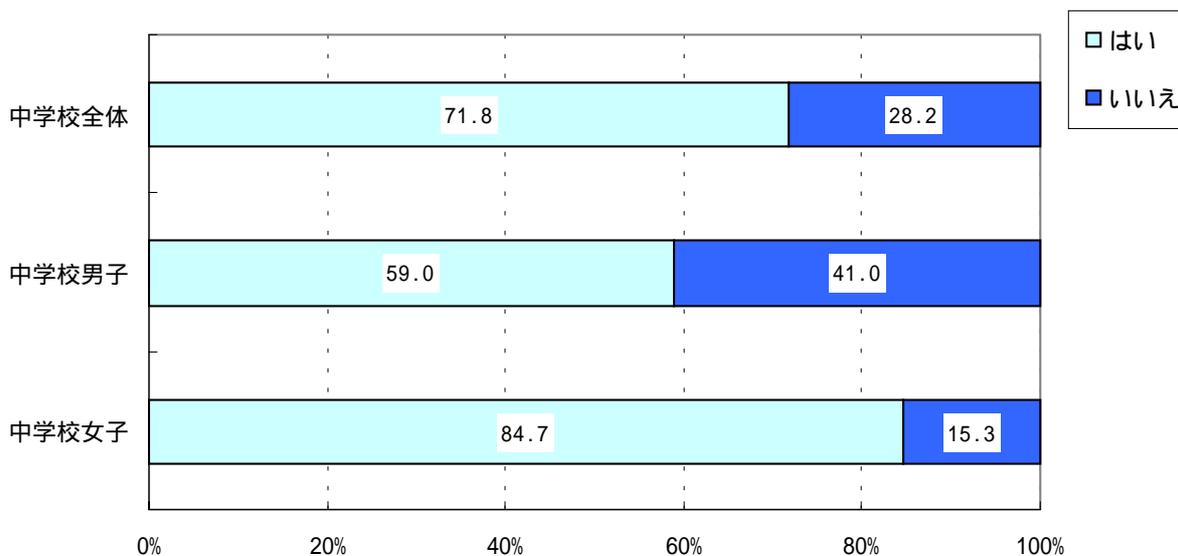


図 - 8 学校給食を残すことがあるか(中学校)

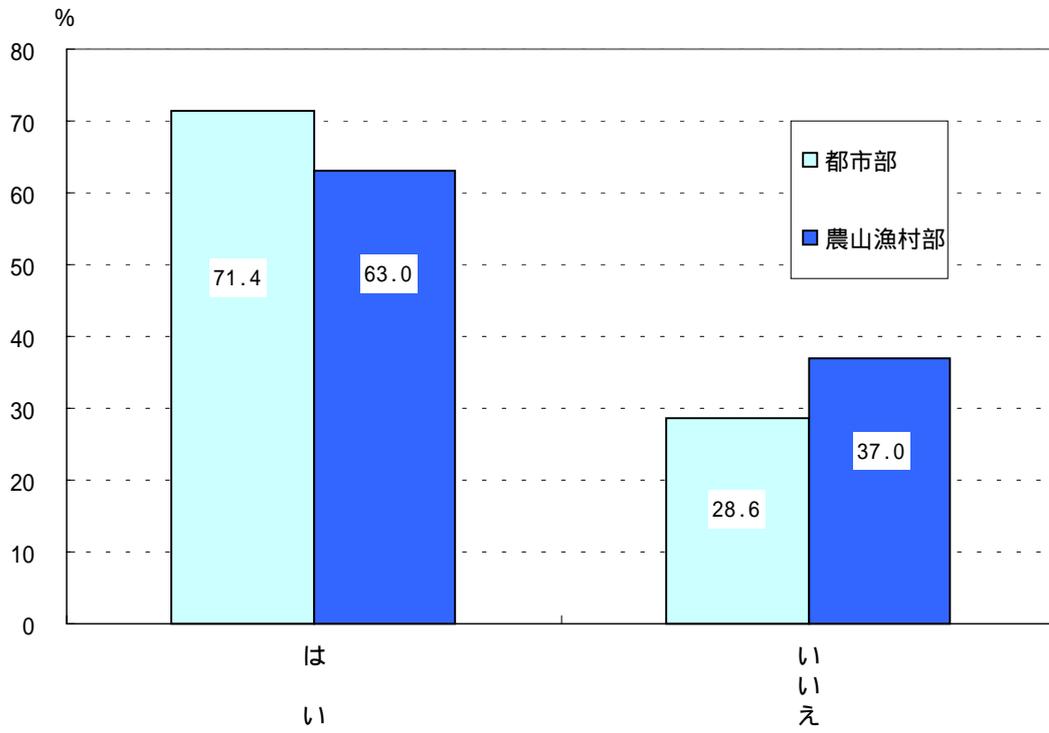


図 - 9 学校給食を残すことがあるか《環境別》

4 学校給食を残す理由

学校給食を残す理由は、図 10 のとおり「きれいなものがあるから」と回答した者が最も多く、小学校男子で 70.2%、小学校女子で 66.5%、中学校男子で 70.0%、中学校女子で 69.6%であった。

「量が多すぎるから」、「時間がないから」といった項目では、男女間で違いが見られ、女子で高い割合を示す傾向が見られた。

小学校、中学校での比較では、「おいしくないから」残すと回答した者の割合が、中学校で小学校の 2 倍近くとなった。

都市部、農村漁村部間では、図 11 のとおり「量が多すぎるから」、「時間がないから」に差が見られるが、他の項目においては大きな違いは見られなかった。

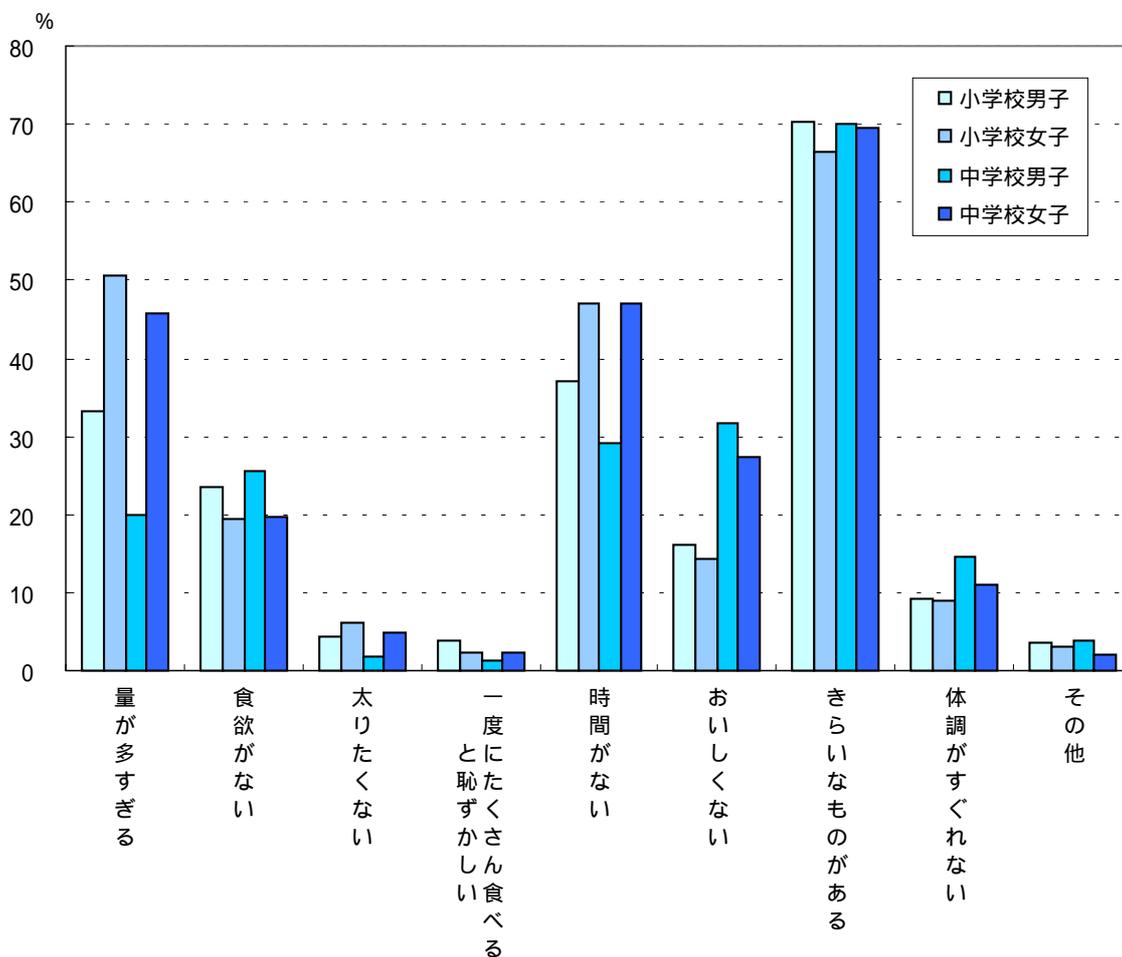


図 - 10 学校給食を残す理由（複数回答）

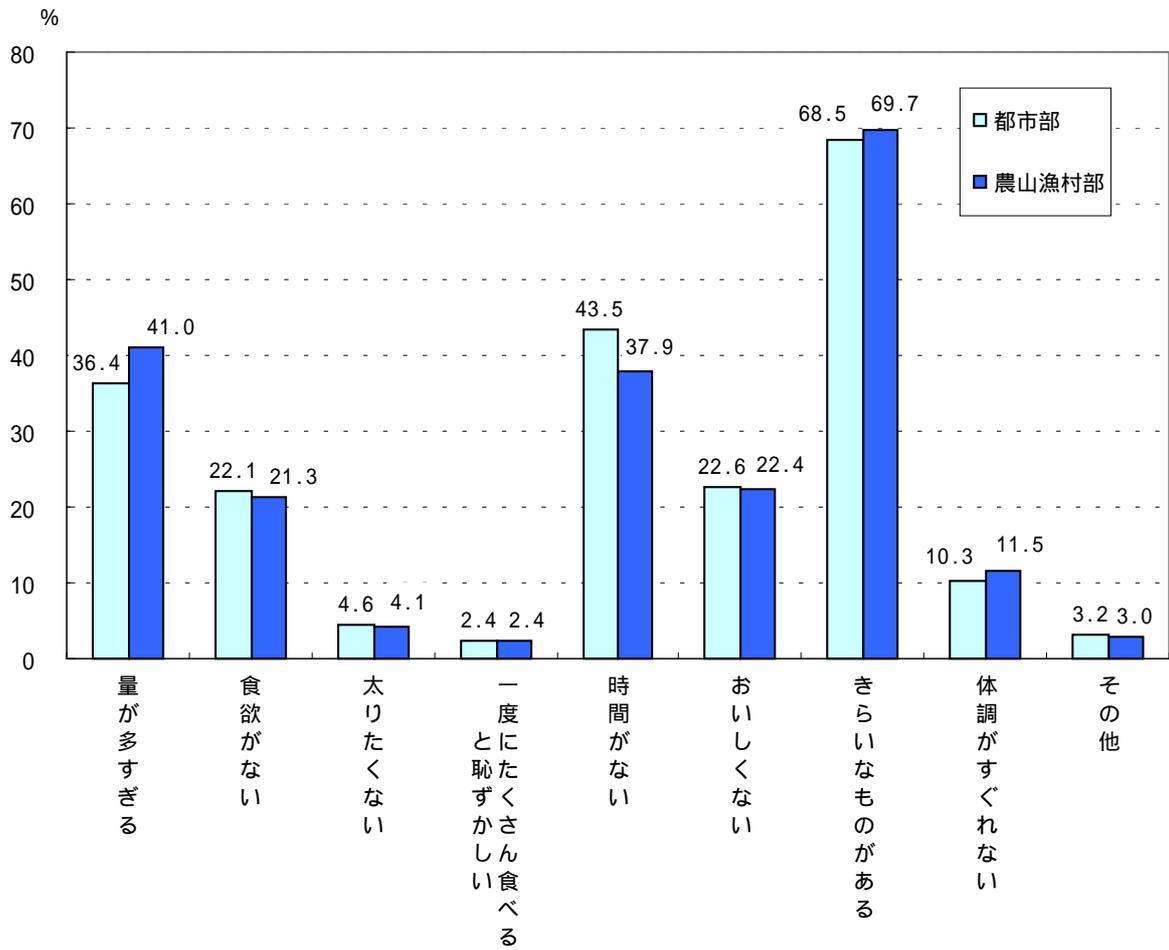


図 - 11 学校給食を残す理由《環境別》（複数回答）

5 食事のときに気をつけていること

図 12 のとおり「三食必ず食べる」(75.6%)、「楽しく食べるようにしている」(68.8%)、「牛乳や小魚を食べるようにしている」(67.9%)ということに気をつけて食事をしている者の割合が高かった。逆に「好ききらいをしないようにしている」という項目は、「いいえ」と答えた者が52.6%と高く、あまり気をつけていないといえる。

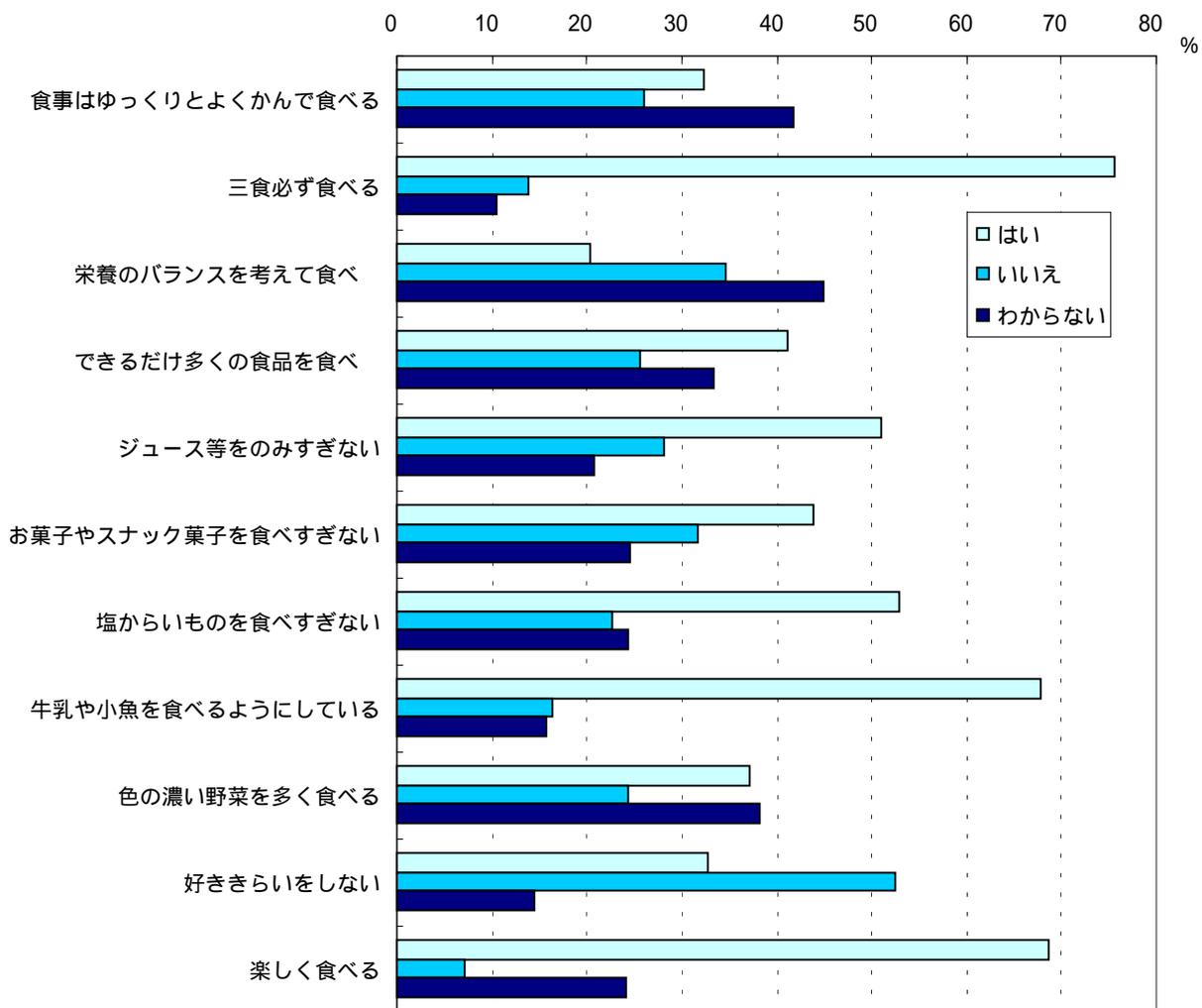


図 - 12 食事のときに気をつけていること

6 食品の働き

食品の働きについては、図 13、図 14 および図 15 のとおり、すべての食品群において、小学校の方が中学校より正解数が多い傾向にあった。学校栄養職員配置、未配置で比較すると、学校栄養職員配置校の方が未配置校よりやや正解数が多かった。

食品別に見ると、おもに体の調子をととのえる食品（緑色の食品）の正解率が高く、おもに熱や力となる食品（黄色の食品）の正解率が低かった。

おもに血や肉となる食品（赤色の食品）の回答において、肉は「豚肉」、「牛肉」、「鶏肉」と具体的に記述されていたが、魚は具体的な名前は肉より記述されていなかった。

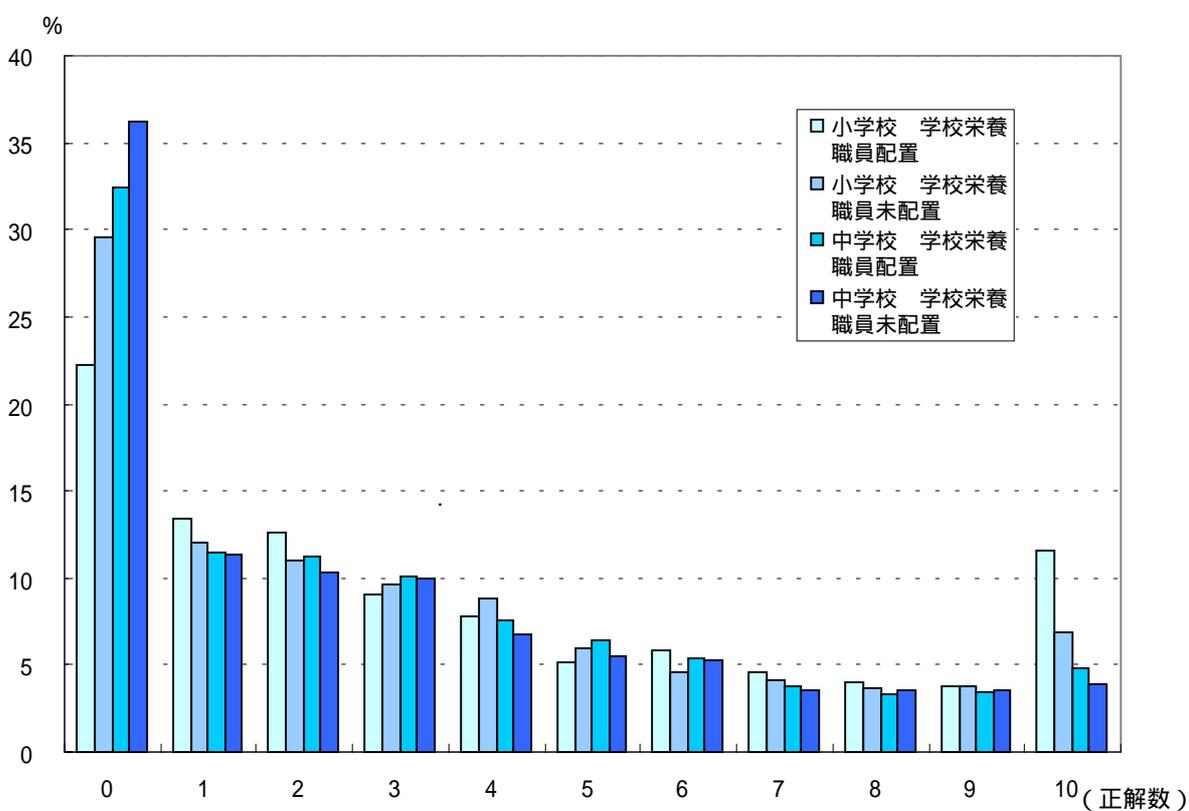


図 - 13 食品の働き（黄色の食品）

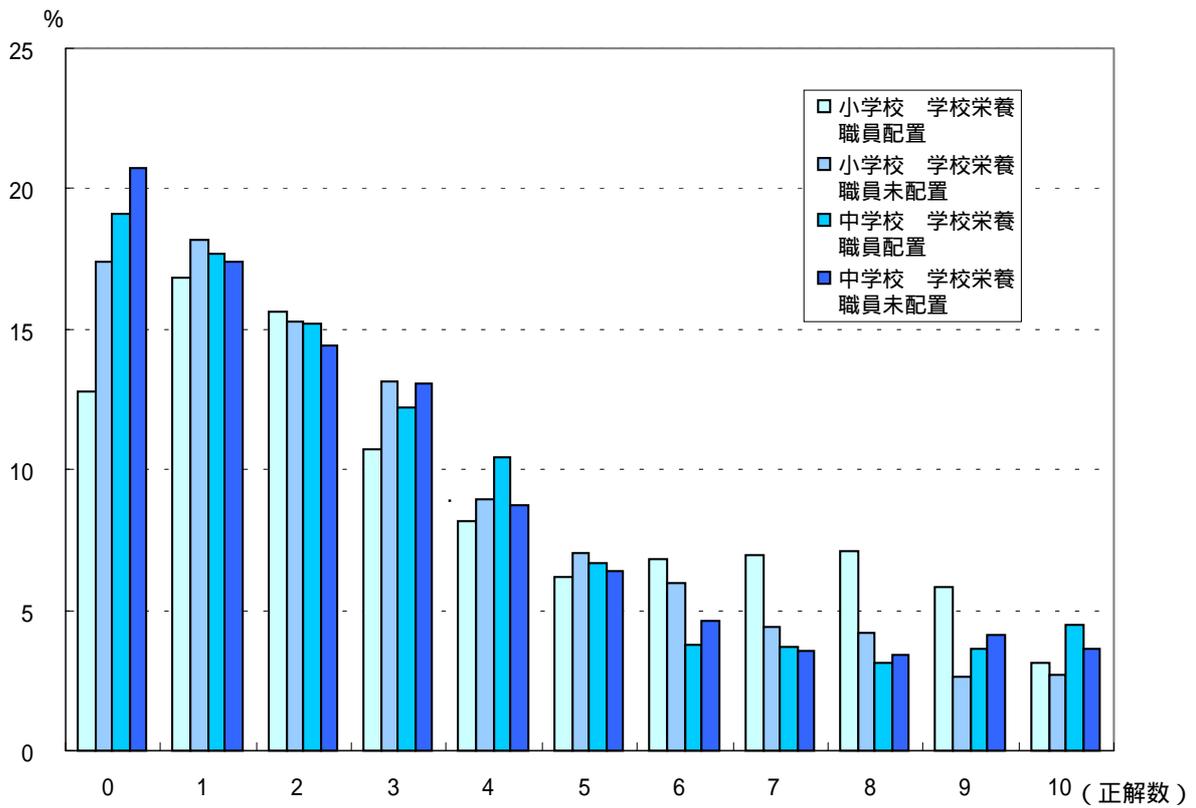


図 - 14 食品の働き（赤色の食品）

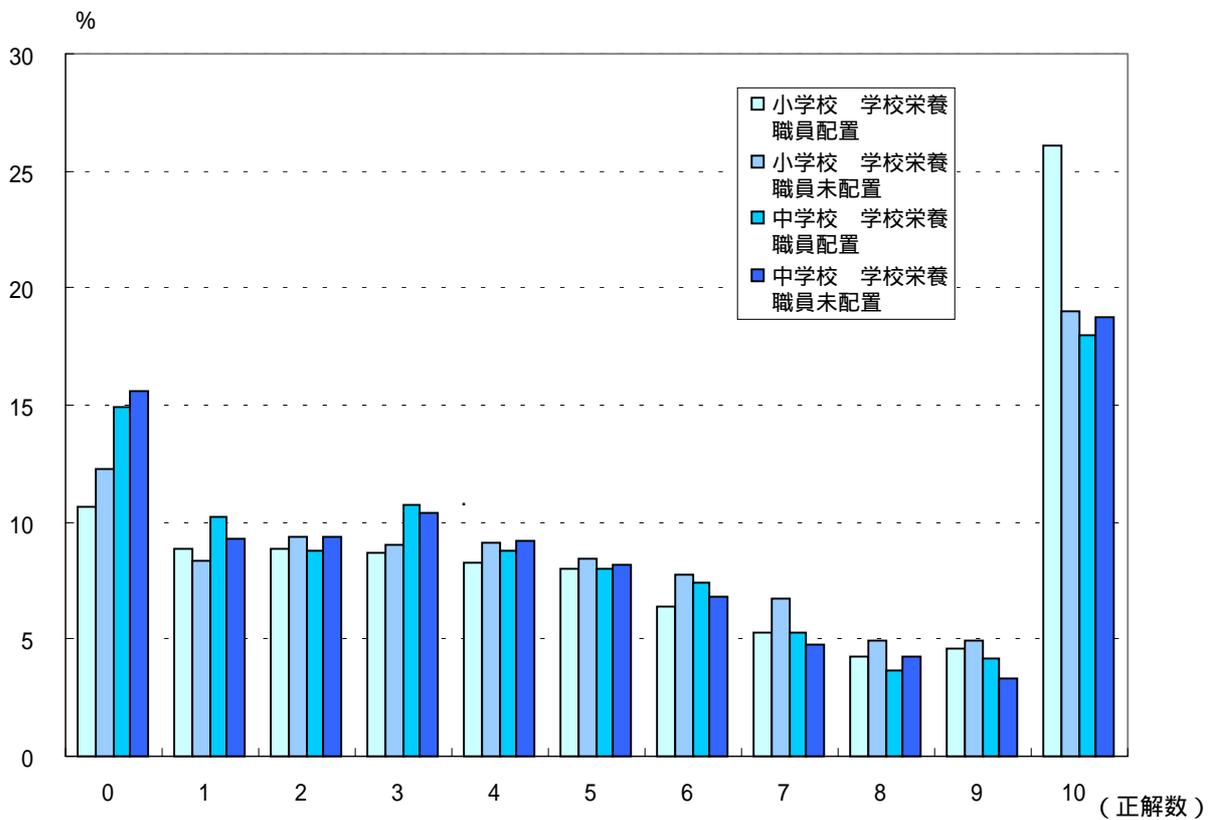


図 - 15 食品の働き（緑色の食品）

7 起床の仕方

「一人で自然に目がさめた」との回答が最も多かったのは、図 16、17 のとおり小学校男子で 44.9%、最も少なかったのは中学校女子で 24.4%であった。小学校全体としては約 60%、中学校全体としては約 70%の者が目ざまし時計や家族の助けを受けて起床している。

都市部、農山漁村部間の比較では、図 18 のとおりほとんど差が見られなかった。

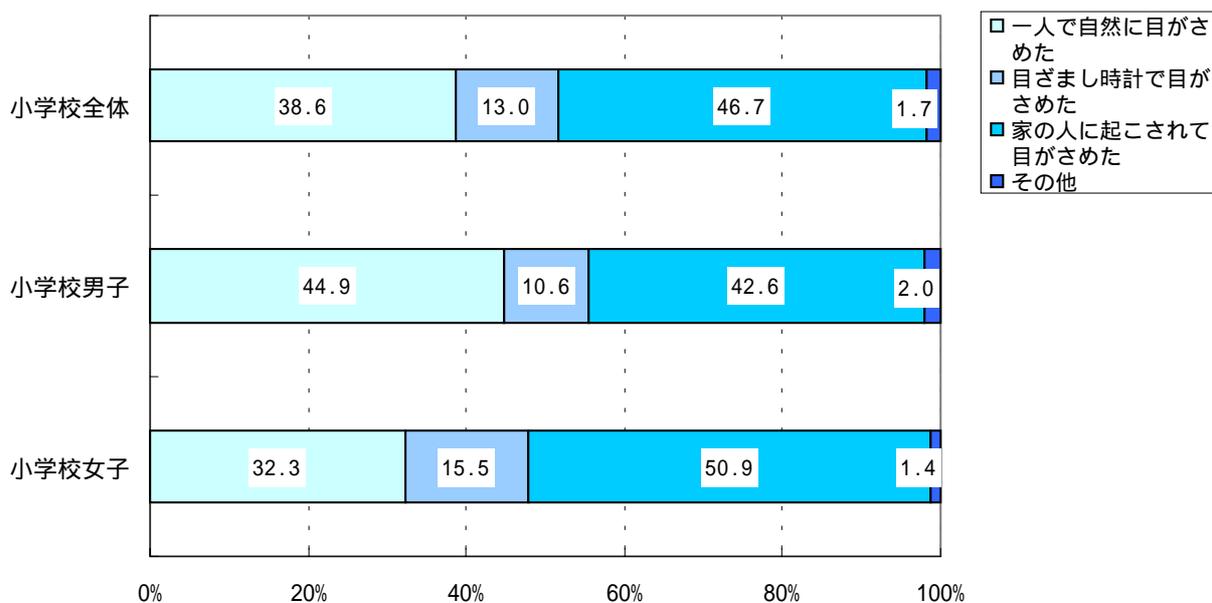


図 - 16 起床の仕方（小学校）

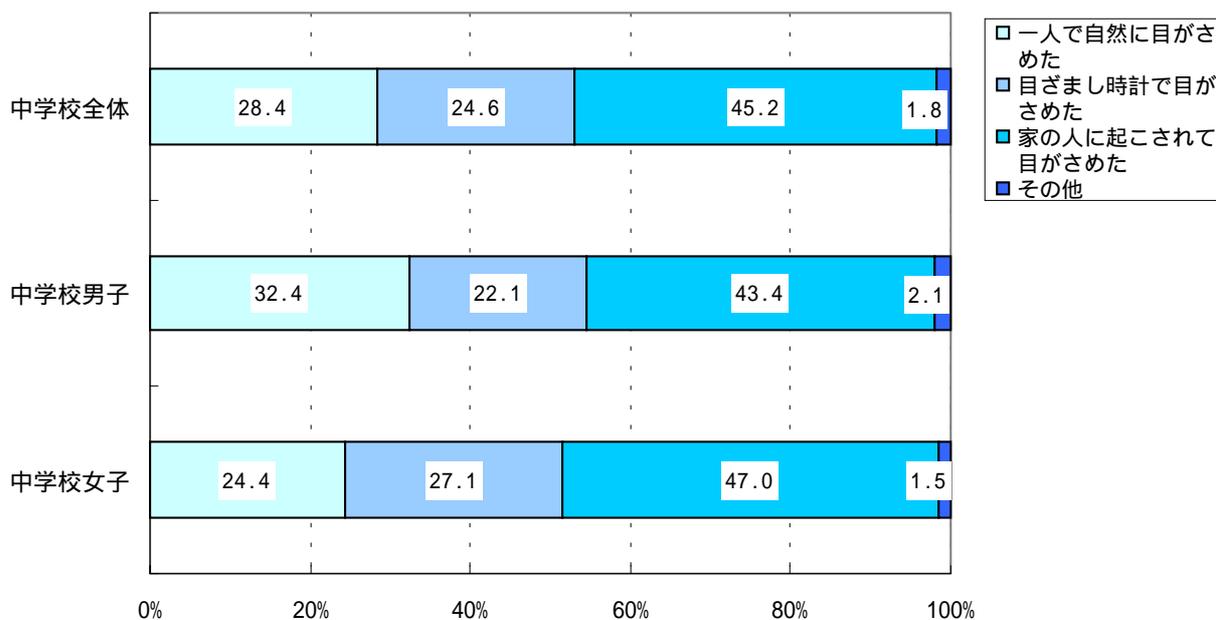


図 - 17 起床の仕方（中学校）

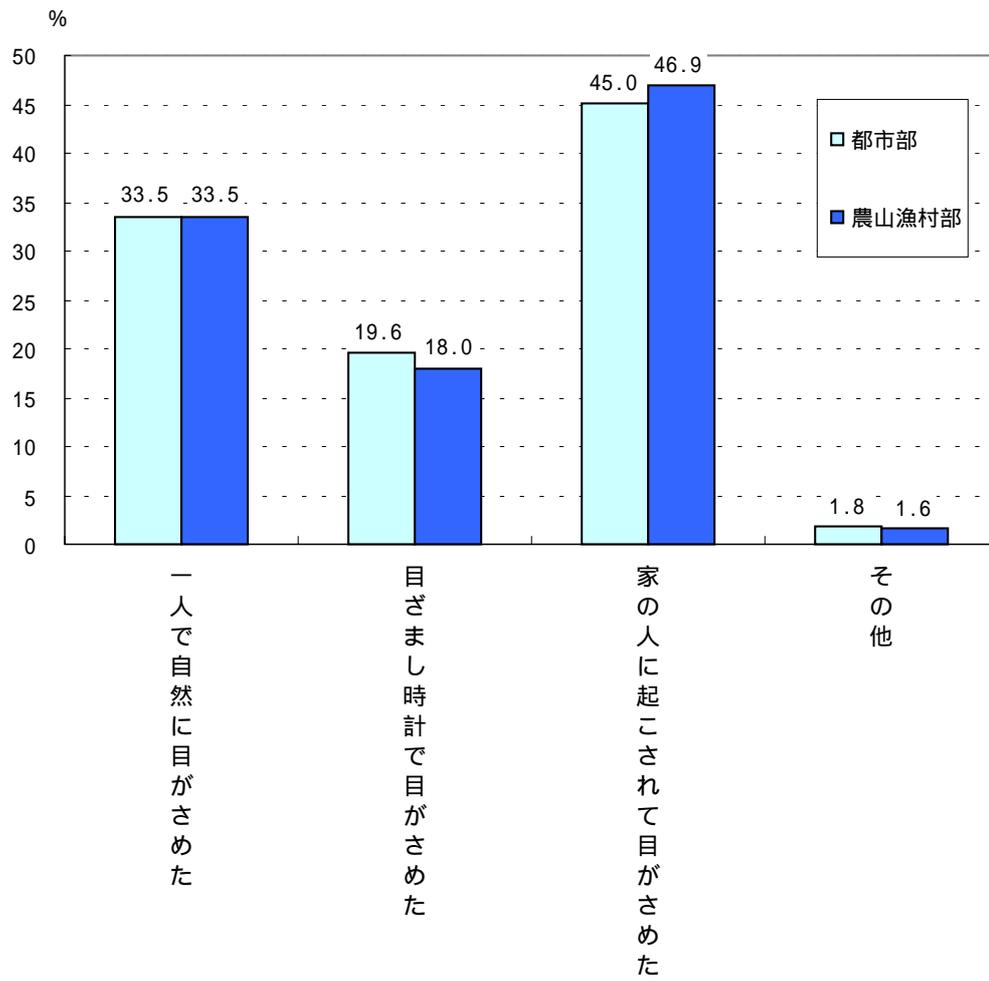


図 - 18 起床の仕方《環境別》

8 起床時の状態

起床時の状態は、図 19、20 のとおり「少し眠かった」と回答している児童生徒が最も多く、小学校全体で 55.8%、中学校全体で 49.4%であった。「眠くて、なかなか起きられなかった」と回答した児童生徒は、小学校男子 26.0%、小学校女子 25.5%、中学校男子 38.2%、中学校女子 41.5%と、中学生になるとなかなか起きられなくなる傾向が見られた。

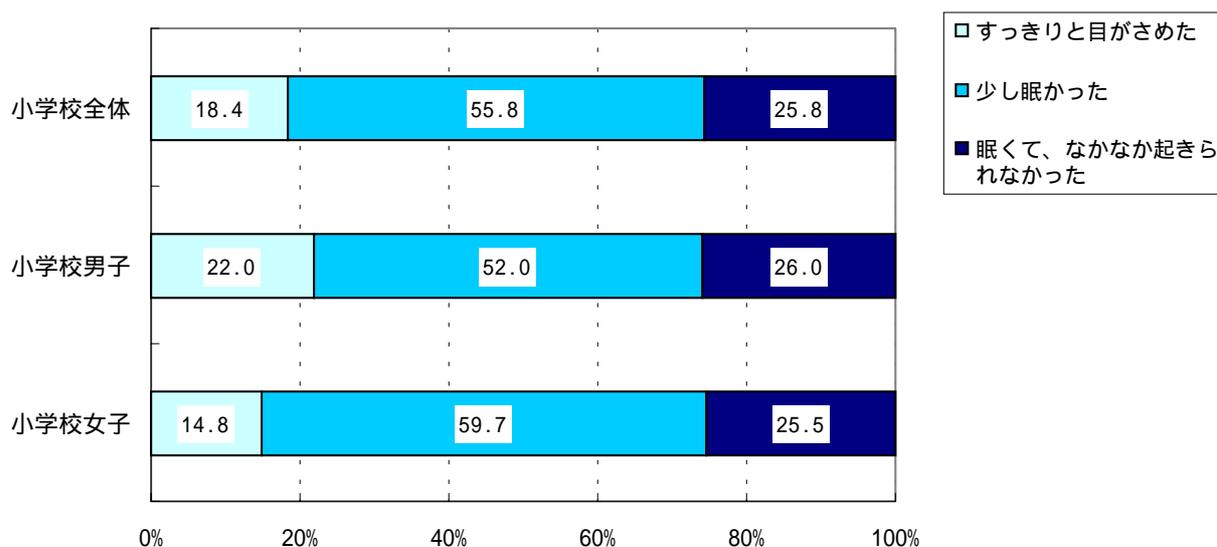


図 - 19 起床時の状態（小学校）

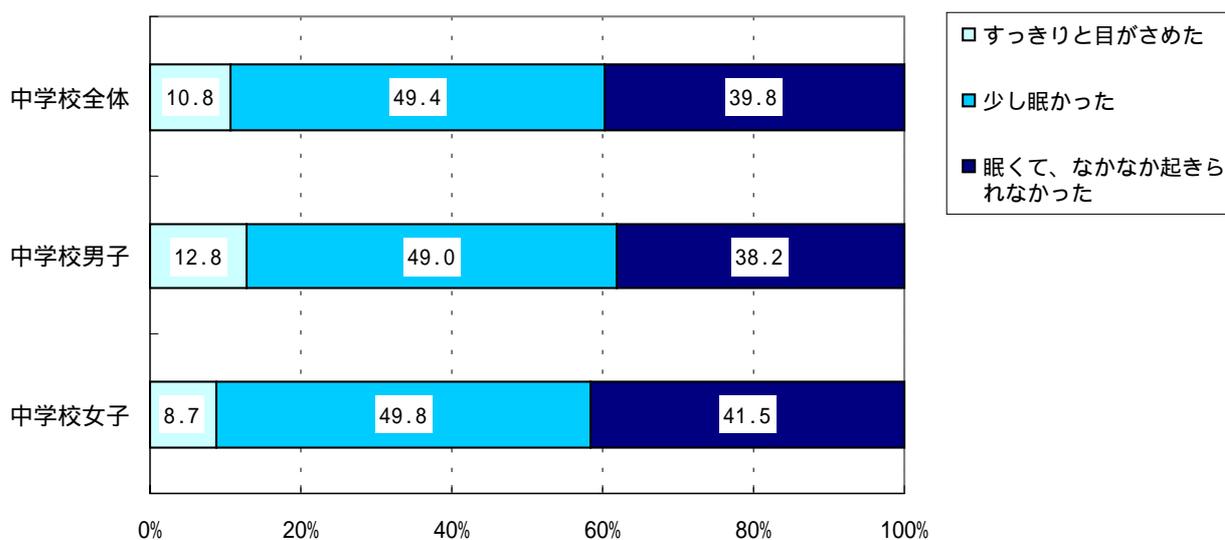


図 - 20 起床時の状態（中学校）

9 朝食の欠食状況

朝食を食べないことがあると答えた児童生徒は、図 21 のとおり、中学校の方が小学校よりやや多かった。

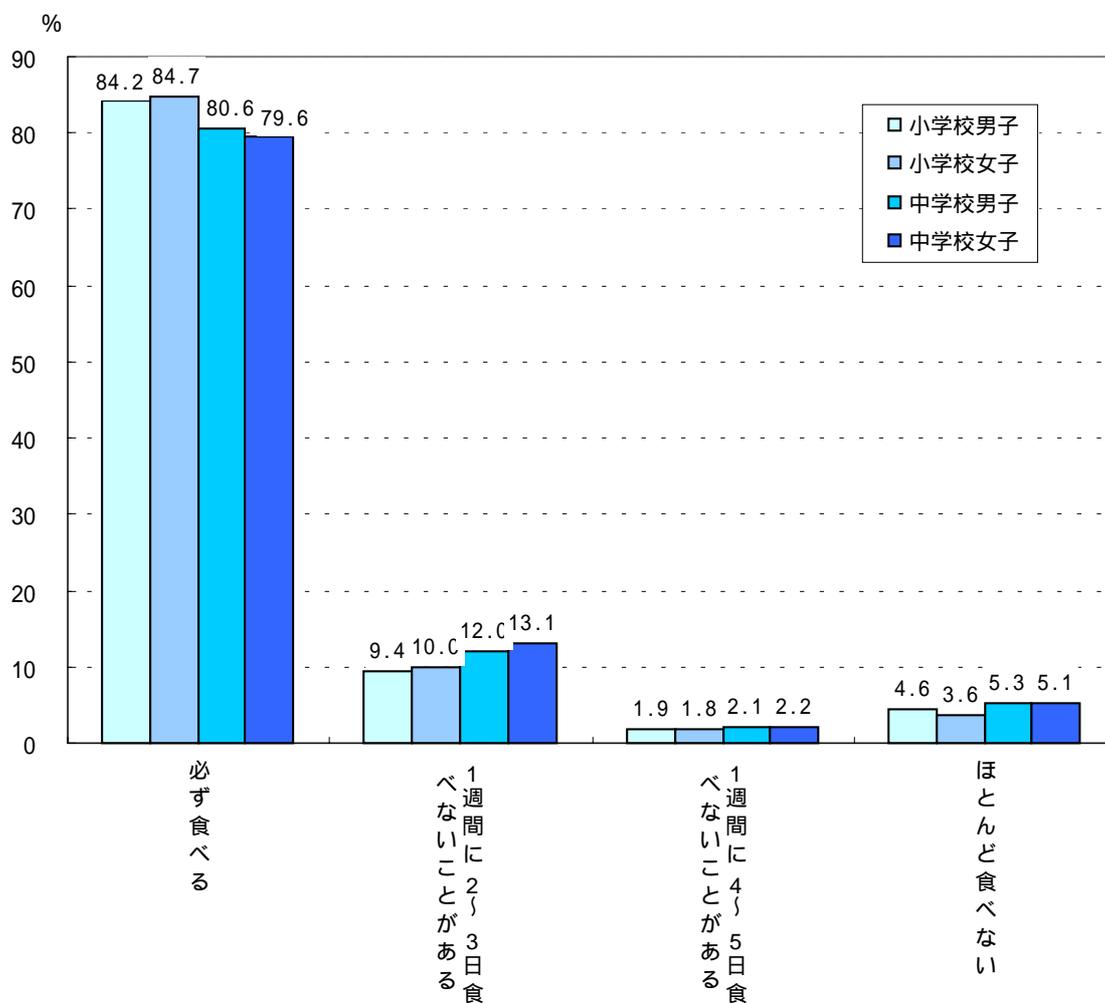


図 - 21 朝食の欠食状況

10 朝食の欠食理由

朝食の欠食理由として最も多かったのは、図 22 のとおり「時間がないから」で、小学校男子 36.5%、小学校女子 45.9%、中学校男子 50.9%、中学校女子 52.2%と、中学校でやや高い割合になっている。次いで多かったのが「食欲がない」で、小学校男子 36.3%、小学校女子 38.1%、中学校男子 30.8%、中学校女子 30.8%と、この項目は小学校の方がやや高い割合になっている。

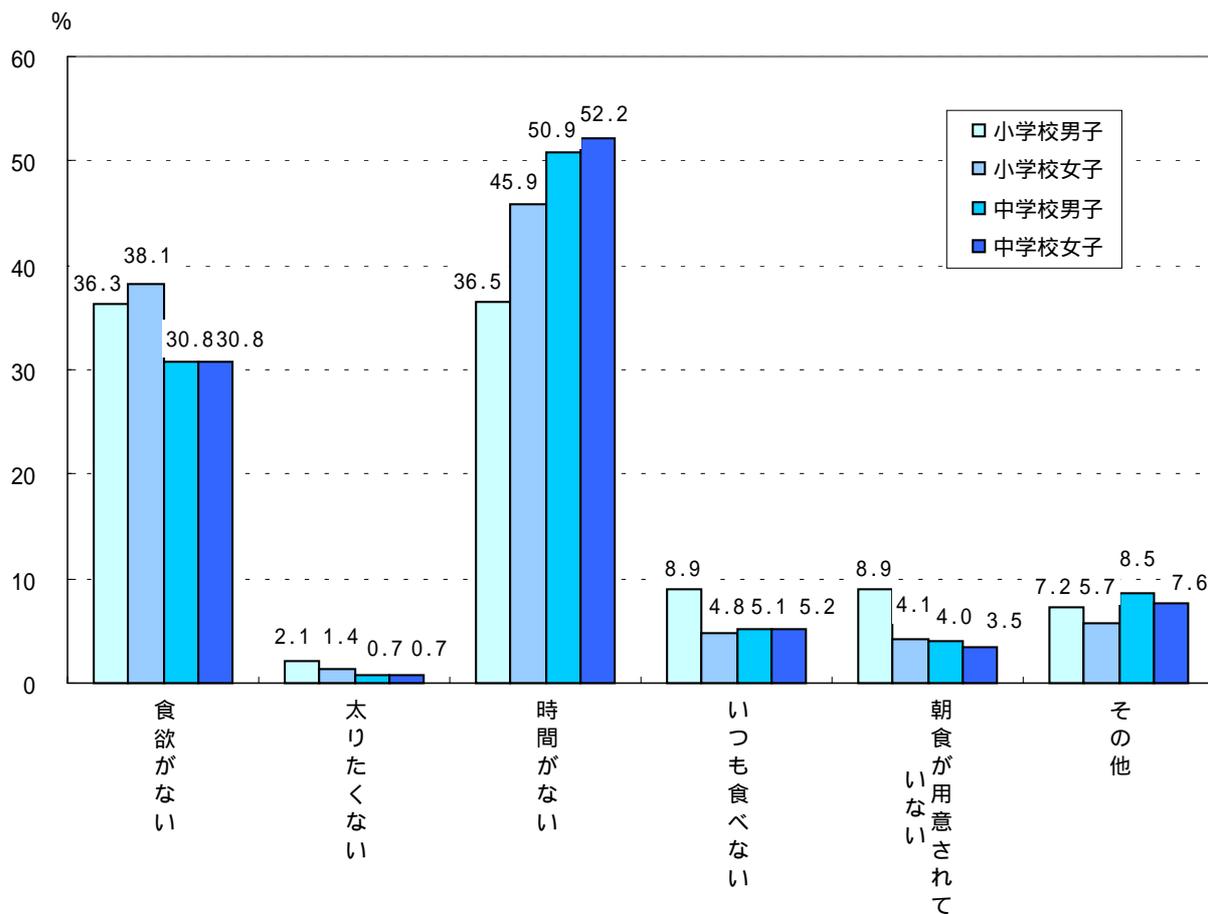


図 - 22 朝食の欠食理由

1.1 おやつ摂取状況

おやつを「ほとんど毎日食べる」と回答した児童生徒から、「1週間に2～3日食べる」と回答した児童生徒まで含め、おやつを食べると回答した児童生徒は、図 23、24 のとおり小学校男子 69.9%、小学校女子 81.9%、中学校男子 67.8%、中学校女子 79.0%と、女子の割合が高かった。小・中学校の間では大きな差は見られなかった。

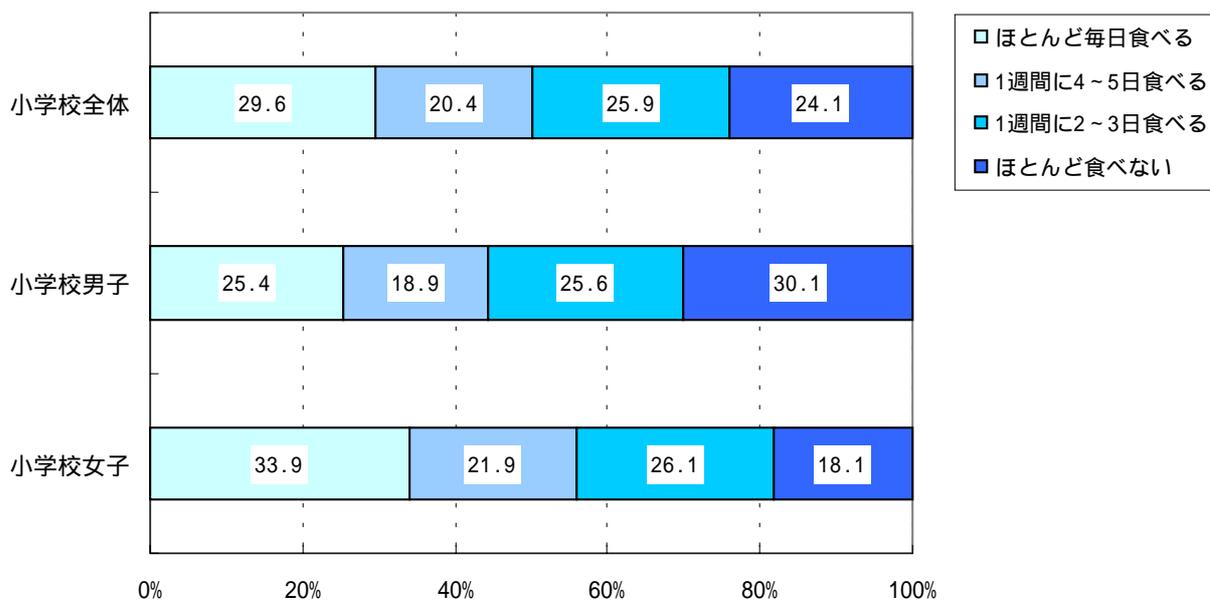


図 - 23 おやつ摂取状況（小学校）

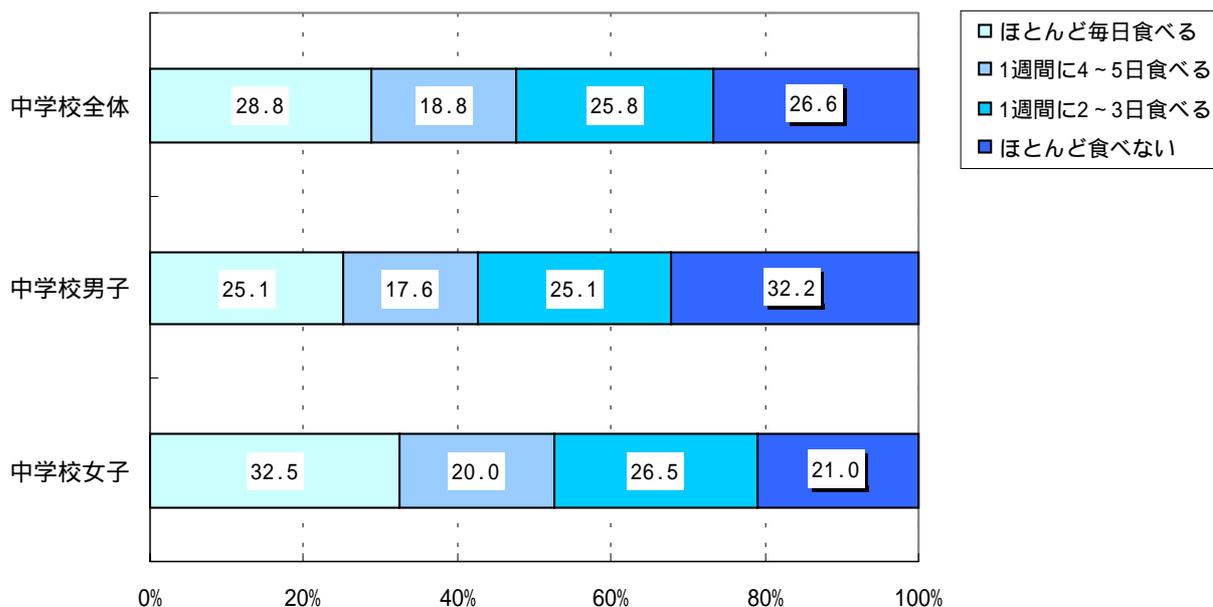


図 - 24 おやつ摂取状況（中学校）

児童生徒のおやつと保護者の間食の関係について

間食（おやつ）の摂取状況の児童生徒と保護者の関係は、図 - 25、26 のとおり、小学校、中学校とも親子の答えはおおむね比例しており、「ほとんど毎日食べる」と回答した児童生徒の保護者は、「ほとんど毎日食べる」と回答する割合が高い。

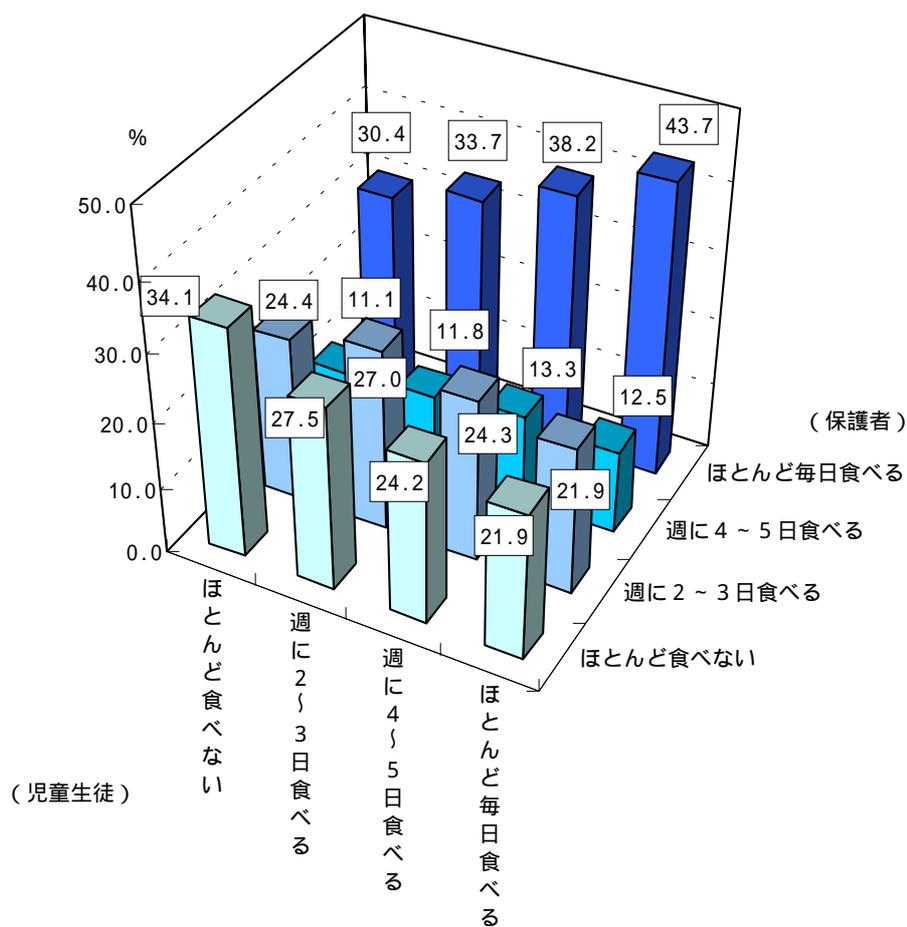


図 - 25 児童生徒のおやつと保護者の間食の関係 (小学校)

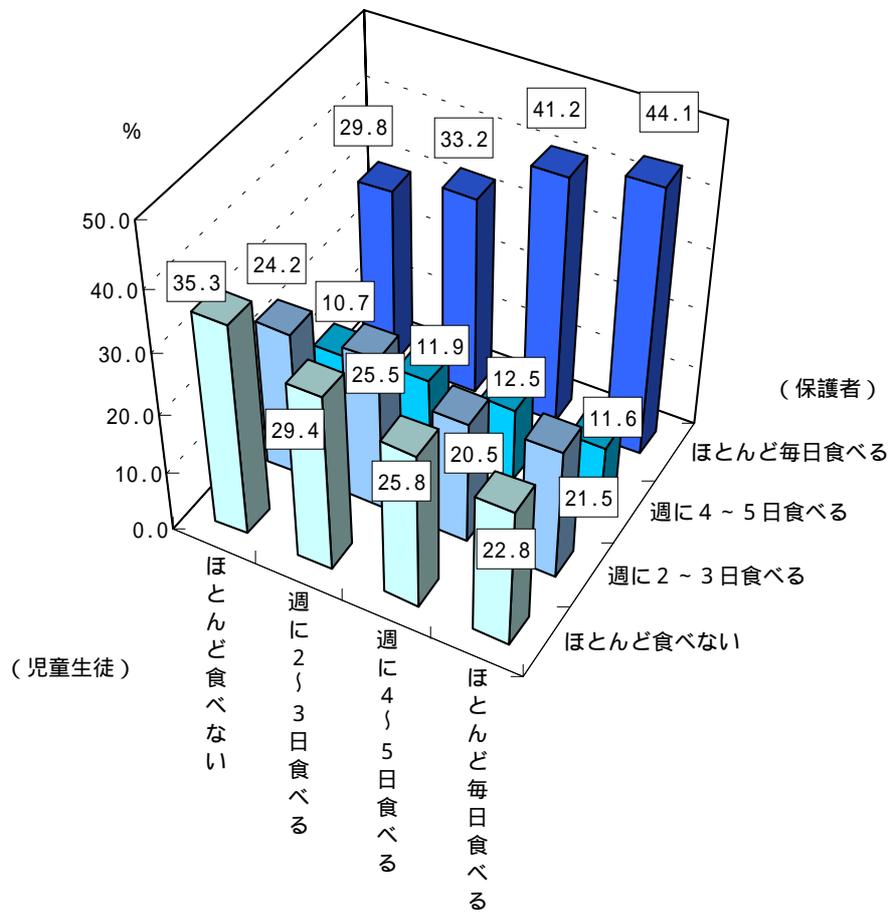


図 - 26 児童生徒のおやつと保護者の間食の関係
(中学校)

1 2 おやつの種類

おやつの種類は、図 27 のとおり、菓子類が最も多かった。おやつの商品名は 143 種類挙がったが、中でもスナック菓子は、図 28 のとおり、小・中学校、男女を問わず多かった（小学校男子 71.1%、小学校女子 61.3%、中学校男子 62.2%、中学校女子 54.5%）。

チョコレート、ビスケット・クッキー、あめは男子より女子で割合が高い傾向があった。

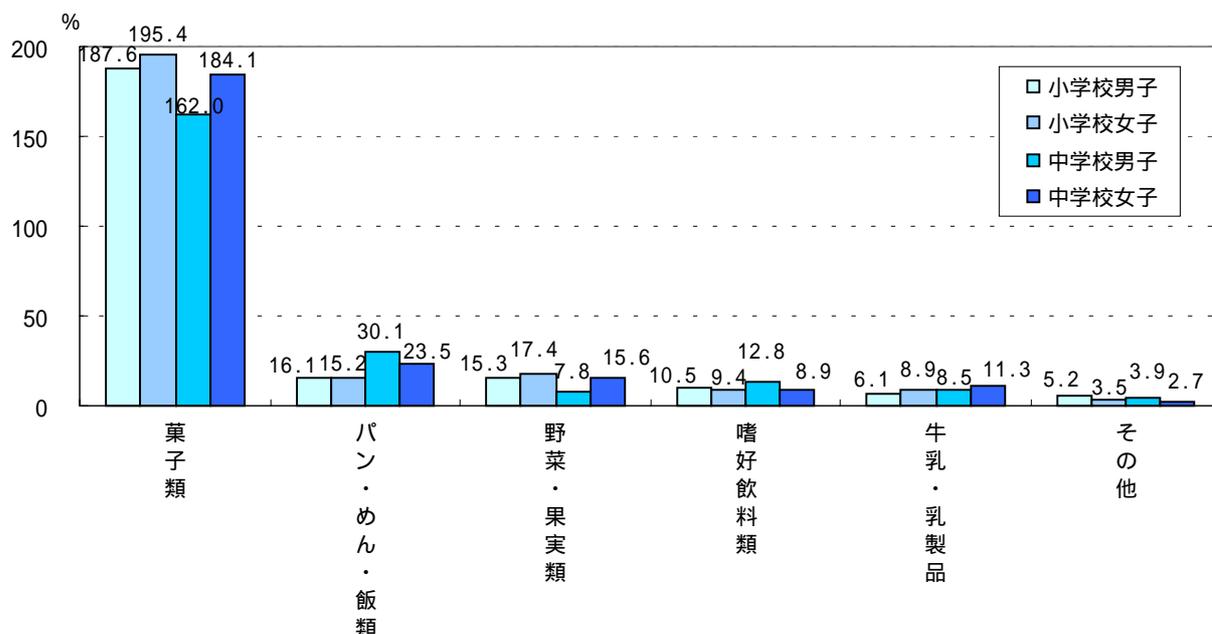


図 - 27 おやつの種類（複数回答）

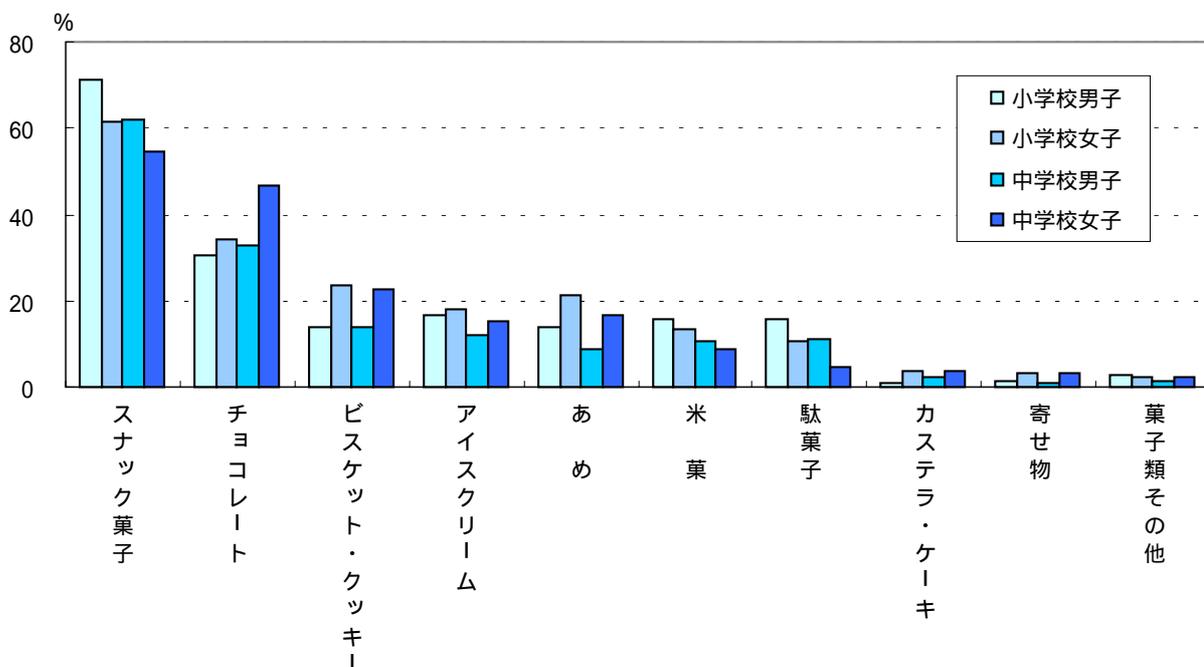


図 - 28 おやつの種類 菓子類上位 10 種類（複数回答）

1 3 夜食の摂取状況

夜食を「ほとんど毎日食べる」と回答した児童生徒から、「1週間に2～3日食べる」と回答した児童生徒まで含め、夜食を食べると回答した児童生徒は、図 29、30のとおり小学校男子34.9%、小学校女子33.5%、中学校男子36.7%、中学校女子33.2%と、小・中学校間、男女間で大きな差は見られなかった。

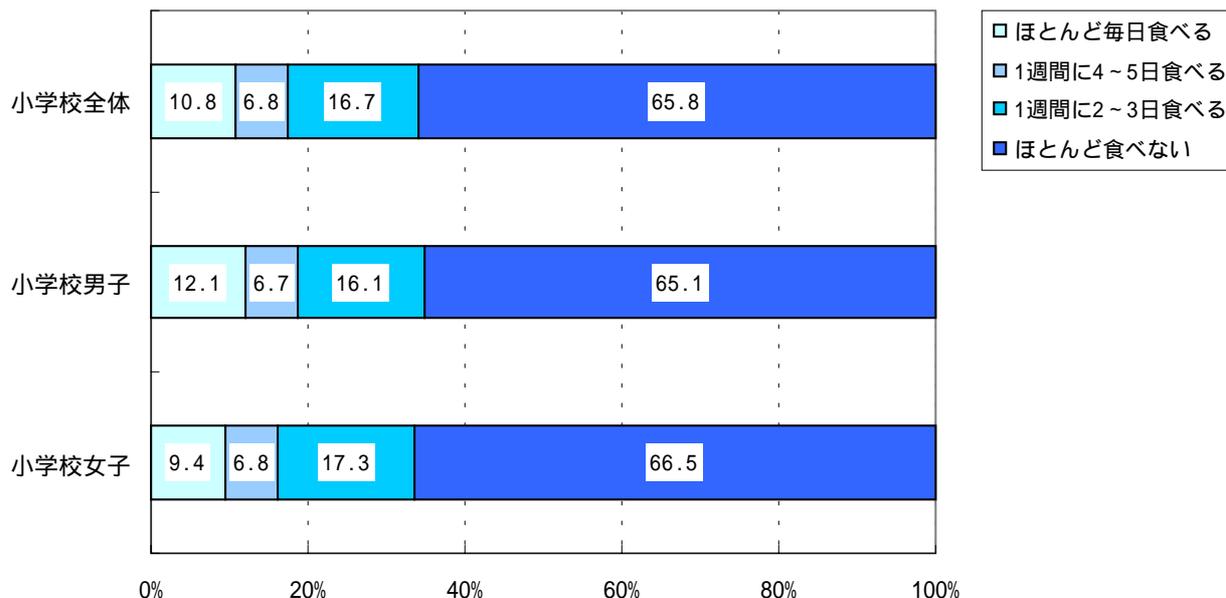


図 - 29 夜食の摂取状況（小学校）

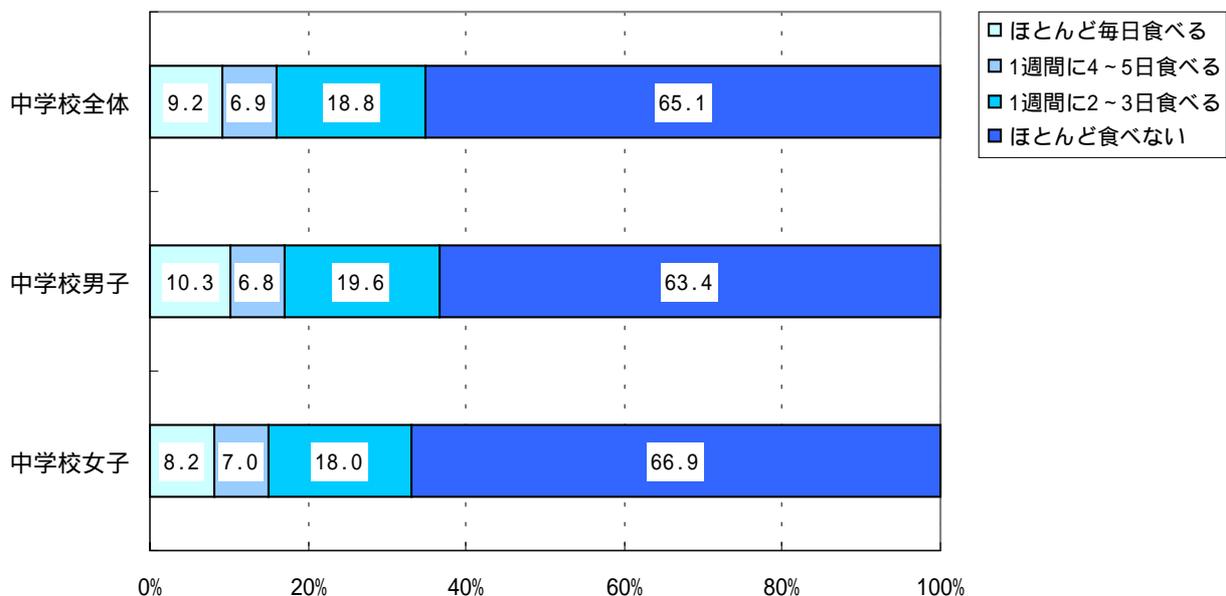


図 - 30 夜食の摂取状況（中学校）

1.4 夜食の種類

夜食の種類は、図 31 のとおり、男女で顕著な差が見られた。男子では「パン・めん・飯類」の割合が高く、特に中学校男子では 101.3% と高い割合になった。女子では「菓子類」が高い割合になった。

内訳を見ると、図 32 のとおり、男子はラーメンの割合がもっとも高く、小学校男子 22.6%、中学校男子 41.9% となった。女子ではアイスクリームの割合が高く、小学校女子 22.3%、中学校女子 18.0% となった。また、女子では、みかんや果物の割合が、男子と比べて高かった。

調査時季が 11 月だったため、みかんが上位に入ってきている。

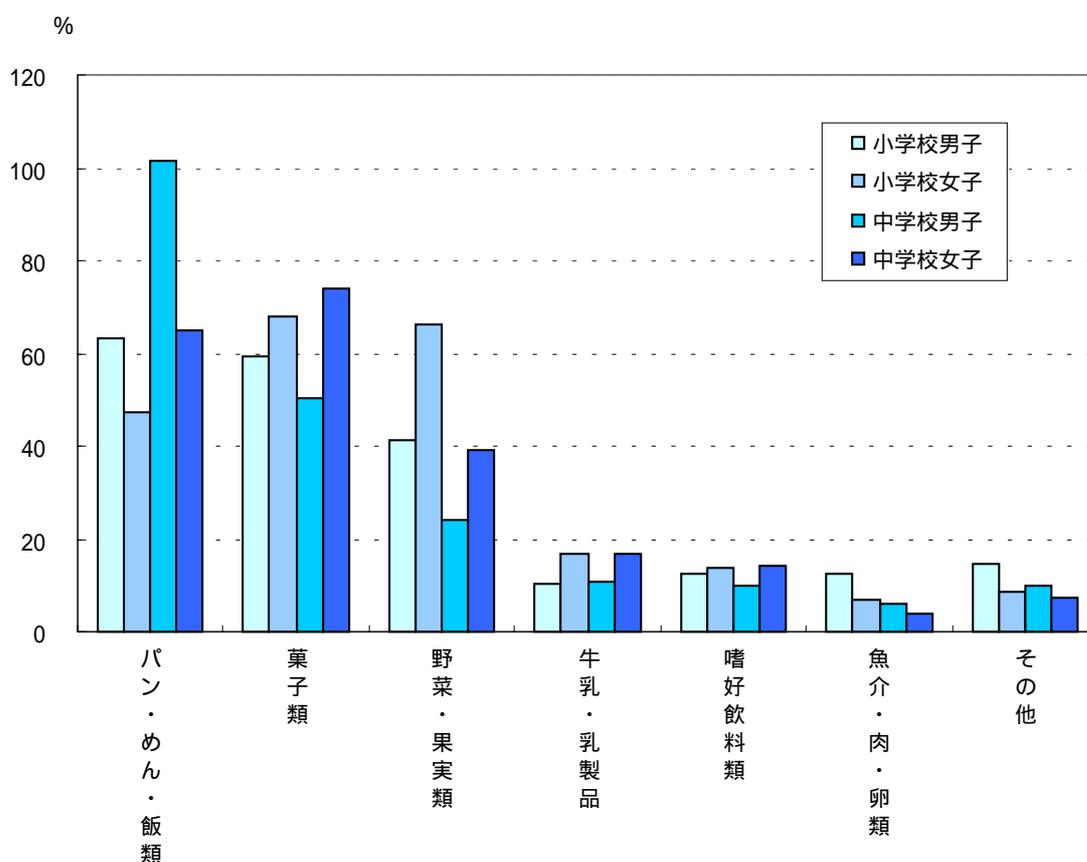


図 - 31 夜食の種類（複数回答）

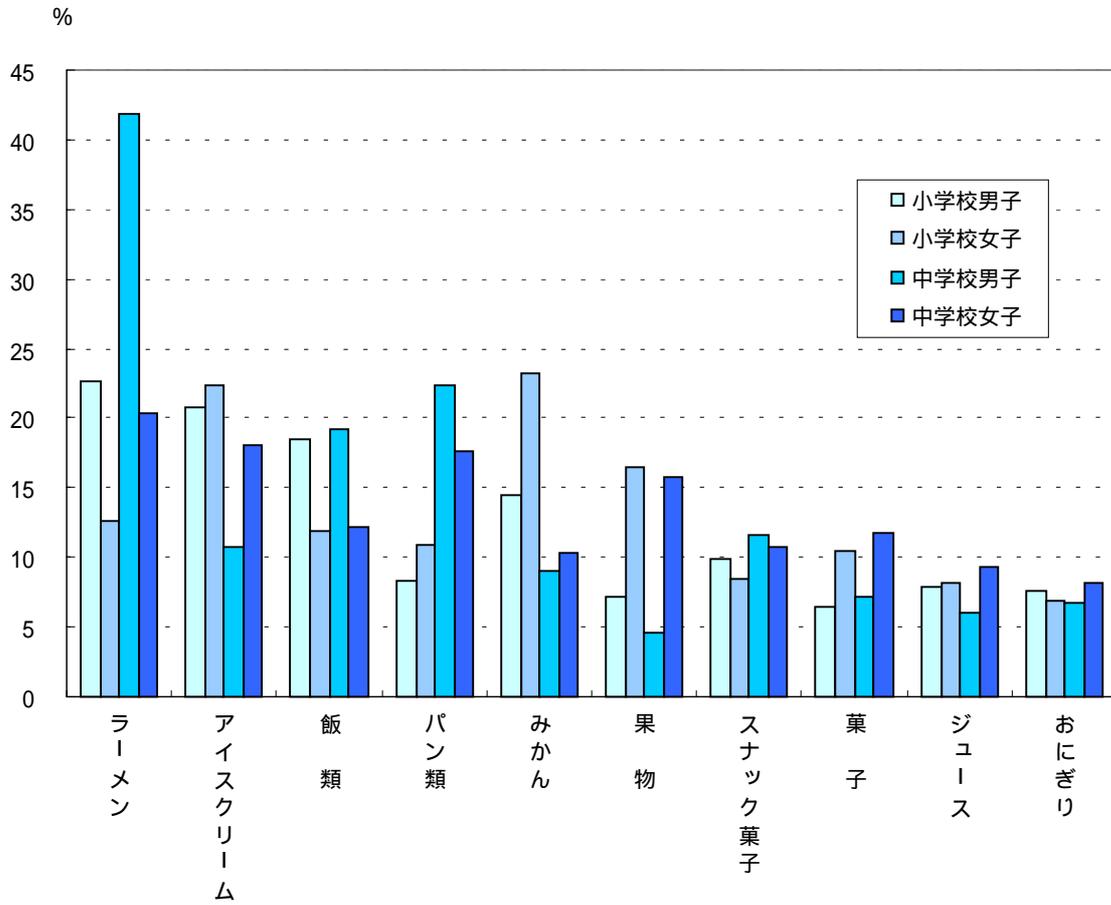


図 - 32 夜食の種類 上位10種類 (複数回答)

1.5 はしの持ち方

はしの持ち方の、5番の持ち方をしている児童生徒は、小学校 44.4%、中学校 49.9%であり、中学校の方が正しく持てている割合がやや高かった。

次いで多かったのは2番を選んだ者で、小学校 29.4%、中学校 28.4%であった。

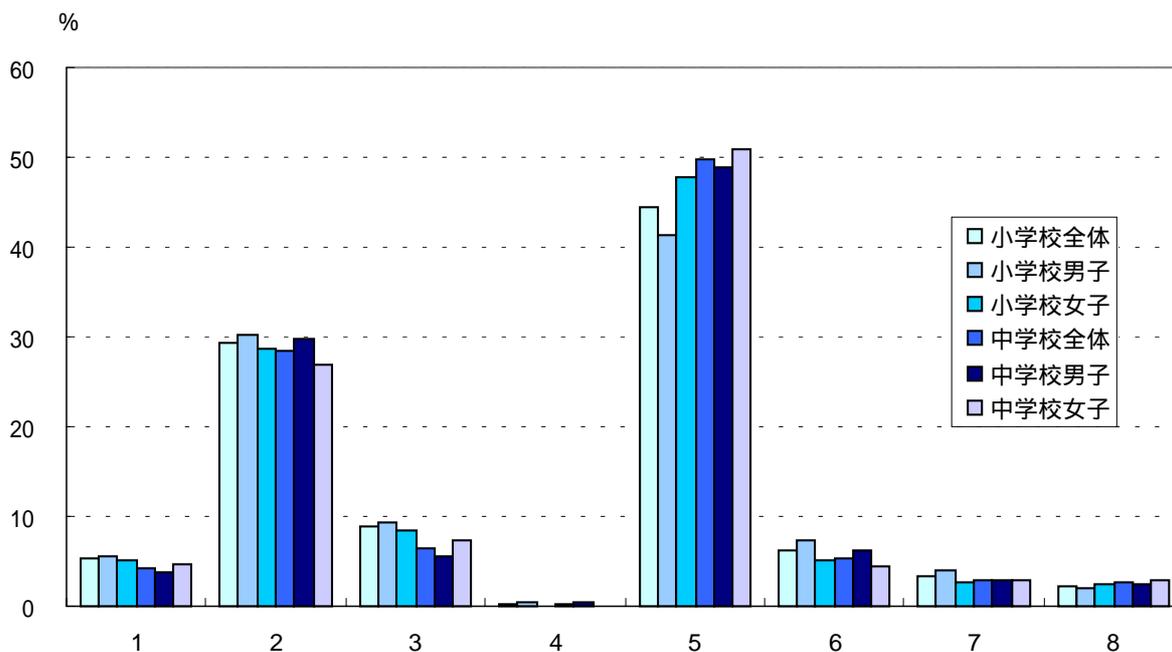


図 - 33 はしの持ち方

1 6 家庭での食事のマナー

「テレビを見ながら食べる」は、図 34 のとおり、小・中学校の約 90%の児童生徒がしたことがあると回答している。次いで多かったのは「食事中に席をはなれる」であった。男女間で大きな差は見られなかったが、小・中学校で比較すると中学校の方が、各項目において、したことのある割合がやや高い傾向であった。

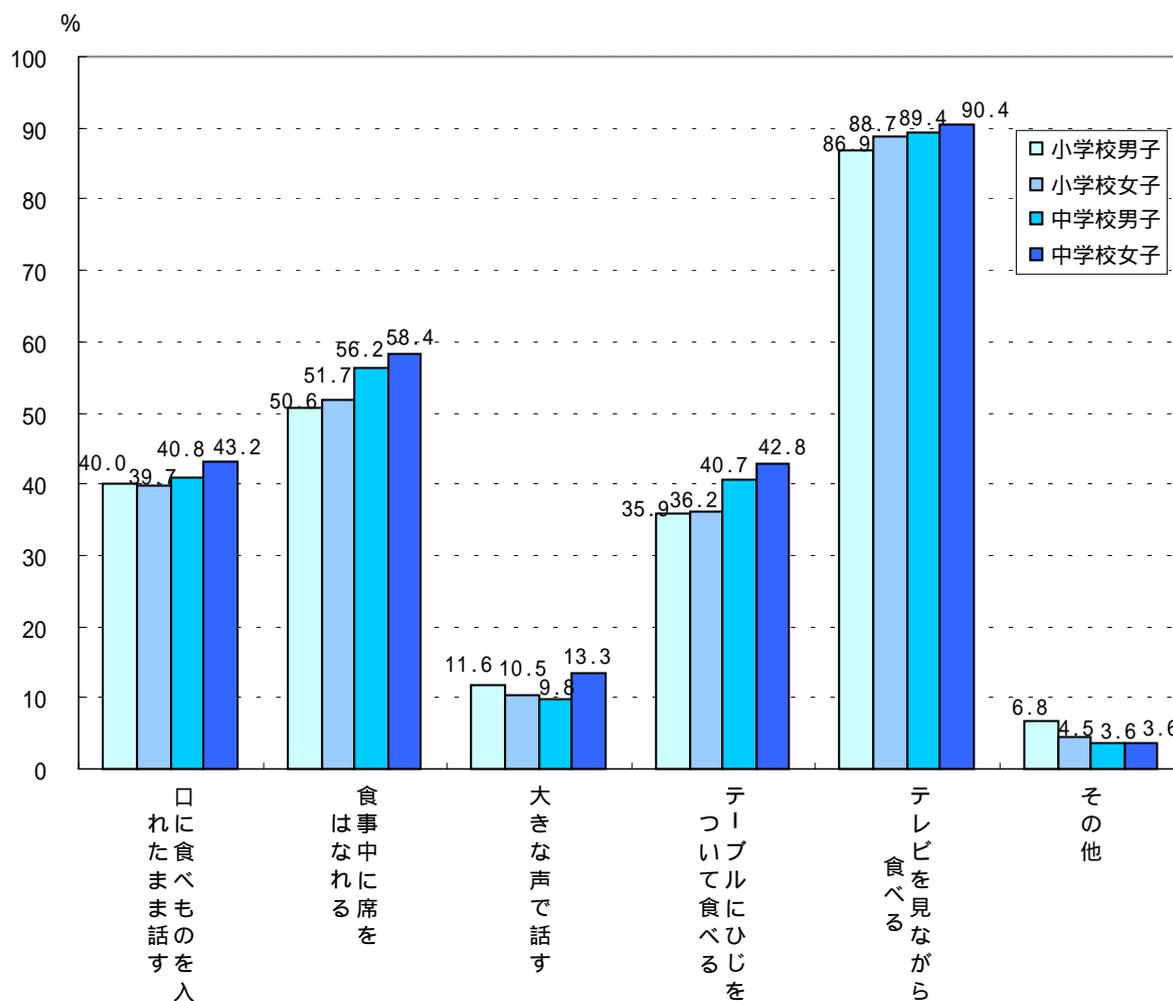


図 - 34 家庭での食事のマナー（複数回答）

1.7 食事のときのあいさつ

食事のときのあいさつを「いつもする」と回答した者は、図 35、36のとおり小学校全体で51.6%、中学校全体で37.0%であった。小学校男子50.2%、小学校女子53.0%、中学校男子36.3%、中学校女子37.7%と、小・中学校間では小学校の方が、男女間ではわずかに女子の方が割合が高かった。

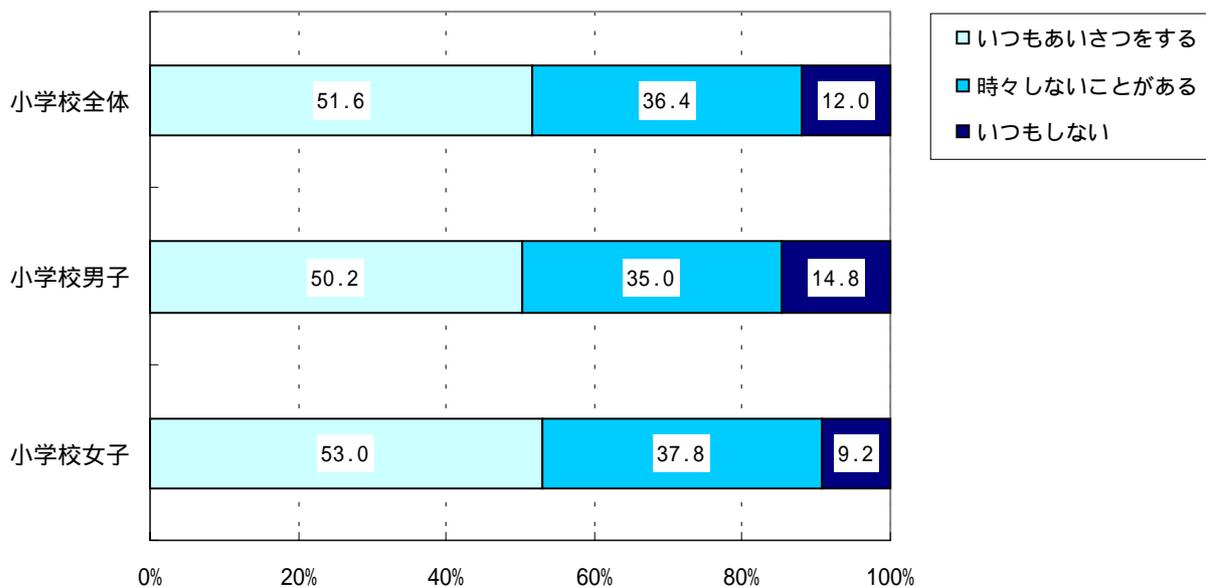


図 - 35 食事のときのあいさつ（小学校）

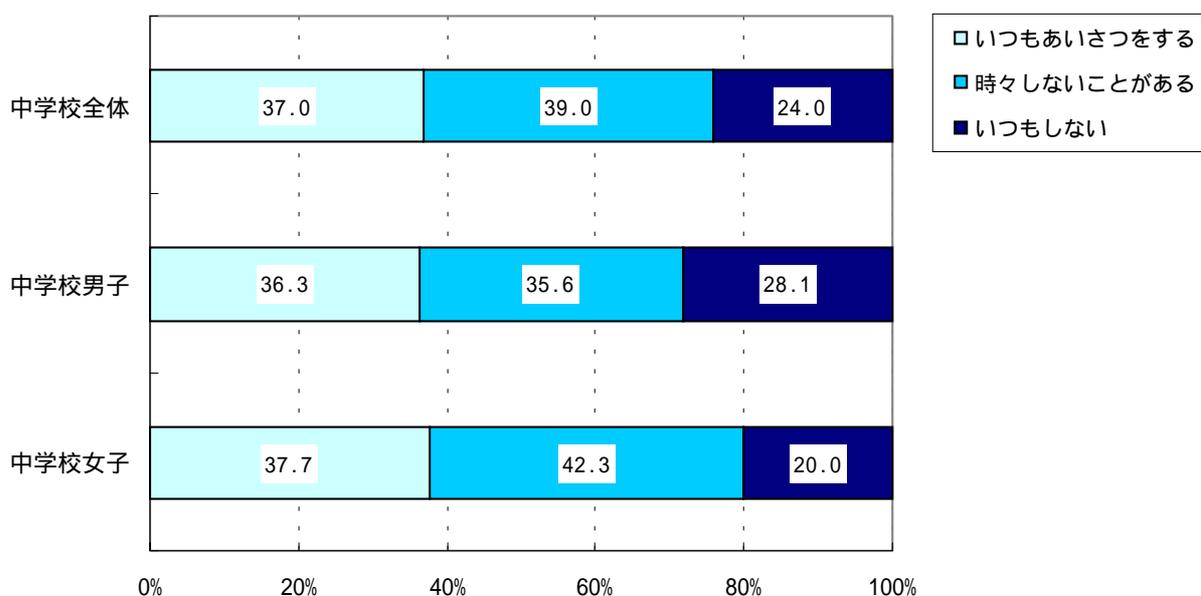


図 - 36 食事のときのあいさつ（中学校）

1.8 嫌いな食べ物

嫌いな食べ物では、図 37 のとおり「野菜類」を挙げた者が 174.3%（複数回答）と多く、次いで多い「魚介類」の約 4 倍となった。嫌いな食べ物上位 10 種類を見ると、図 38 のとおりピーマン、なす、内臓・レバー、ねぎ、にんじん、トマト、セロリー、しいたけ、グリーンピース、たまねぎと、野菜類が上位を占めた。野菜以外の食品で上位 10 位までに挙がっているのは、内臓・レバーとしいたけだけであった。

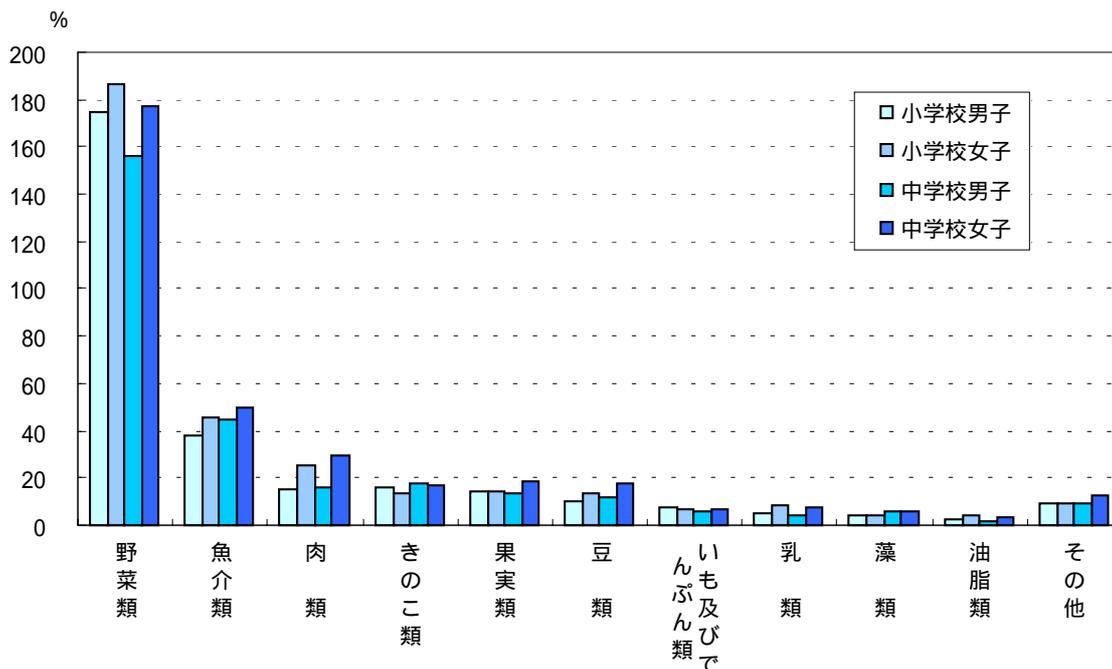


図 - 37 嫌いな食べ物（複数回答）

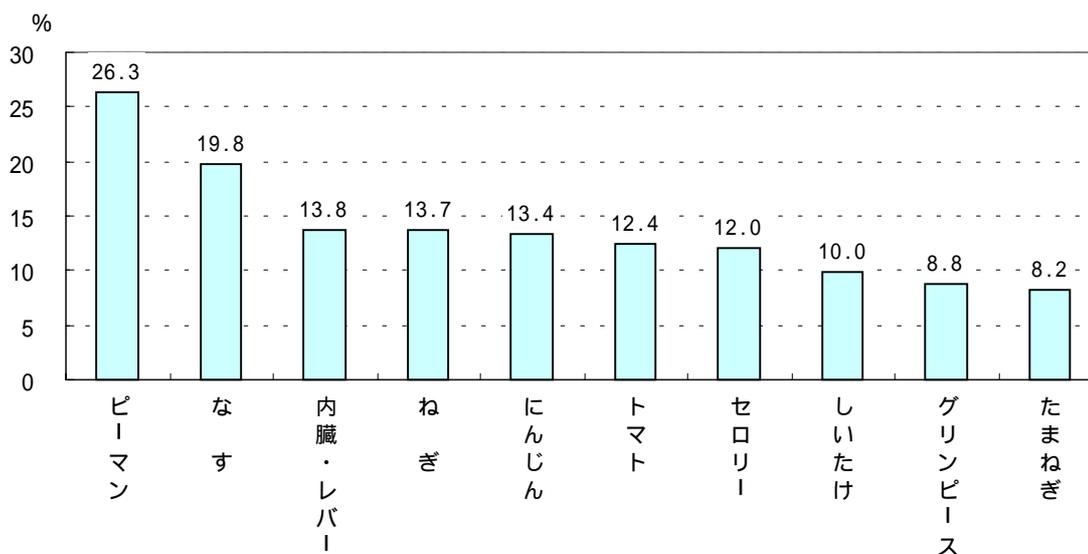


図 - 38 嫌いな食べ物 上位 10 種類（複数回答）

1 9 嫌いな食べ物への対応

嫌いな食べ物を「がまんして食べる」と回答した児童生徒は、図 39、40 のとおり小学校男子で40.4%、小学校女子で37.9%、中学校男子29.0%、中学校女子18.6%と、小学校の方が高い割合を示し、中学校になると嫌いな物を食べない傾向が見られた。

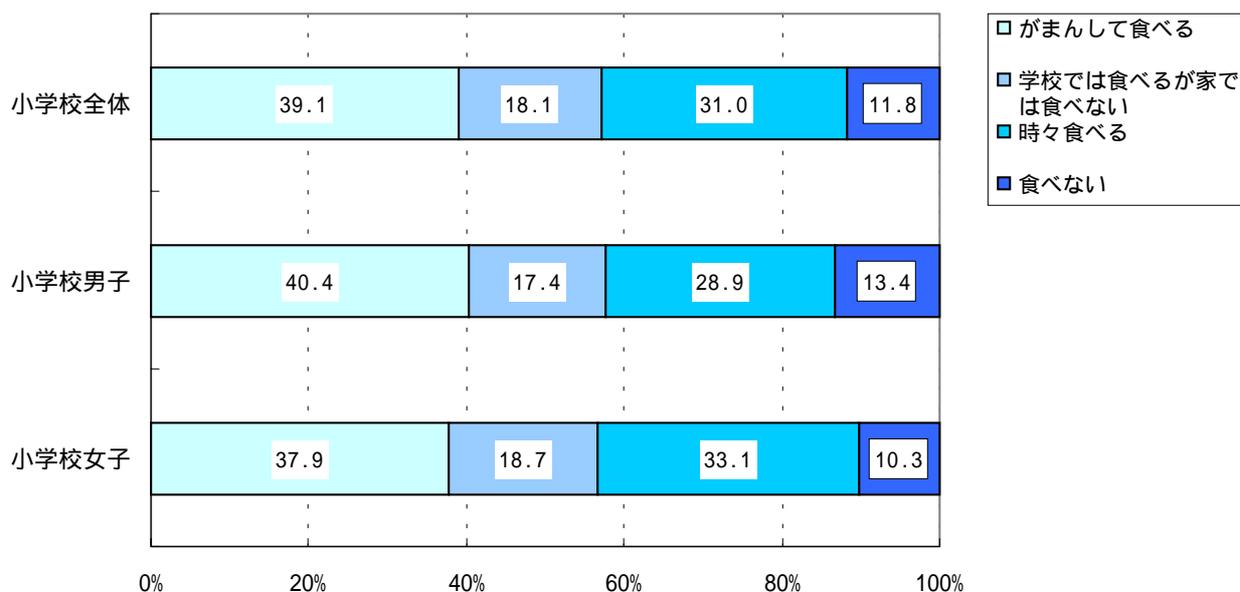


図 - 39 嫌いな食べ物への対応（小学校）

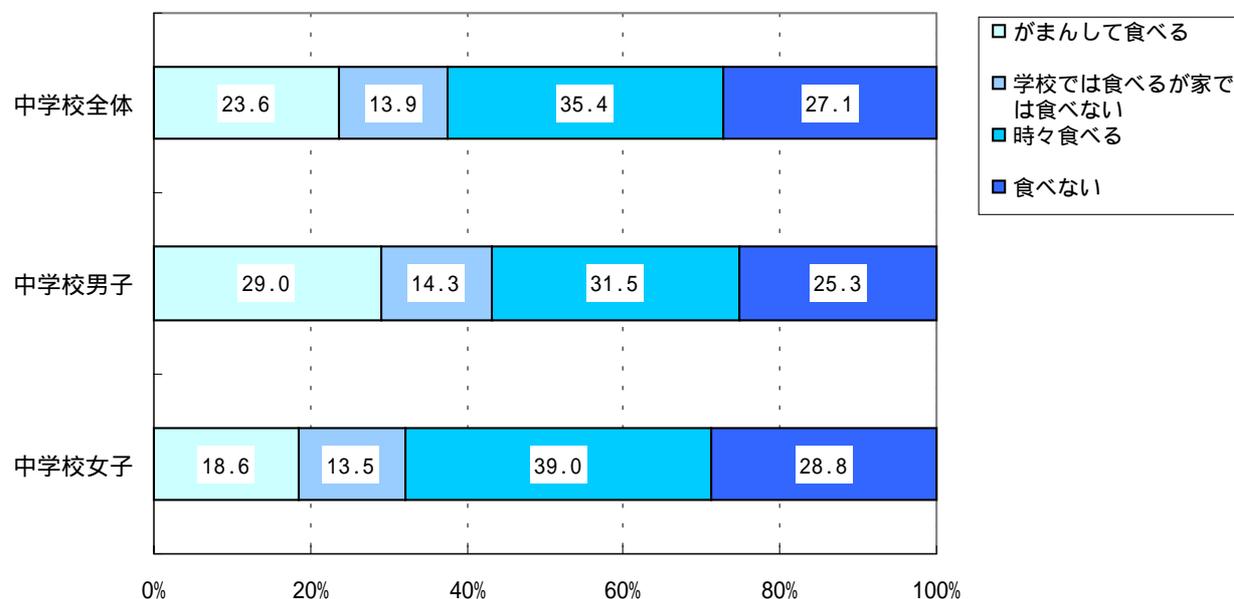


図 - 40 嫌いな食べ物への対応（中学校）

20 好きな料理

好きな料理は、図 41 のとおり小・中学校、男女を問わず、1位がカレーライスであった（小学校男子 44.3%、小学校女子 34.5%、中学校男子 38.0%、中学校女子 29.8%）。平成7年度調査では、図 43 のとおり、カレーライスが2位のハンバーグの1.6倍と突出していたが、今回は、1位と2位以下の差が縮まってきている。

また男女間で差が見られ、図 42 のとおり「ラーメン」、「焼肉」は男子の、「パスタ」、「グラタン・ドリア」は女子の割合が高かった。

平成7年度調査で上位20位に入っていたもので、今回は入らなかったものはお好み焼(22位)、たまご焼き(27位)で、代わりに焼き魚、肉じゃがが入ってきた。

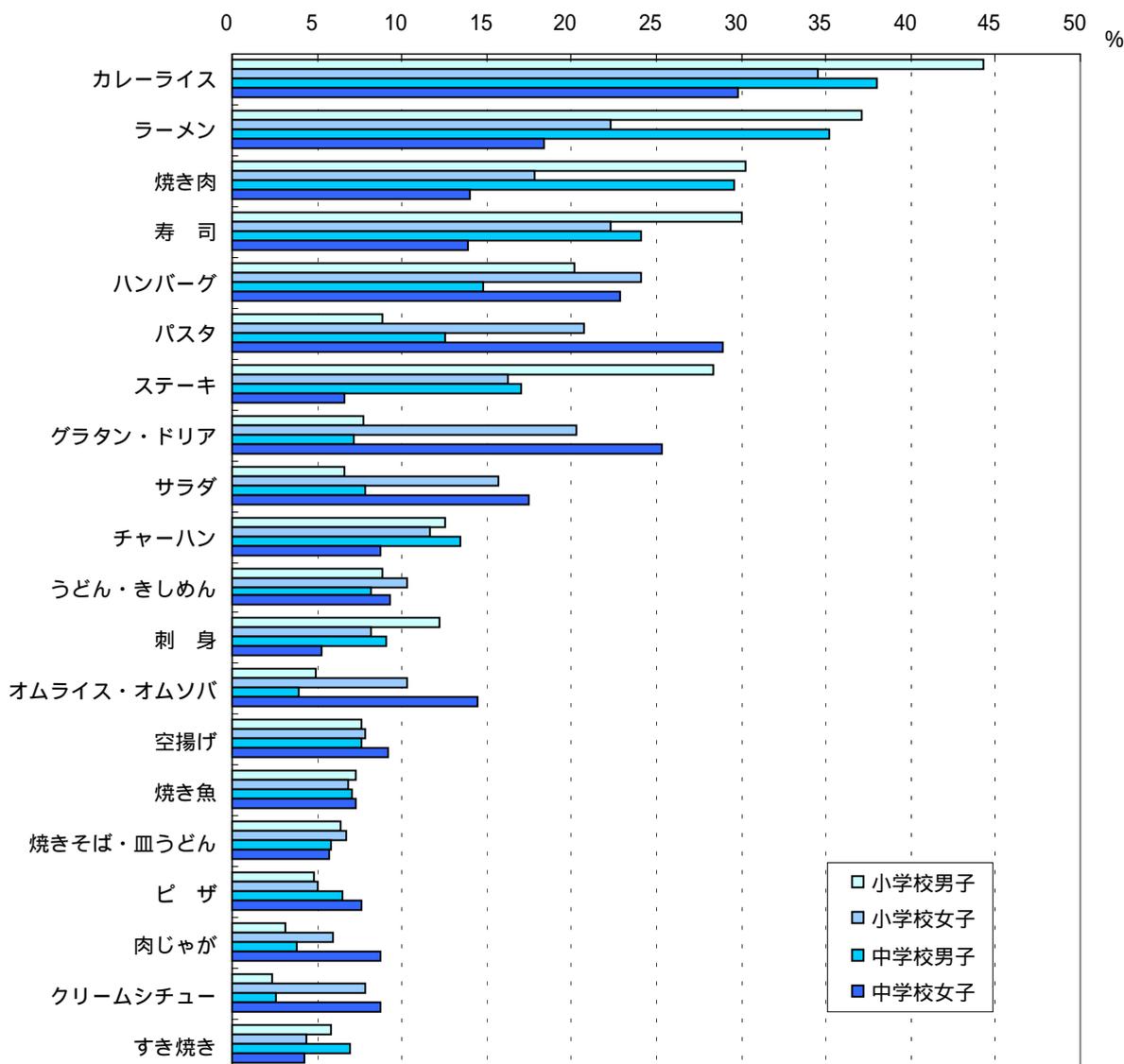


図 - 41 好きな料理（複数回答）

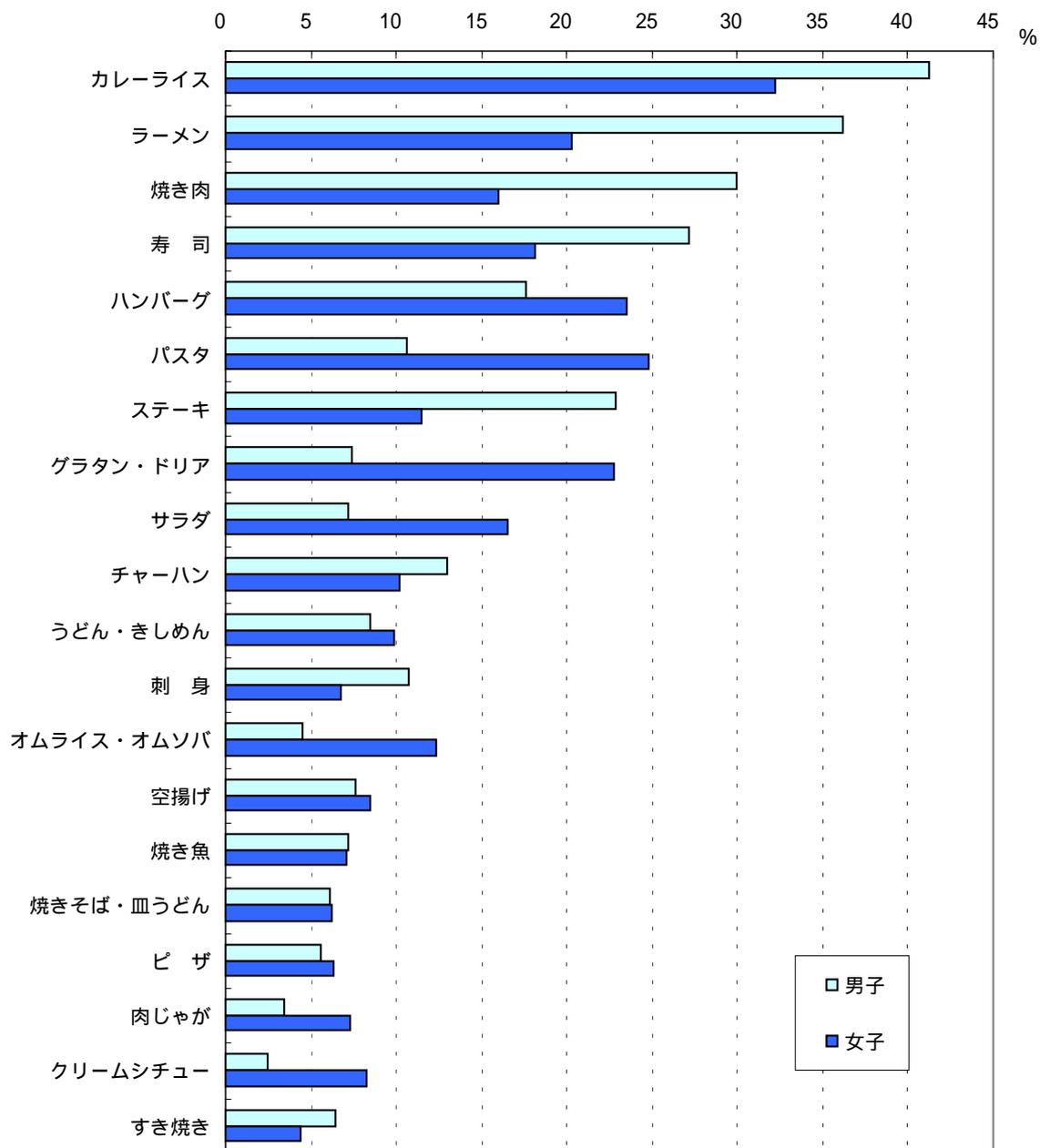


図 - 42 好きな料理《男女別》（複数回答）

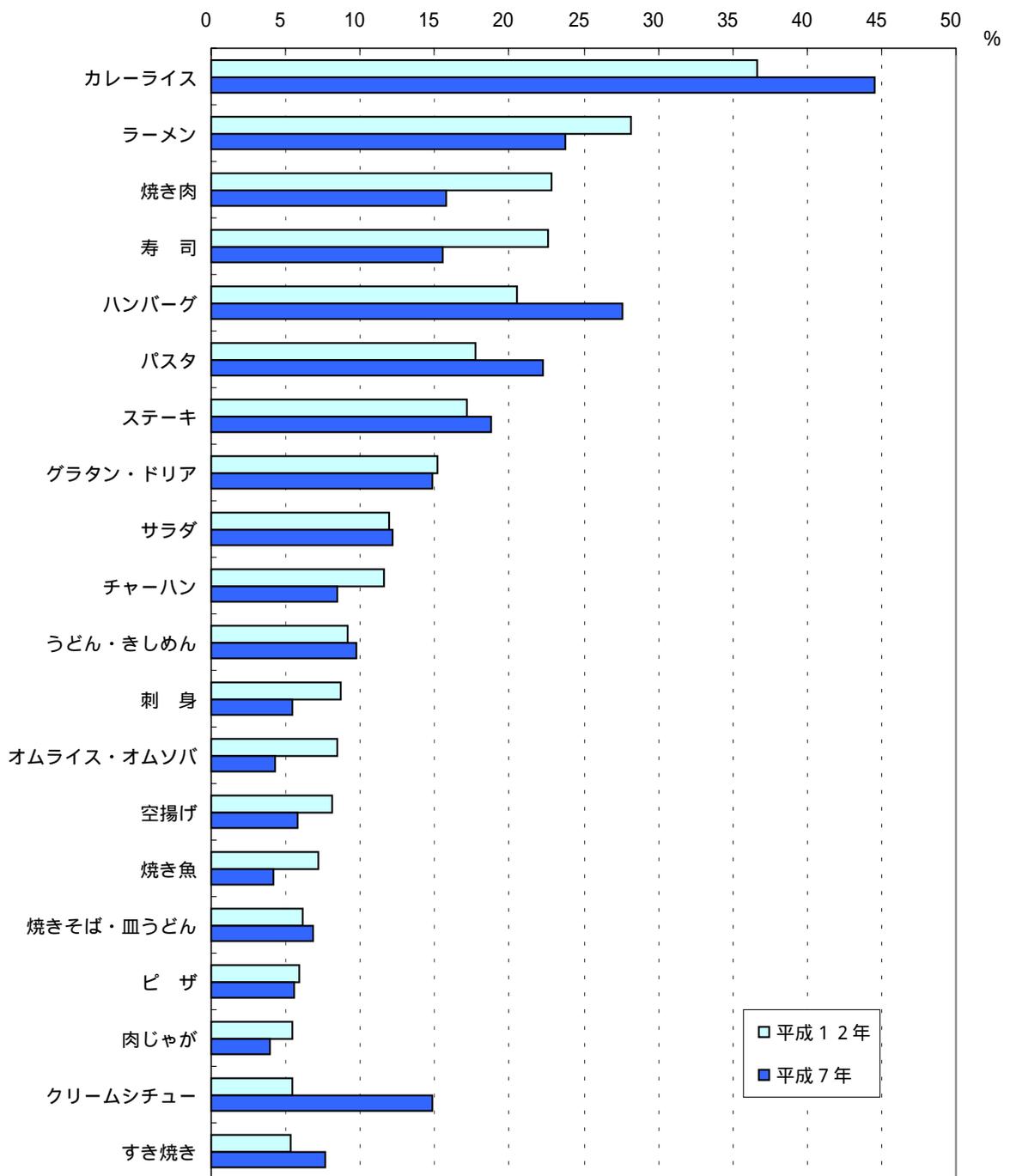


図 - 43 好きな料理《年代別》（複数回答）

2 1 嫌いな料理

嫌いな料理は、図 44 のとおり小・中学校、男女を問わず、「サラダ」が1位となった（小学校男子 22.1%、小学校女子 16.8%、中学校男子 16.6%、中学校女子 14.3%）。2位以下は小・中学校間、男女間ともばらつきが見られた。また、図 46 のとおり、平成7年度調査より今回の調査の方が、「サラダ」「野菜炒め」「なす料理」等の割合が高くなっており、野菜嫌いが目立っている。

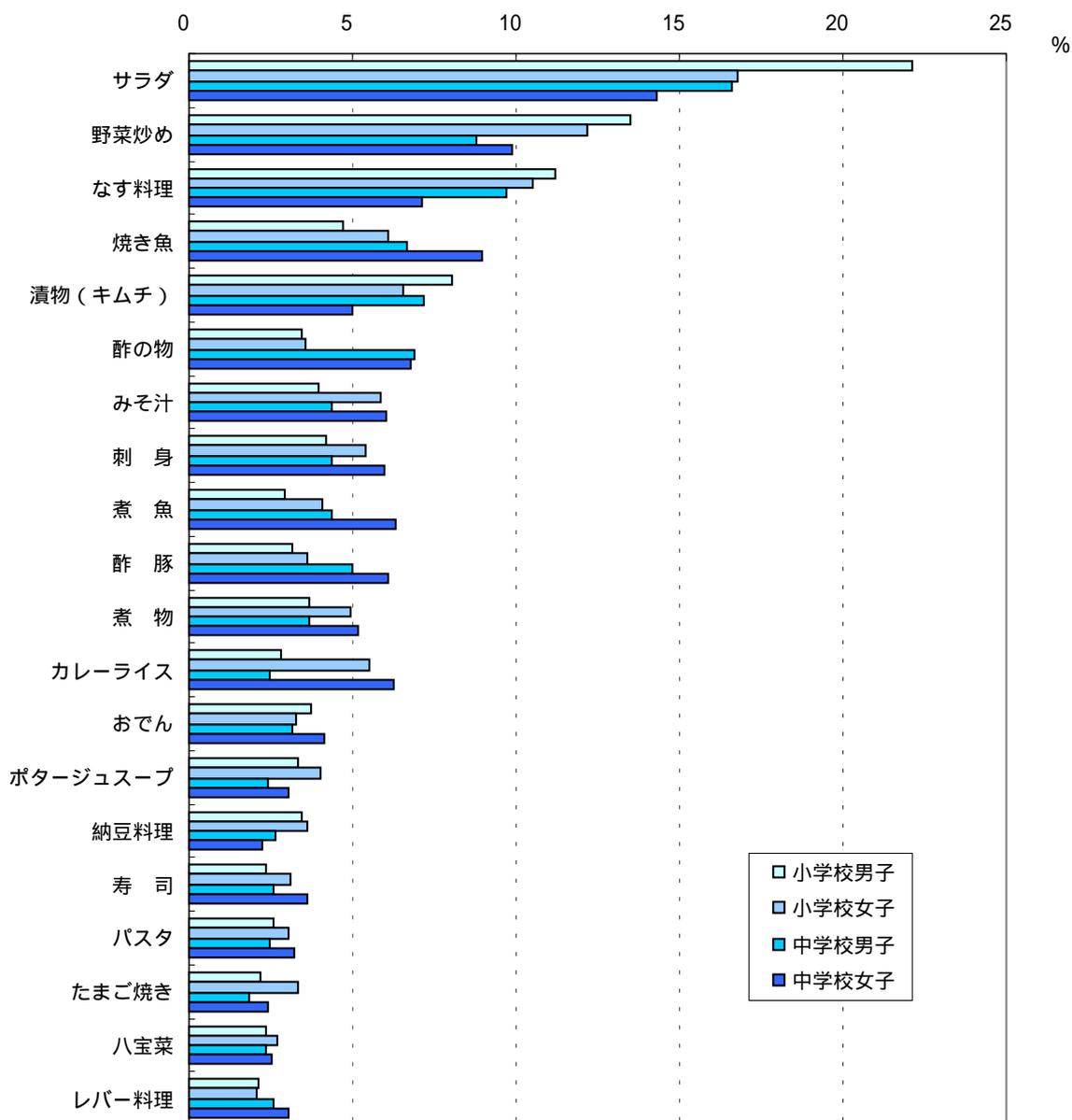


図 - 44 嫌いな料理（複数回答）

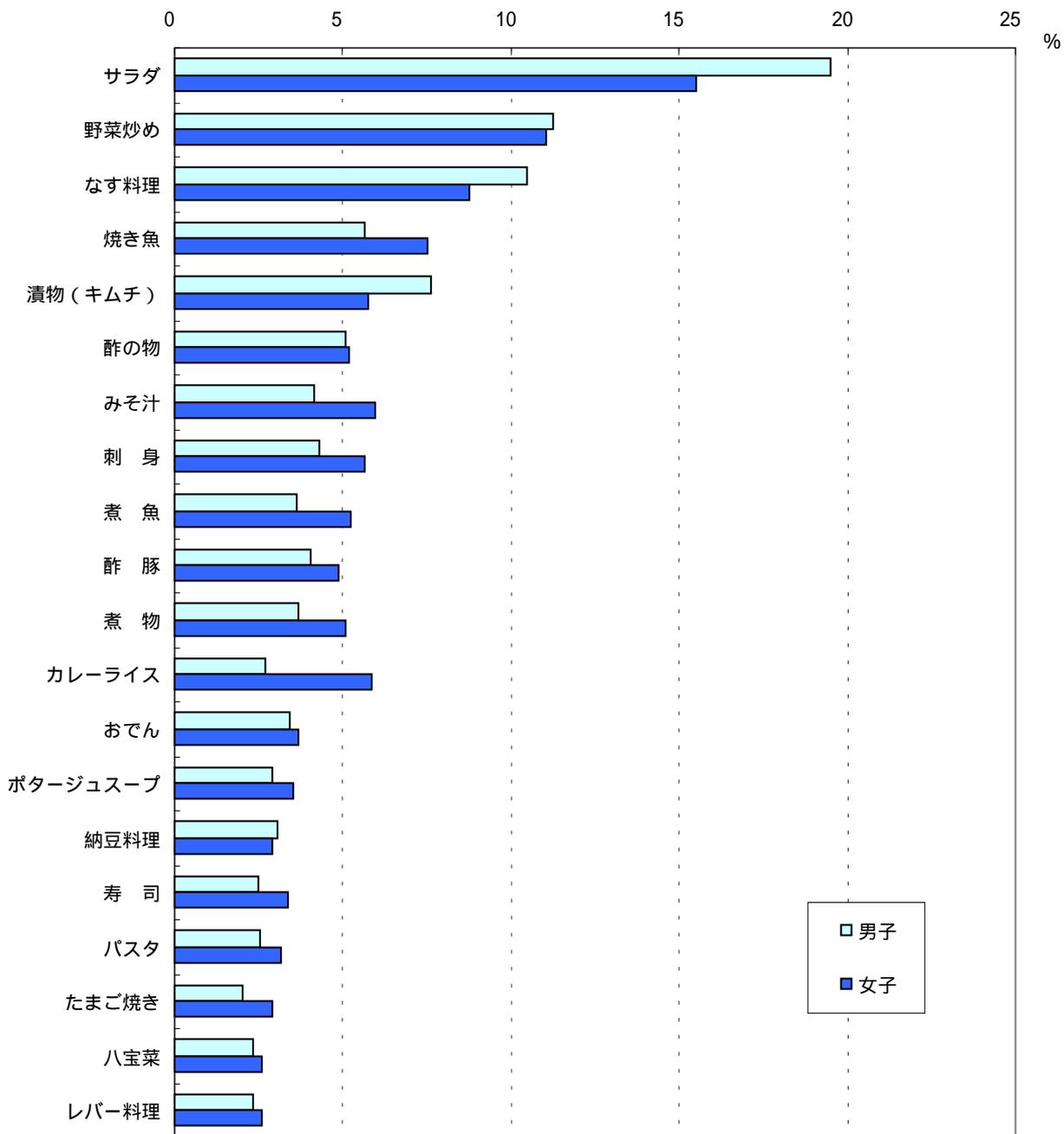


図 - 45 嫌いな料理《男女別》(複数回答)

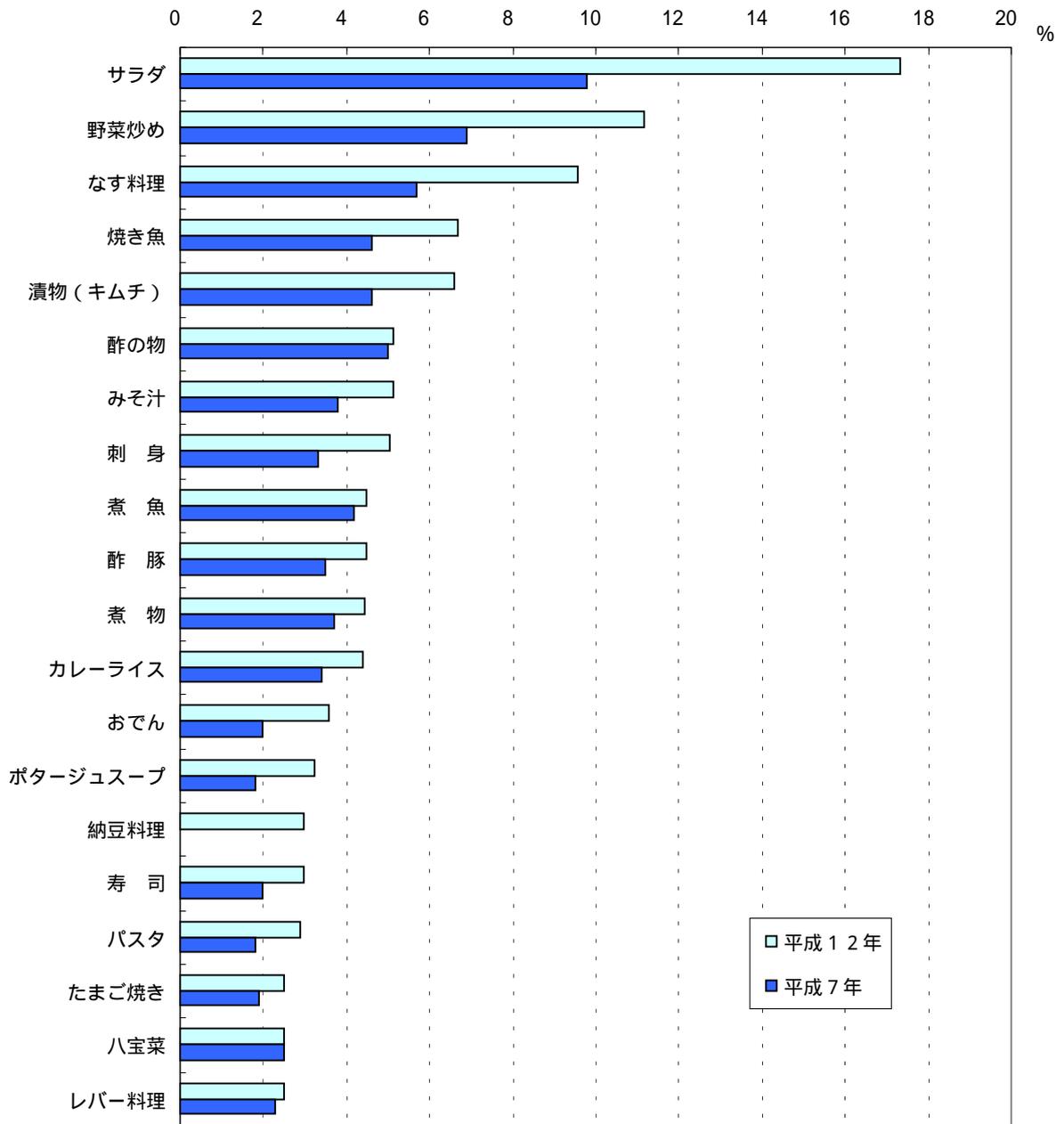


図 - 46 嫌いな料理《年代別》(複数回答)

2.2 食事が楽しいと感じるとき

児童生徒が食事を楽しいと感じるのは、図 47 のとおり、「好きなものを食べる時」という回答が最も多く、小学校で 64.5%、中学校で 75.5% となった。次いで多いのは「バーベキューなどのような屋外で食べる時」で、小学校 60.7%、中学校 54.8% となった。

都市部、農山漁村部での差は、図 48 のとおり、ほとんど見られなかった。

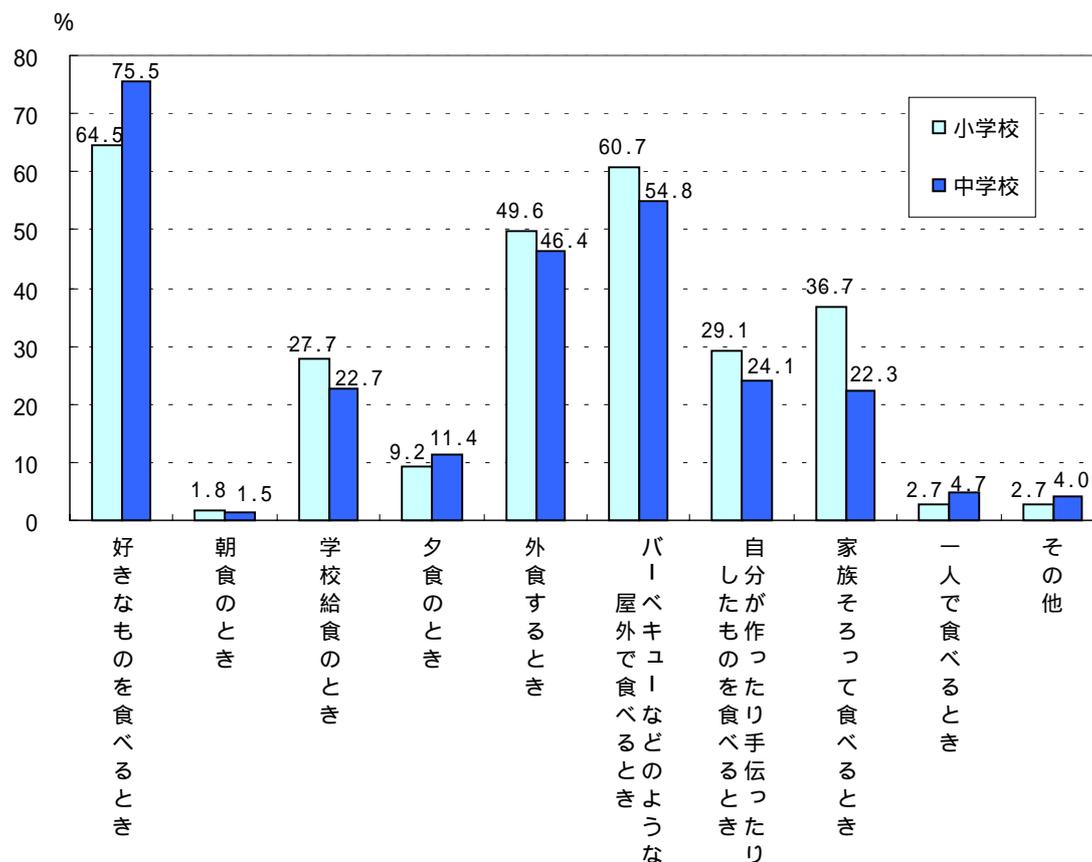


図 - 47 食事が楽しいと感じるとき（複数回答）

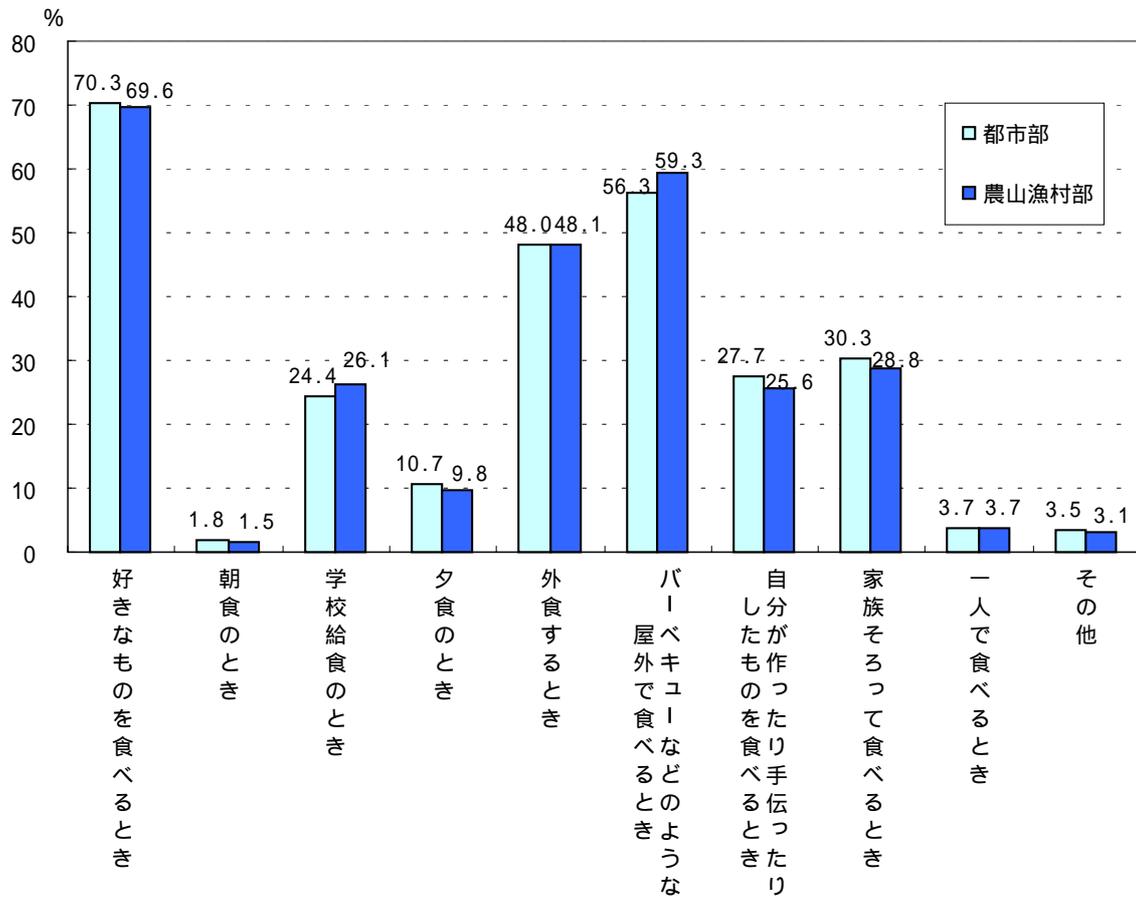


図 - 48 食事が楽しいと感じるとき《環境別》（複数回答）

2 3 食事の摂り方

朝食を「一人で食べる」と回答した者は、図 49、50 のとおり、小学校で 15.9%であるのに対し、中学校では約 2 倍の 31.3%となった。

夕食は、図 51、52 のとおり、家族と一緒に食べる割合が高く、小学校で 95.3%、中学校で 91.0%の人が「家族そろって食べる」、「家族のだれかと食べる」と回答している。

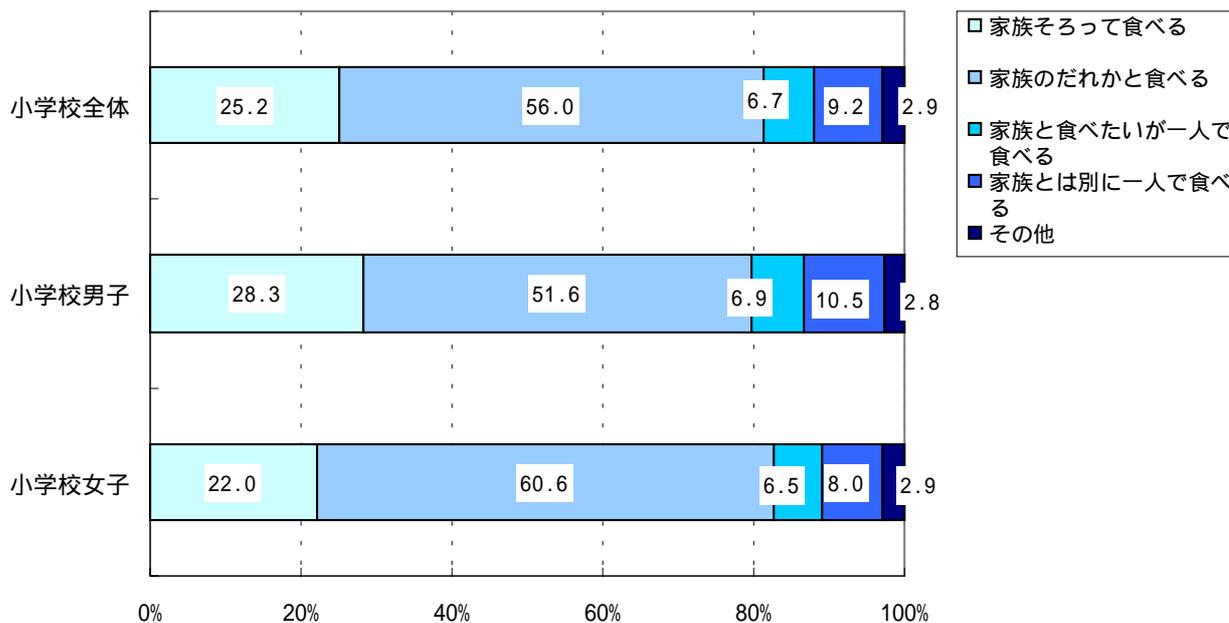


図 - 49 朝食の摂り方（小学校）

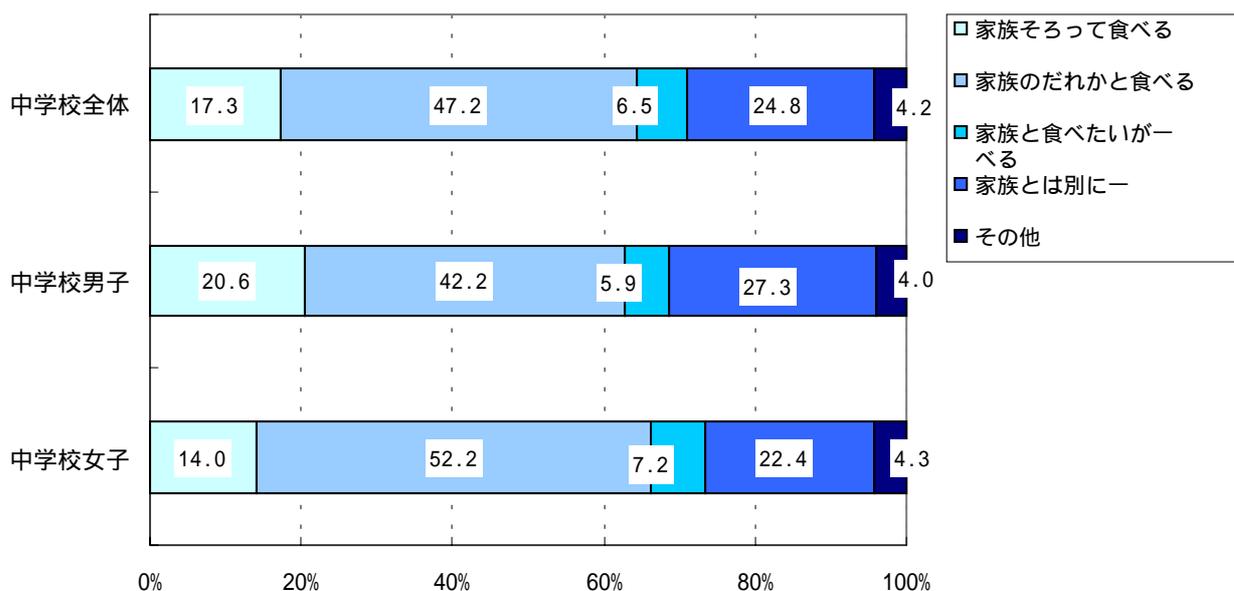


図 - 50 朝食の摂り方（中学校）

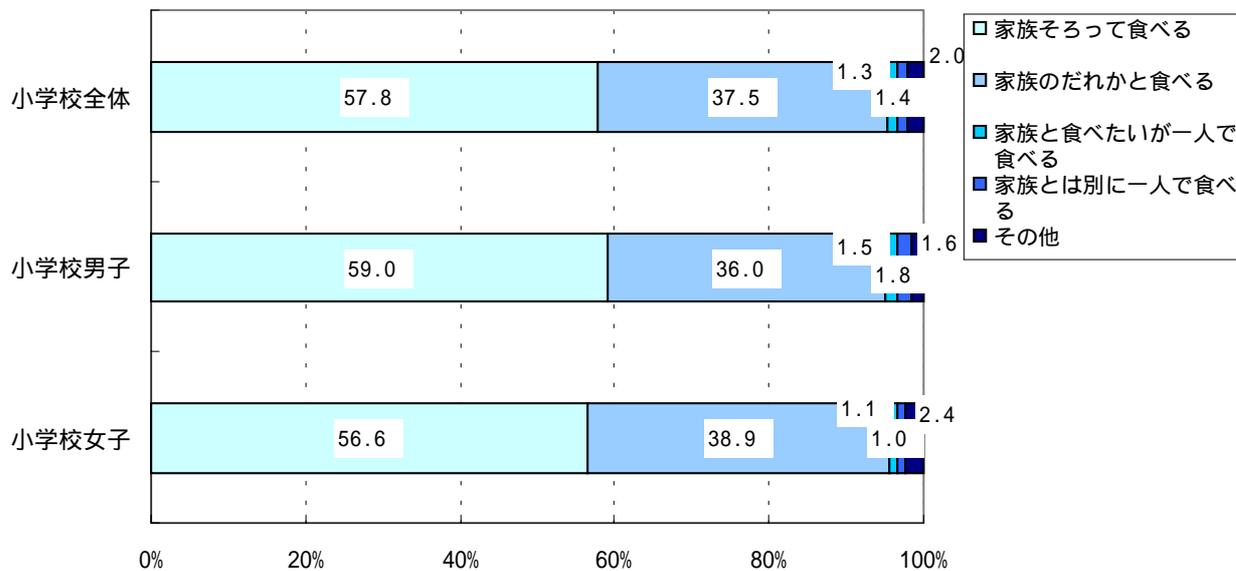


図 - 51 夕食の摂り方（小学校）

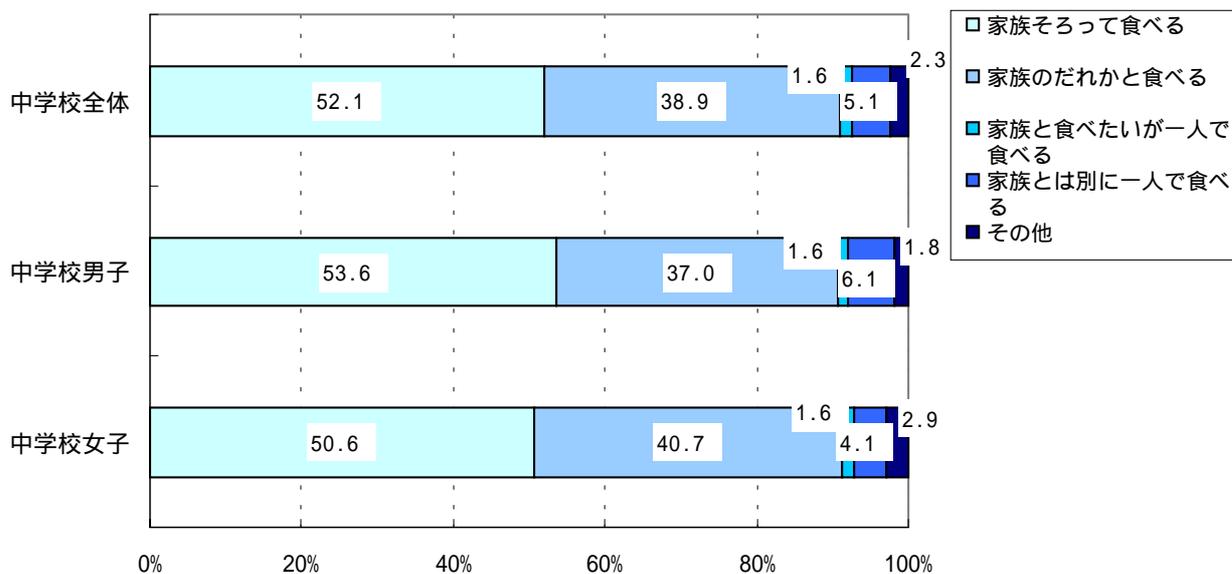


図 - 52 夕食の摂り方（中学校）

2.4 不定愁訴

すべての項目において、小学校より中学校の方がこれらの症状があると回答した者の割合が高かった。特に「つかれる」という項目においては、図 55、56 のとおり「いつも感じる」、「しばしば感じる」と回答した者の割合が高く、中学校女子では 80.7%の者が回答している。「目がつかれる」、「何もやる気が起こらない」、「イライラする」については、図 61～図 66 のとおりバラついている。

都市部、農山漁村部の比較では、図 67～図 73 のとおり、ほとんど差が見られなかった。

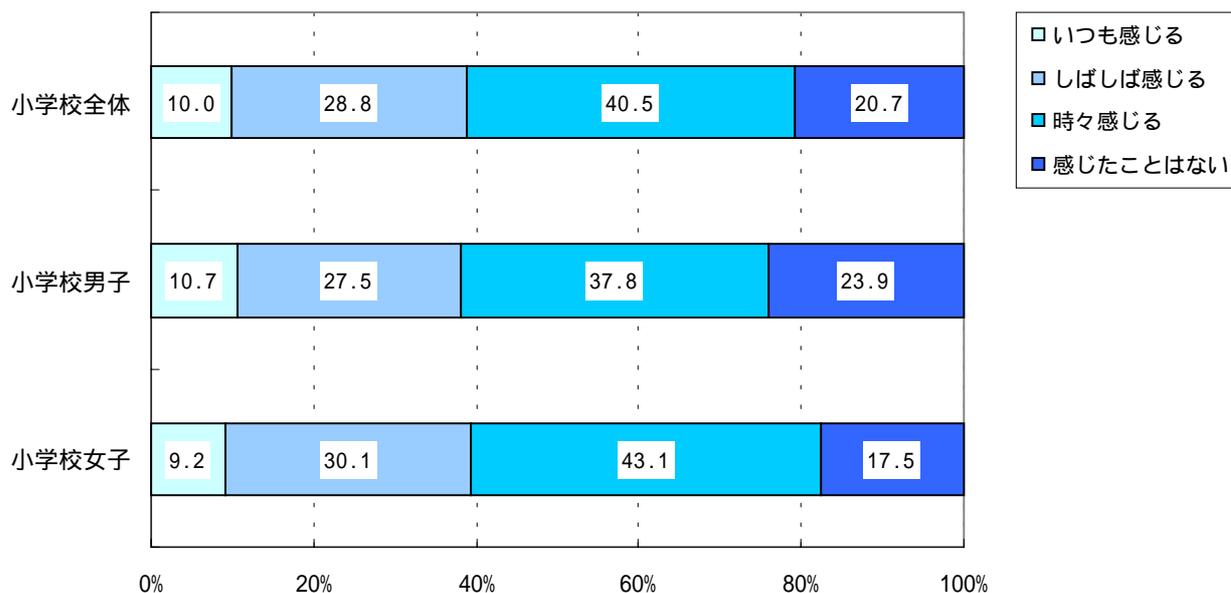


図 - 53 体がだるい（小学校）

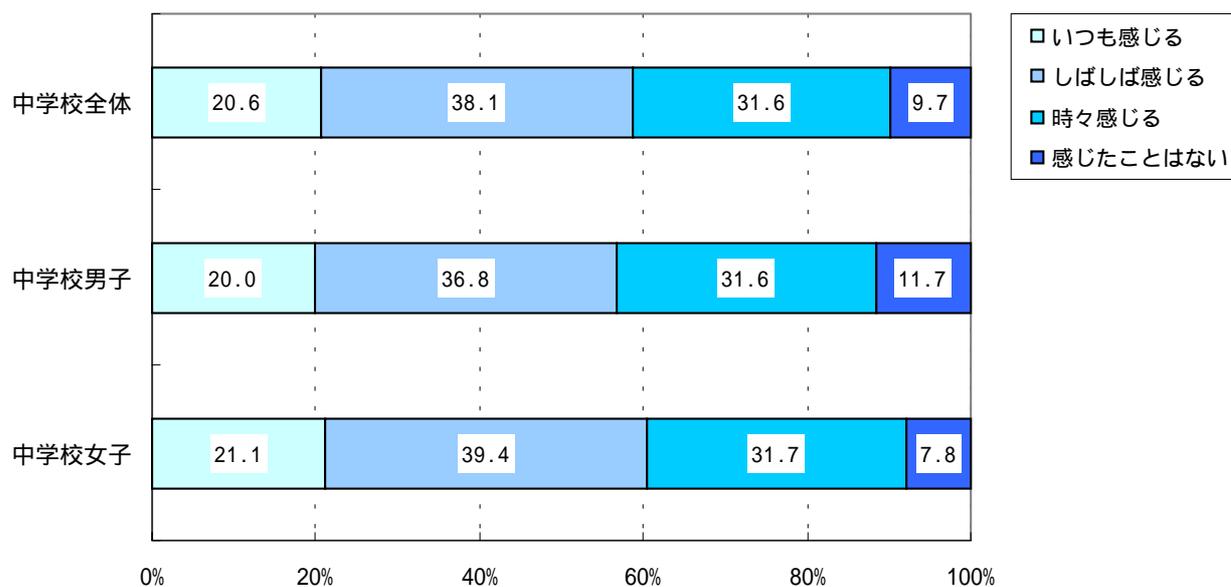


図 - 54 体がだるい（中学校）

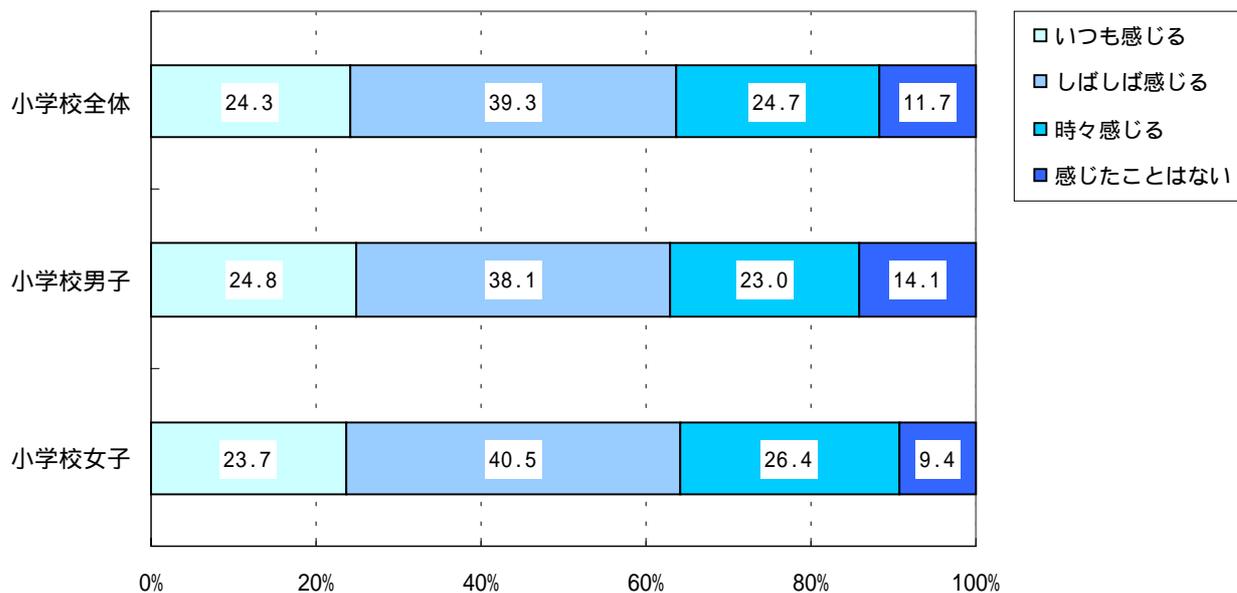


図 - 55 つかれる（小学校）

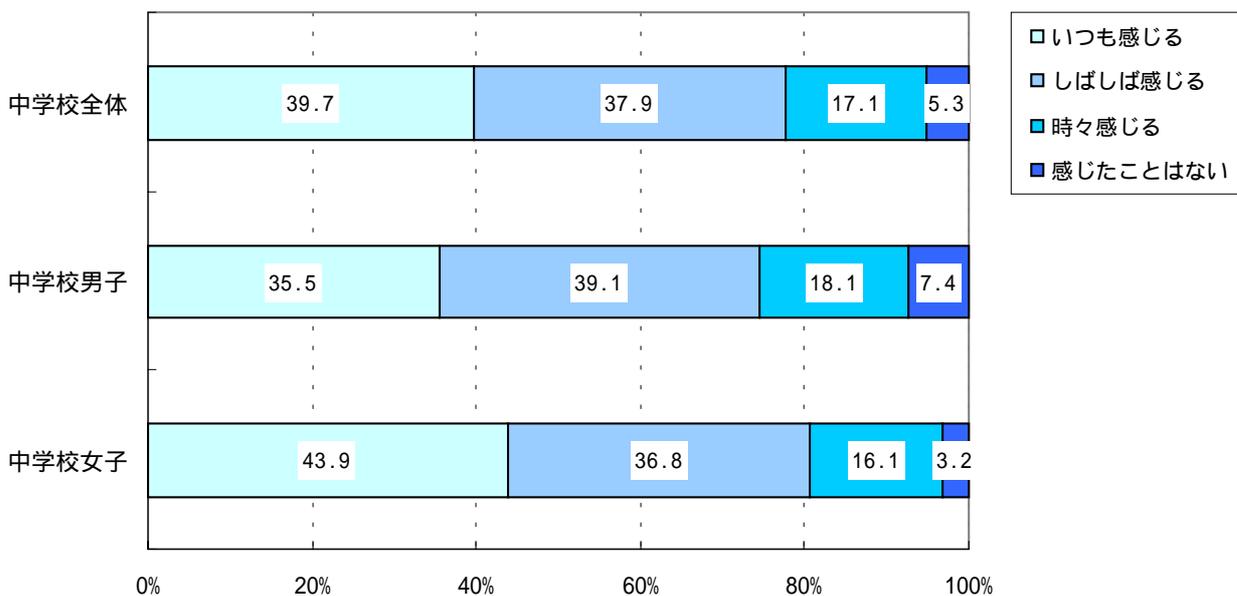


図 - 56 つかれる（中学校）

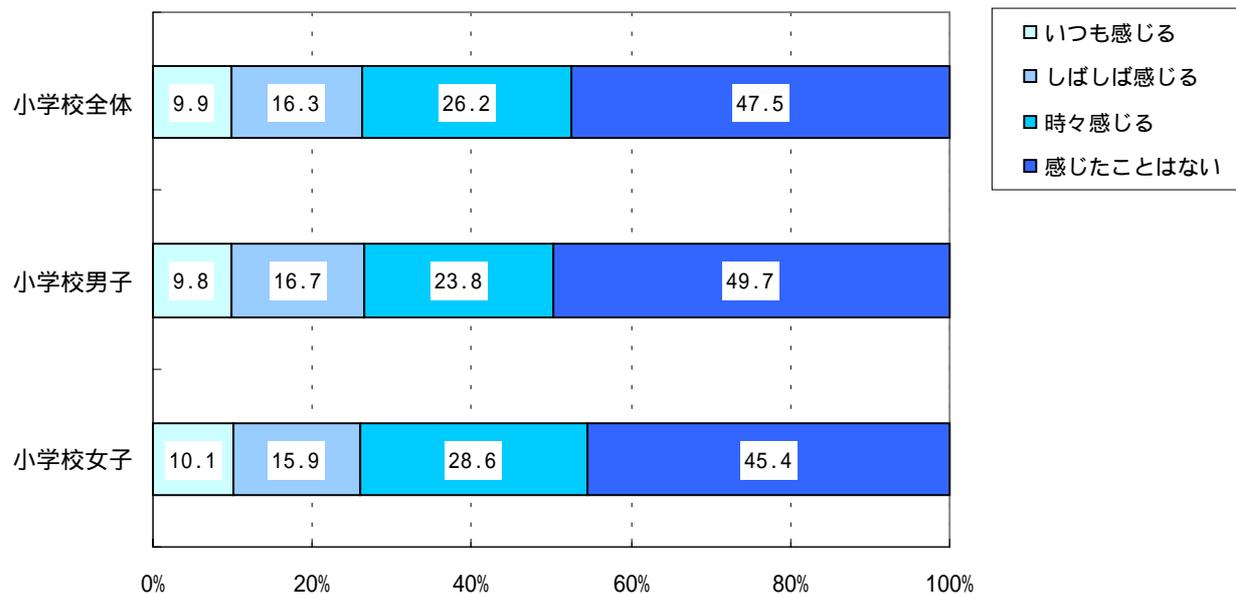


図 - 57 肩がこる（小学校）

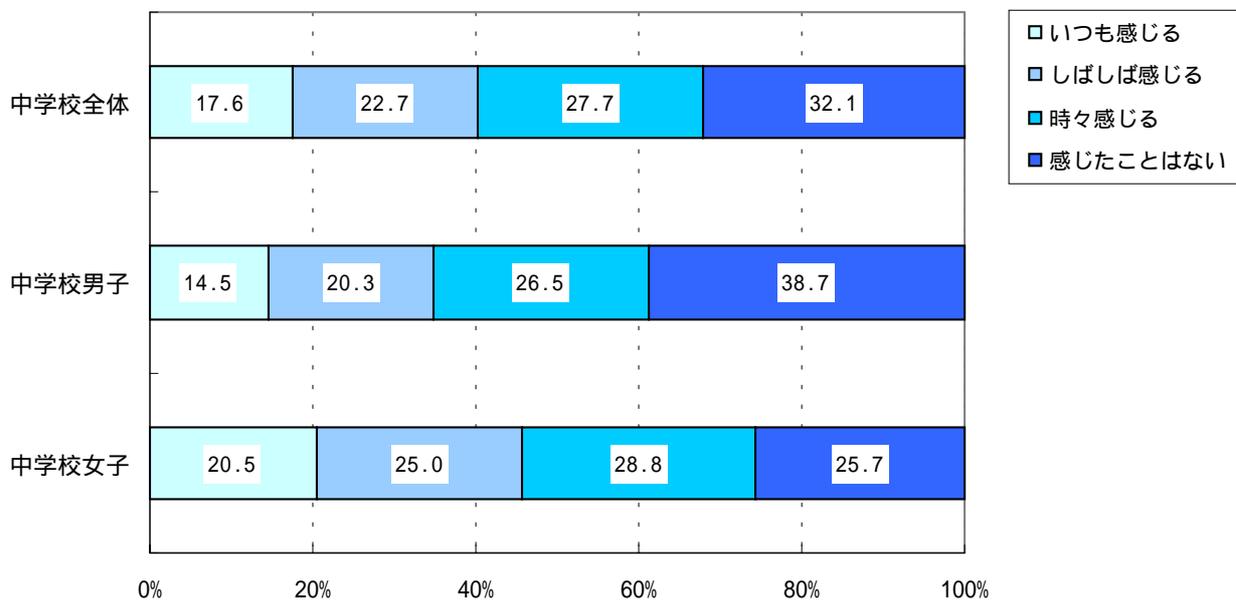


図 - 58 肩がこる（中学校）

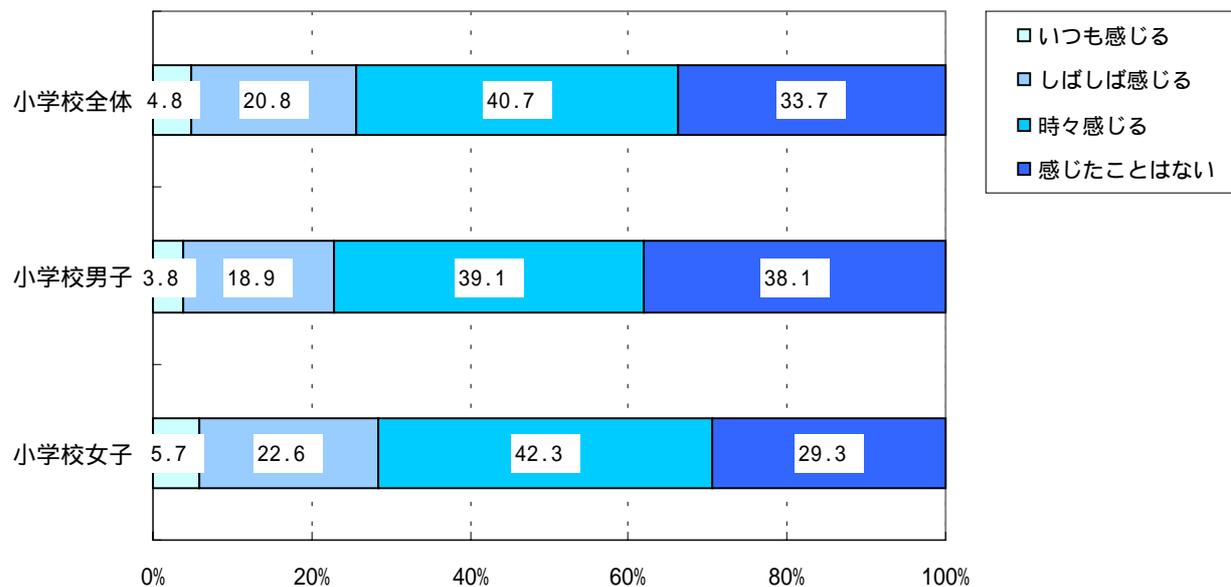


図 - 59 頭痛がする（小学校）

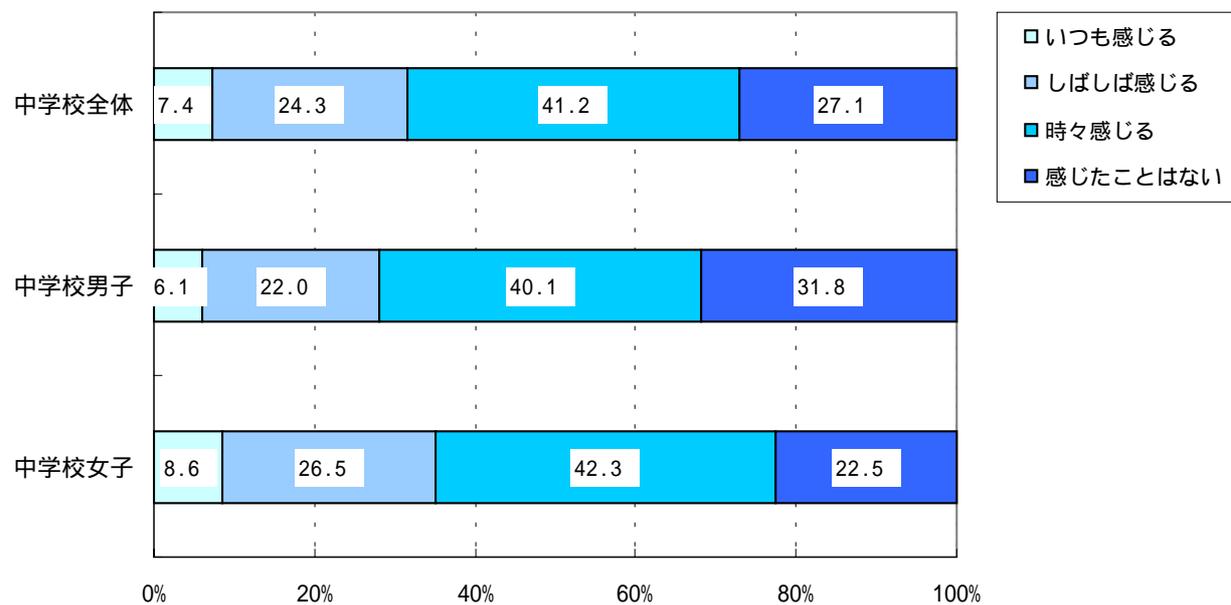


図 - 60 頭痛がする（中学校）

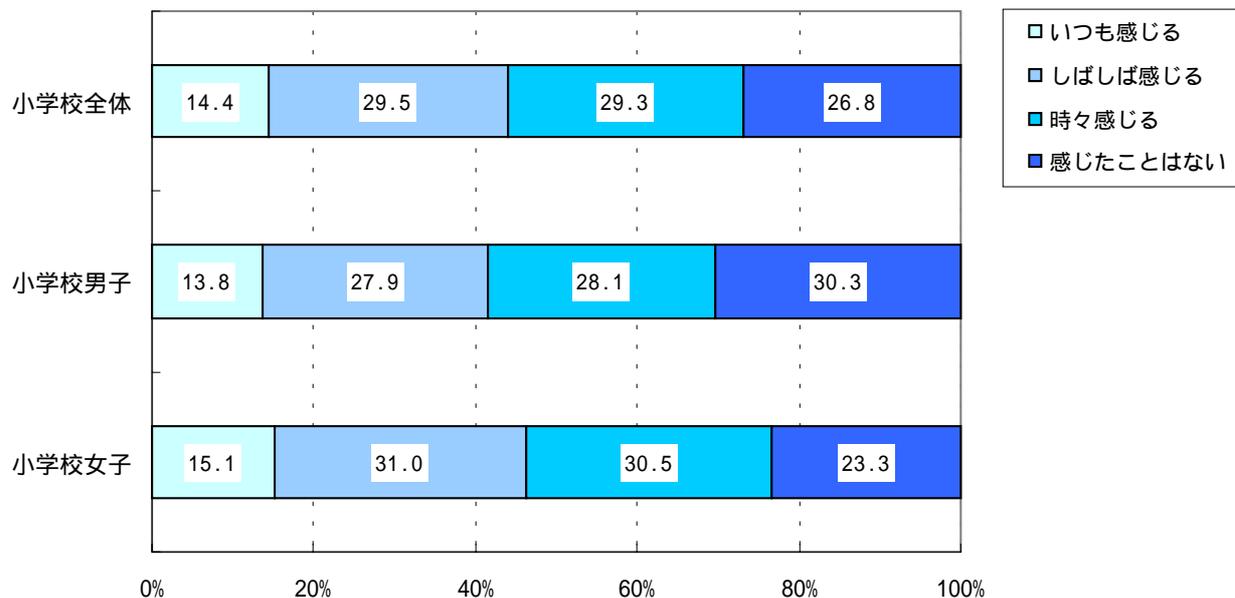


図 - 61 目が見つかる（小学校）

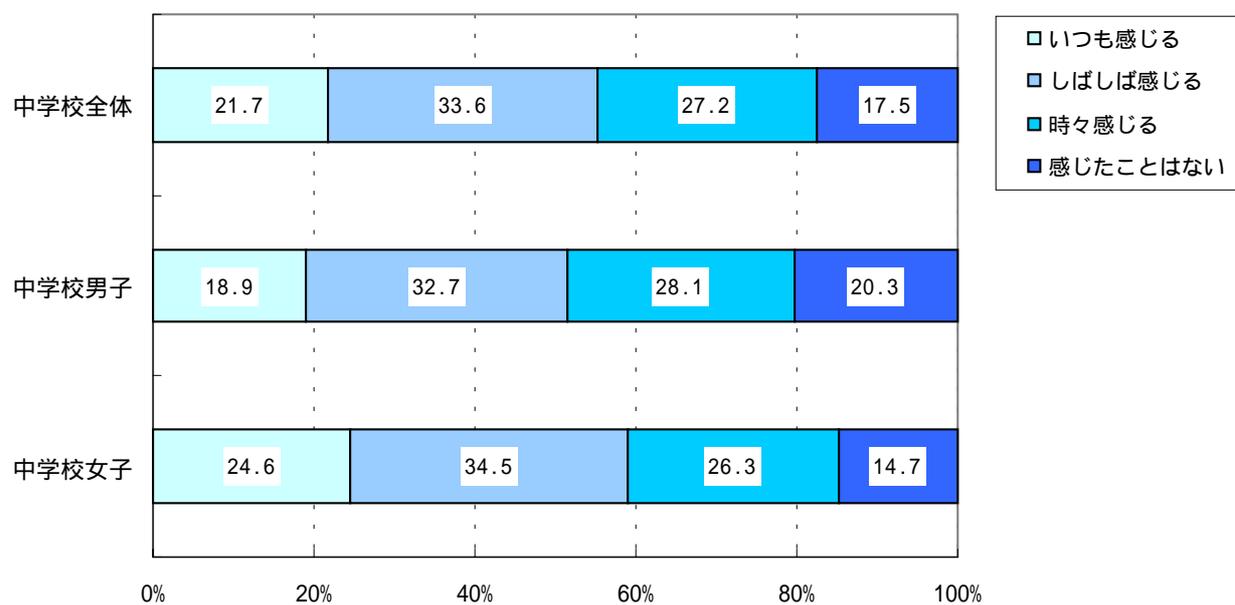


図 - 62 目が見つかる（中学校）

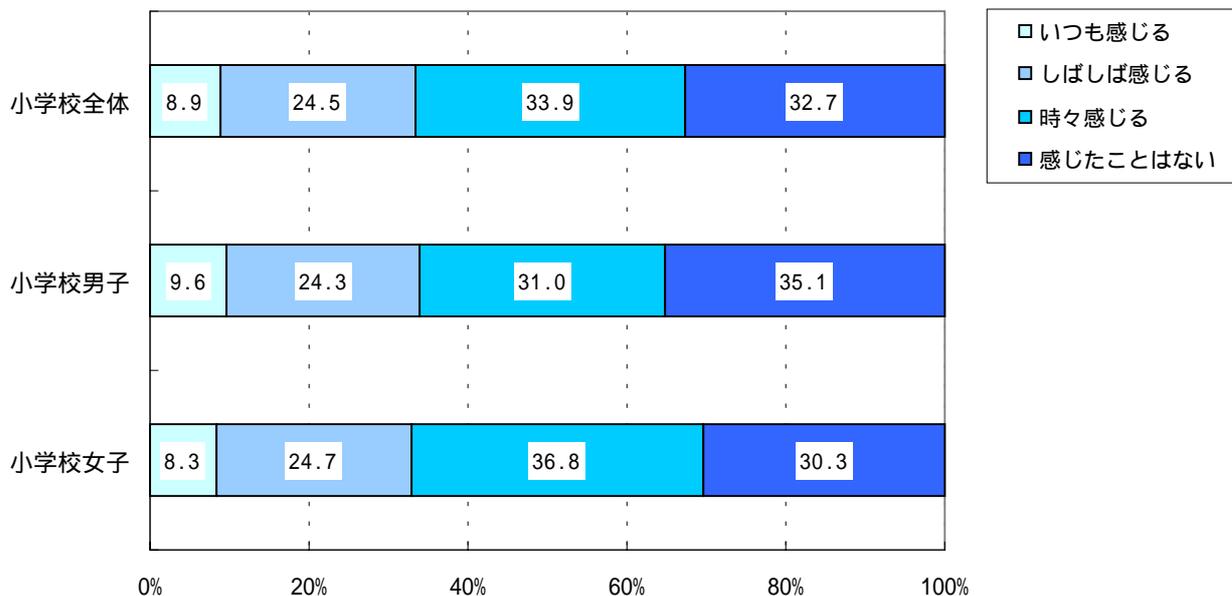


図 - 63 何もやる気が起こらない（小学校）

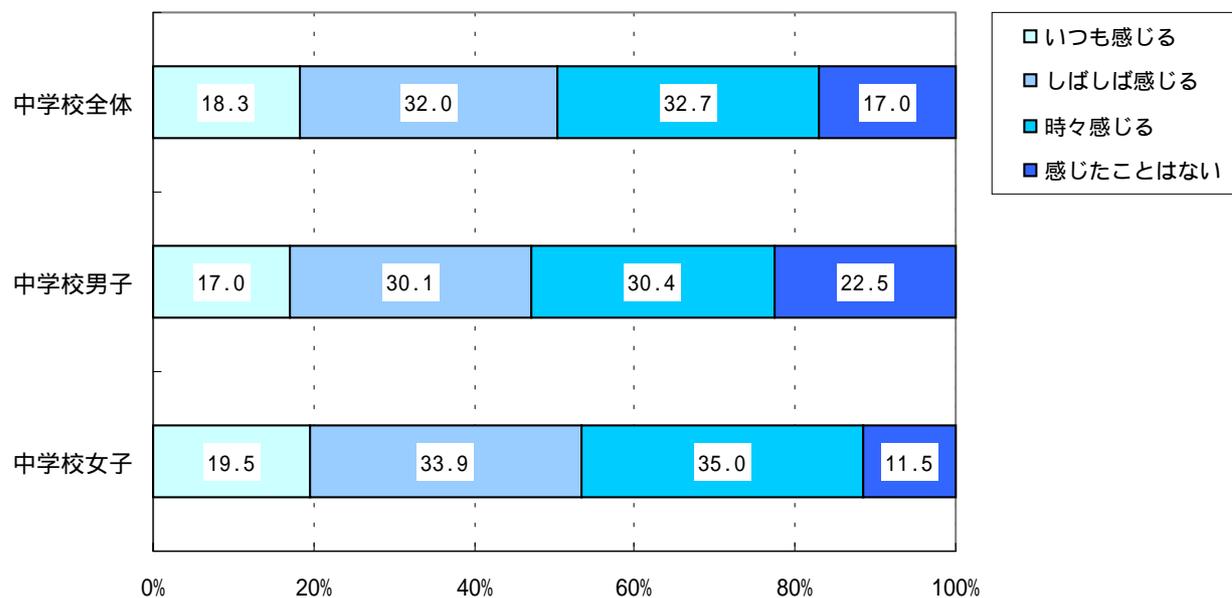


図 - 64 何もやる気が起こらない（中学校）

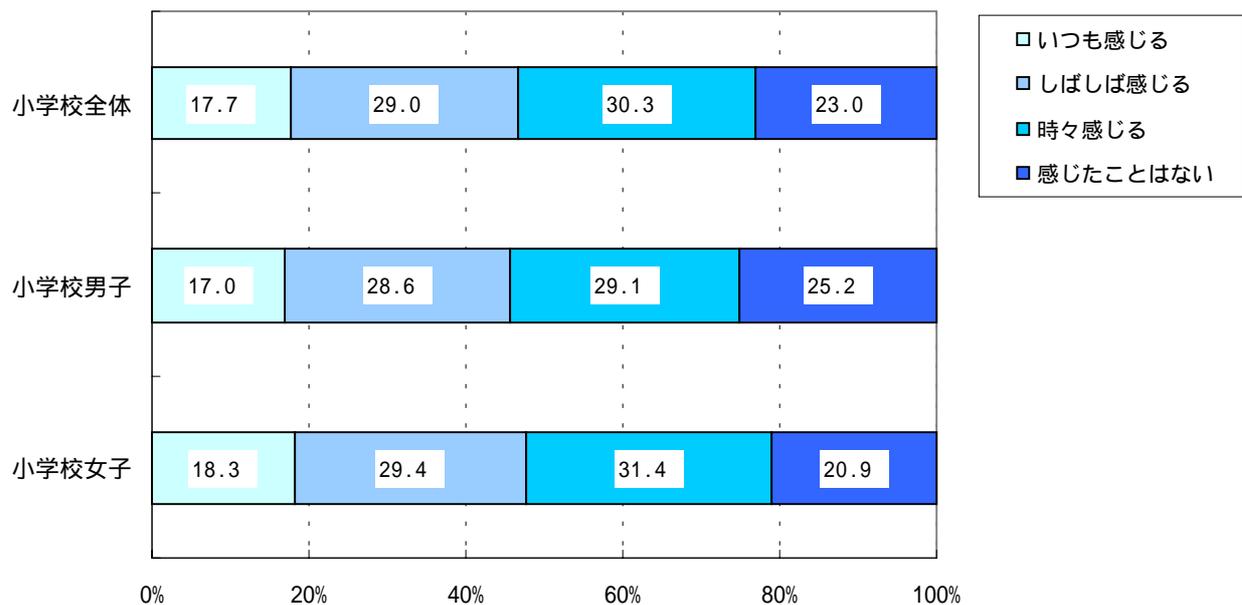


図 - 65 イライラする（小学校）

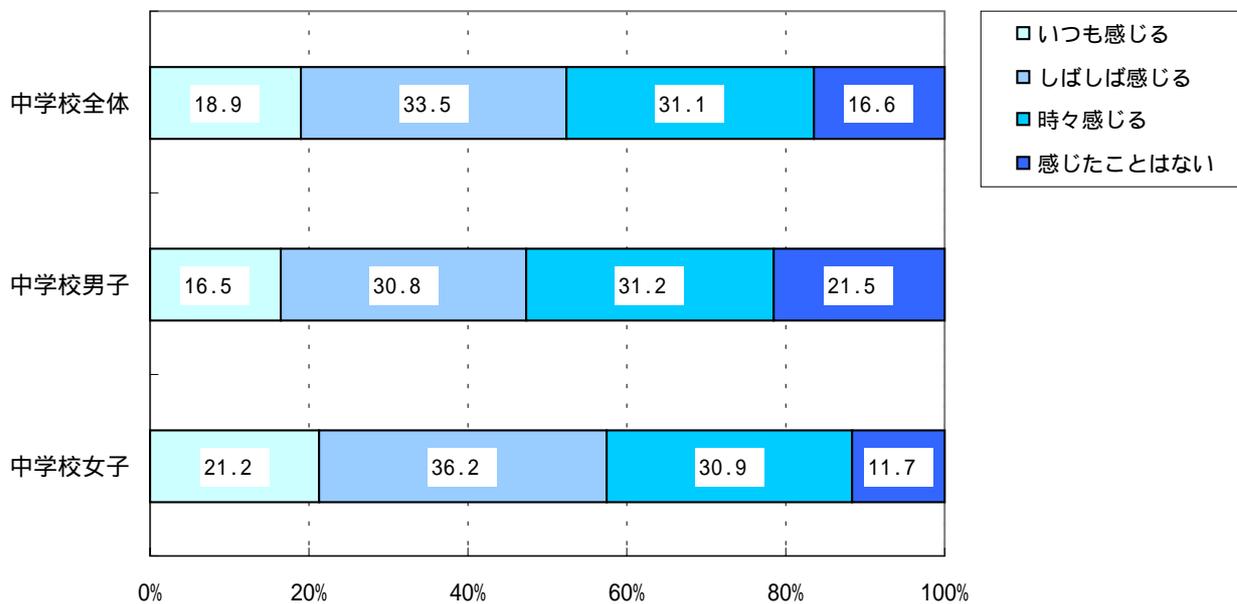


図 - 66 イライラする（中学校）

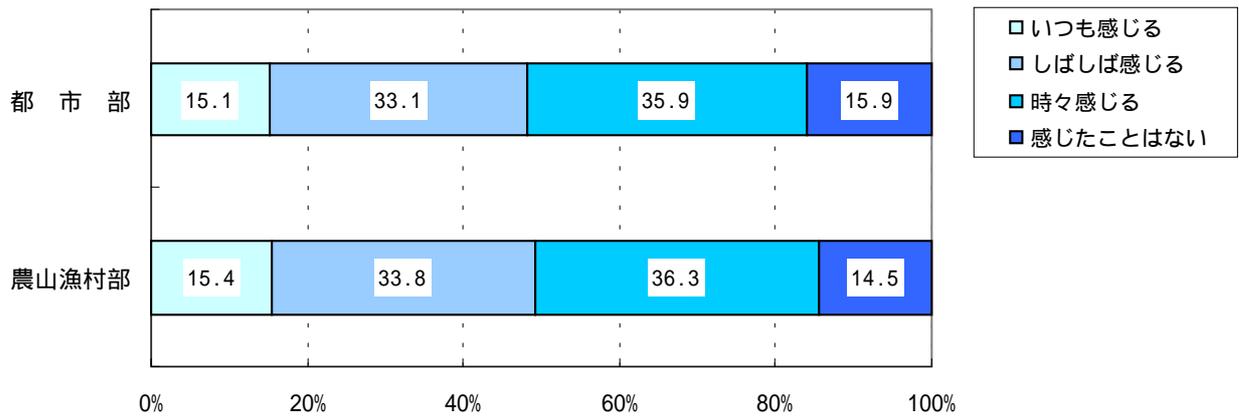


図 - 67 体がだるい《環境別》

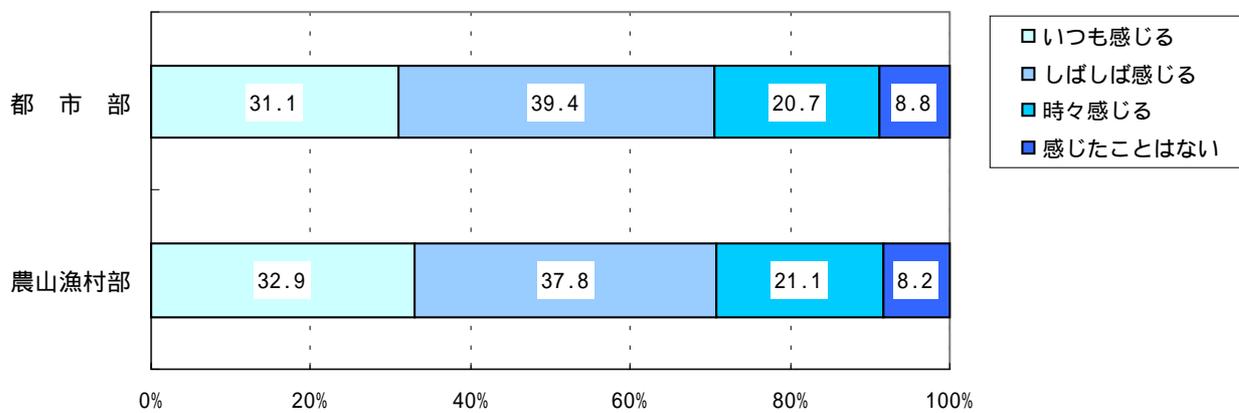


図 - 68 つかれる《環境別》

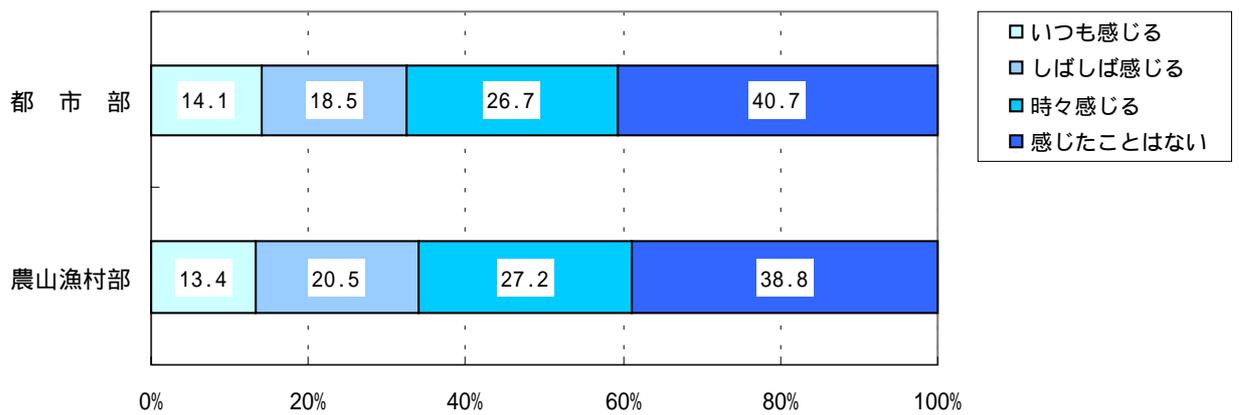


図 - 69 肩がこる《環境別》

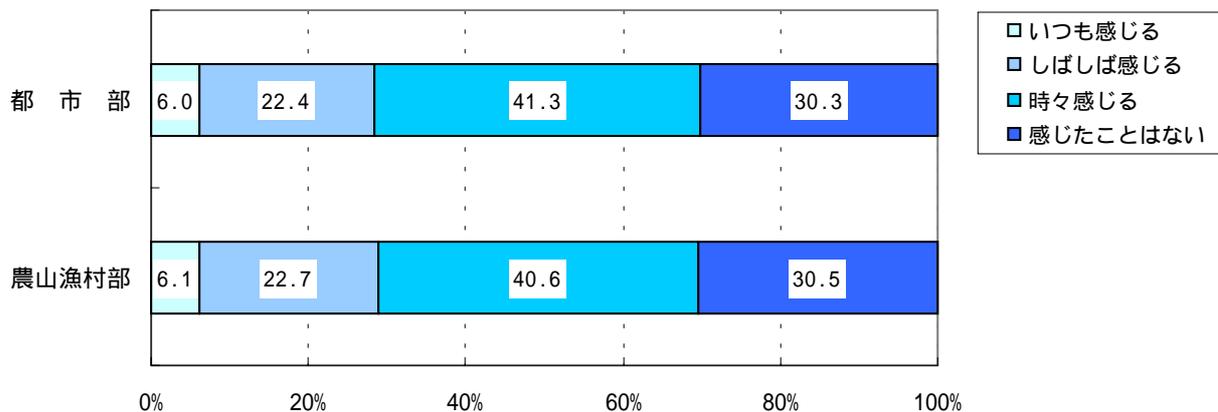


図 - 70 頭痛がする《環境別》

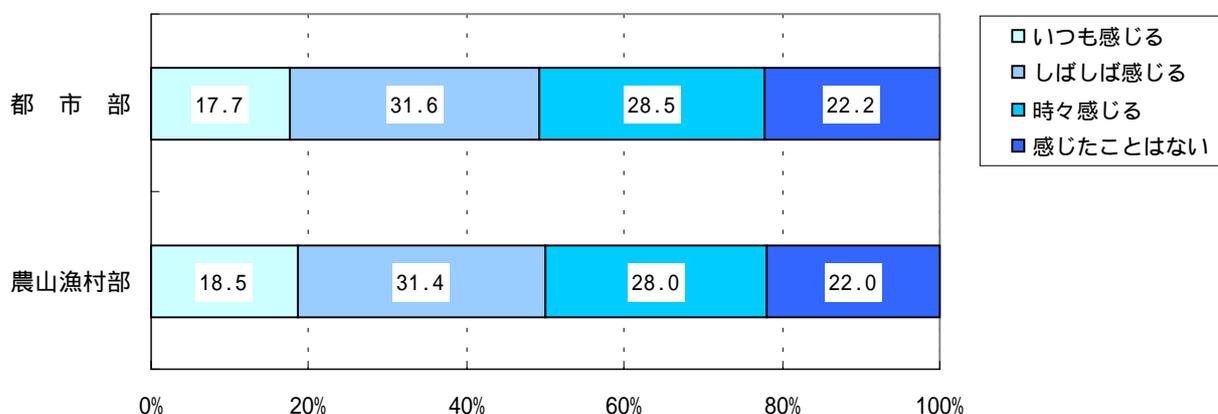


図 - 71 目が見つかる《環境別》

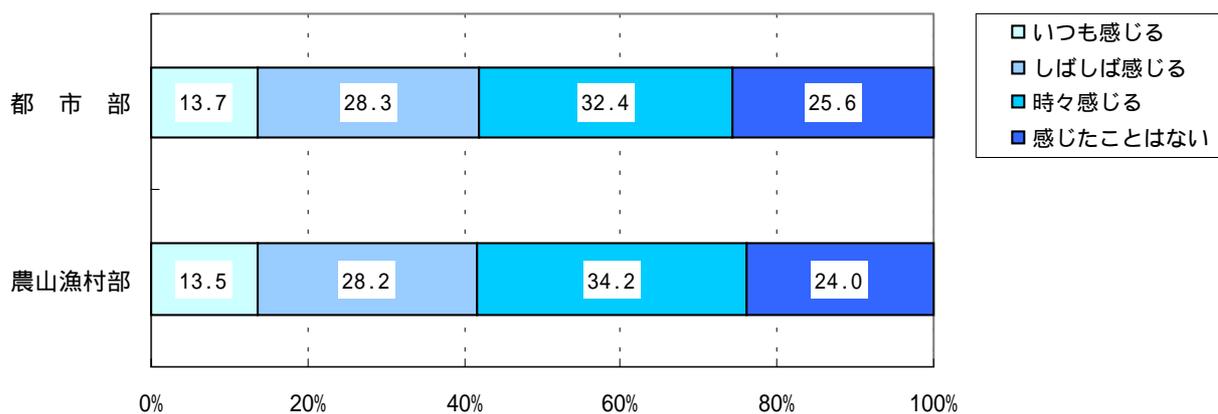


図 - 72 何もやる気が起こらない《環境別》

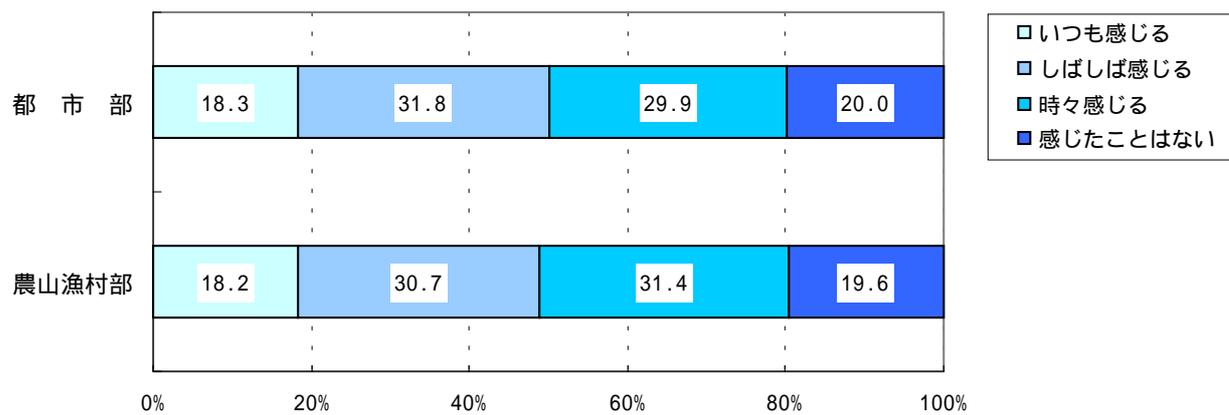


図 - 73 イライラする《環境別》

児童生徒の「朝食の欠食状況」と「不定愁訴」の関係について

図 74～図 87 を概観すると朝食の欠食と有症状率との間には、関係を見ることができる

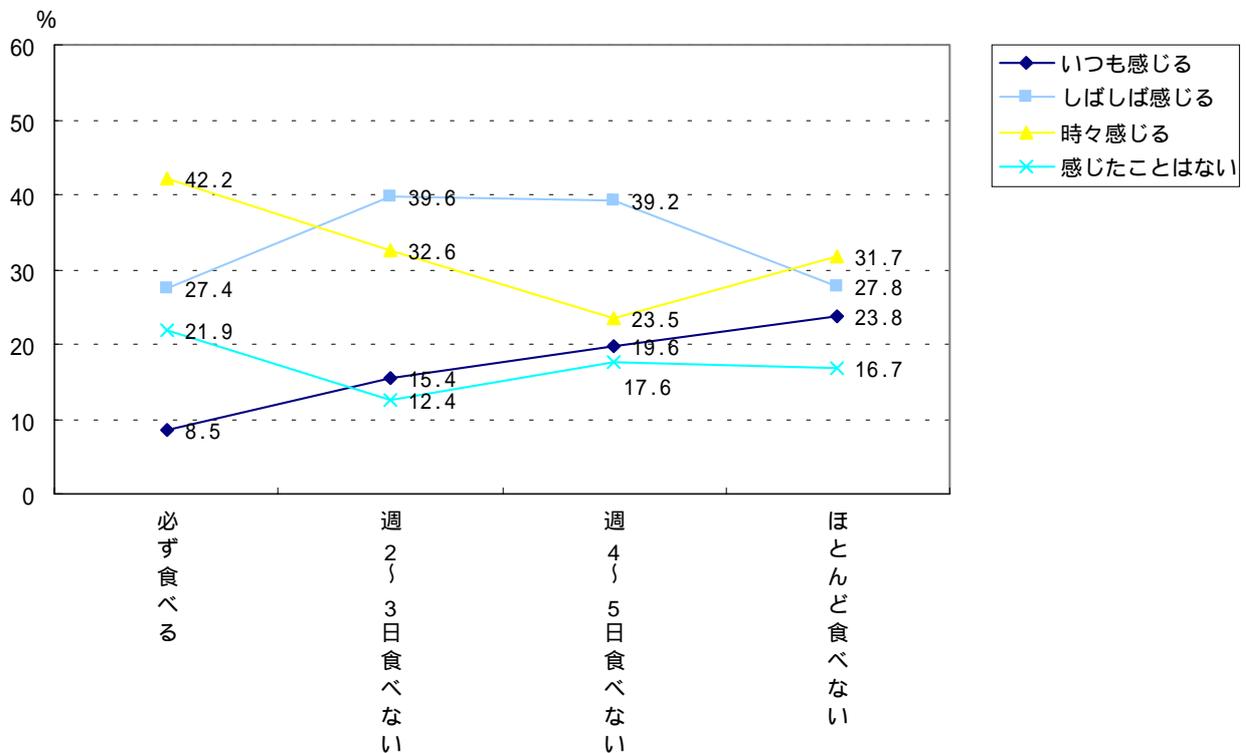


図 - 74 「朝食欠食」と「体がだるい」の関係（小学校）

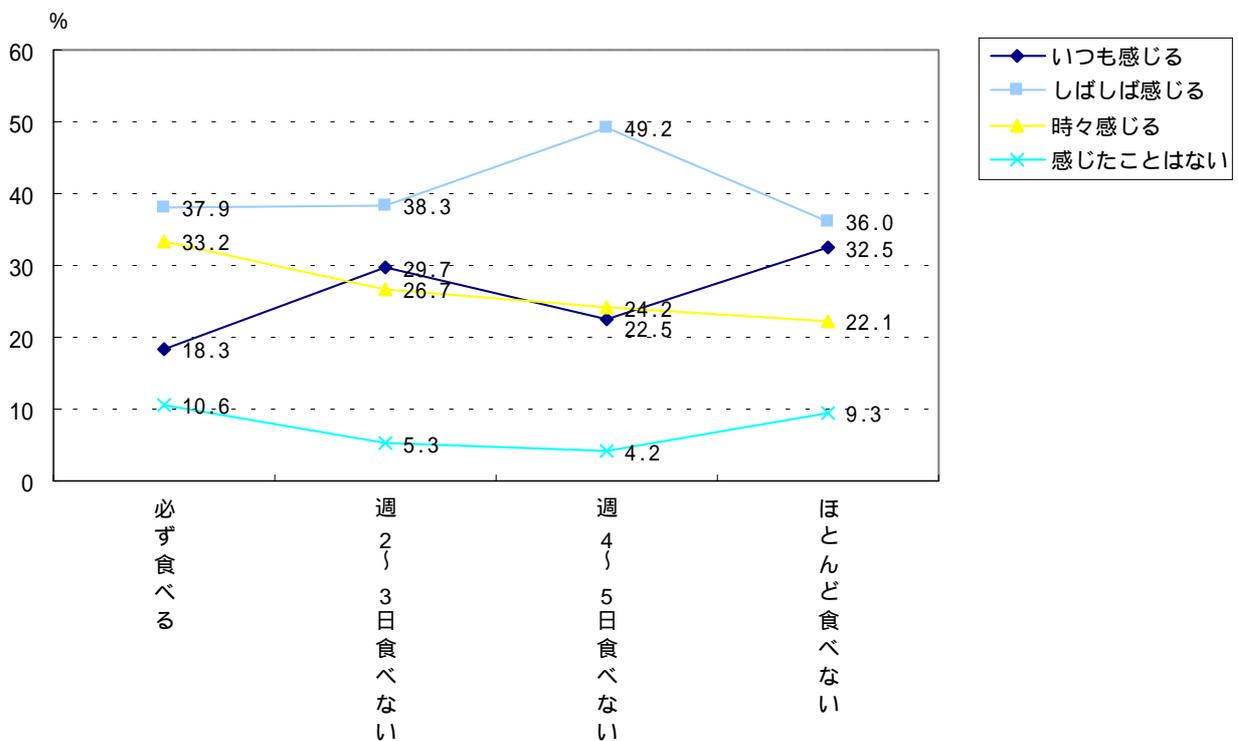


図 - 75 「朝食欠食」と「体がだるい」の関係（中学校）

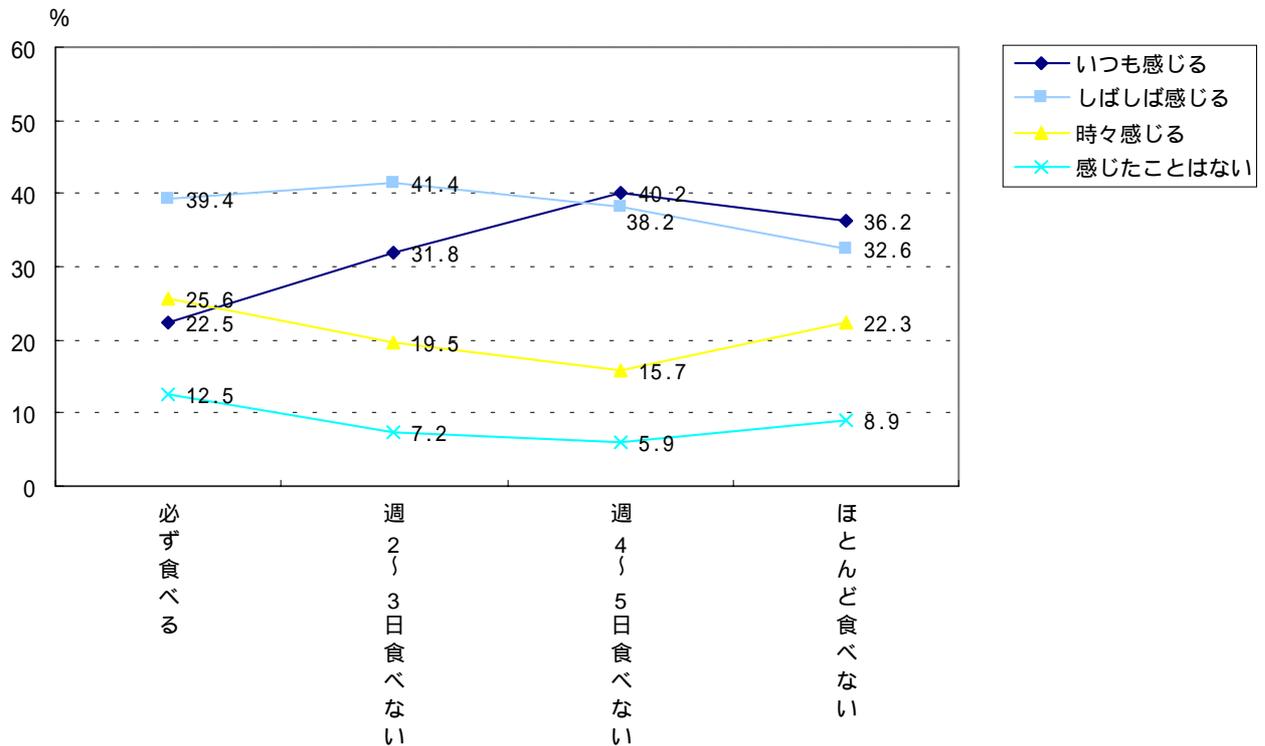


図 - 76 「朝食欠食」と「つかれる」の関係（小学校）

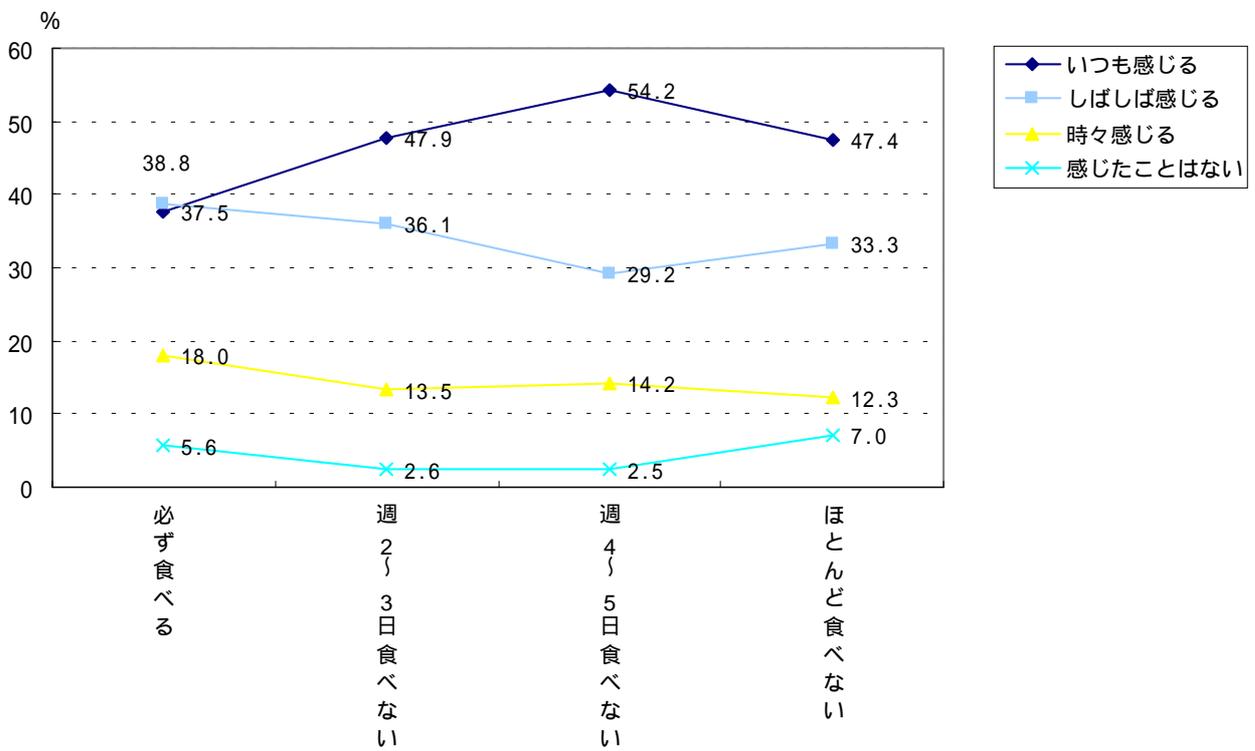


図 - 77 「朝食欠食」と「つかれる」の関係（中学校）

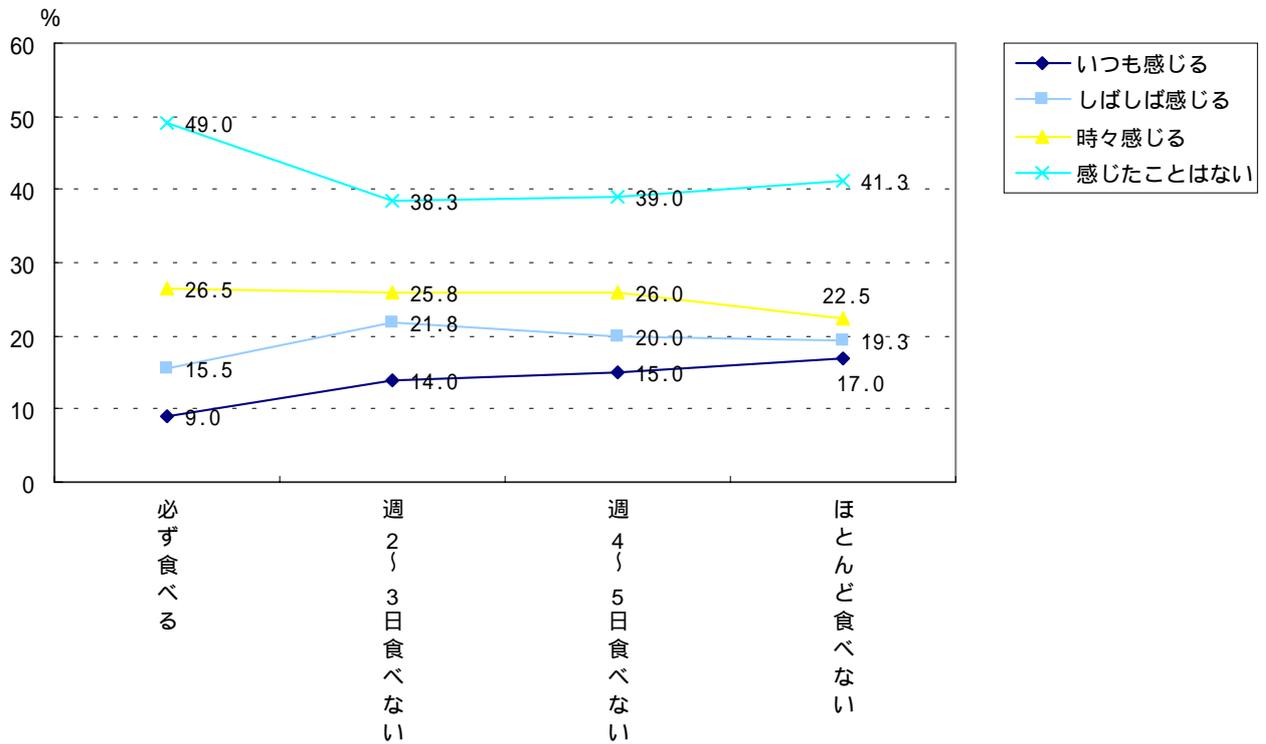


図 - 78 「朝食欠食」と「肩がこる」の関係（小学校）

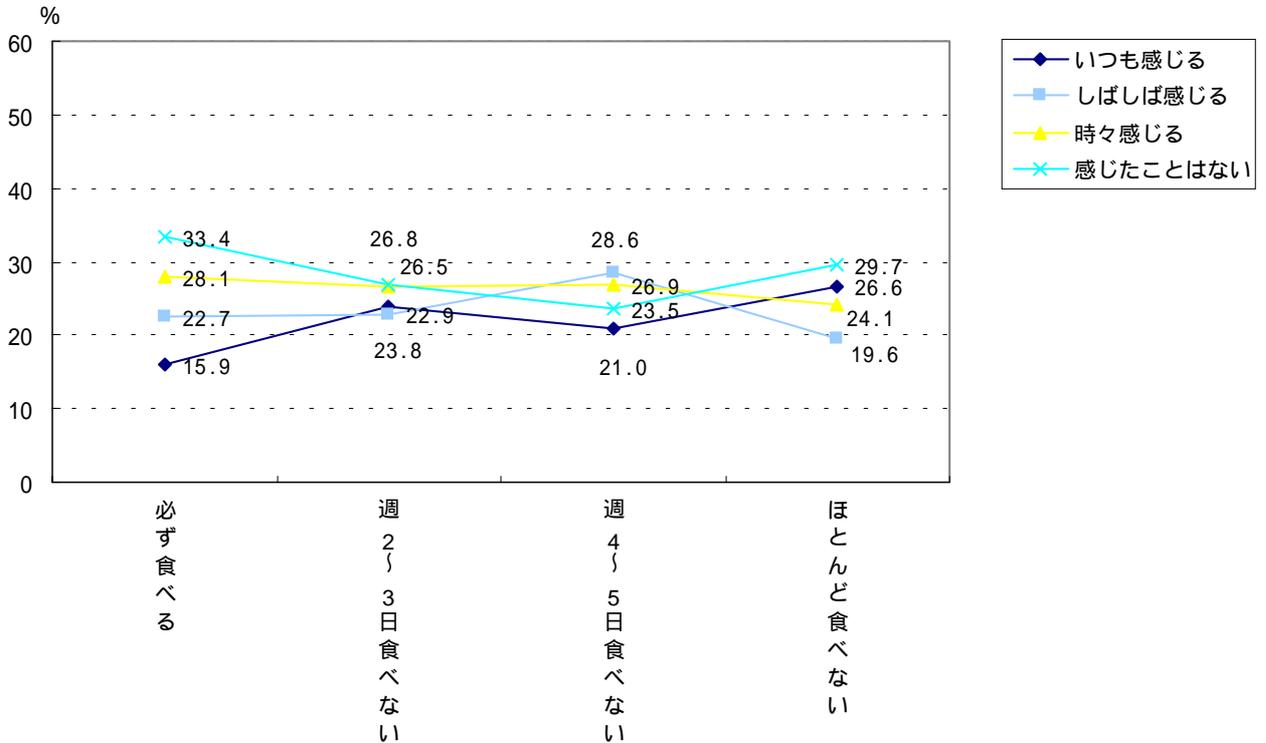


図 - 79 「朝食欠食」と「肩がこる」の関係（中学校）

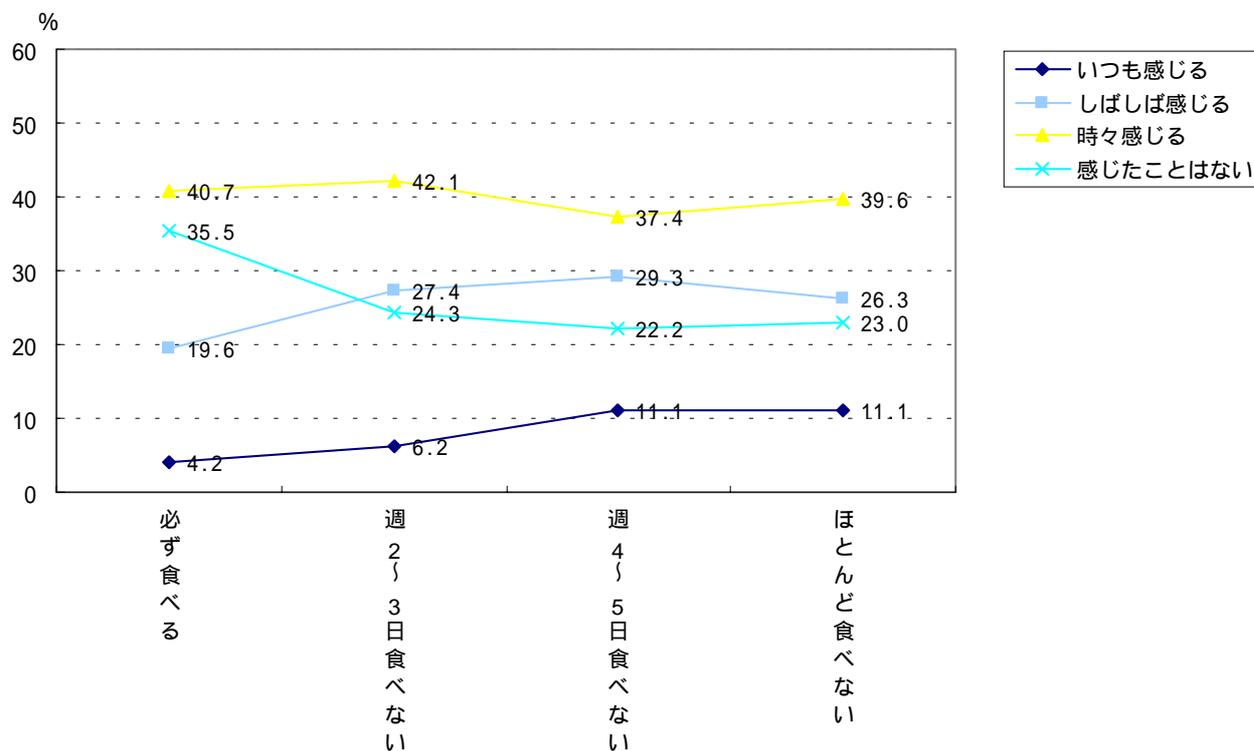


図 - 80 「朝食欠食」と「頭痛がする」の関係（小学校）

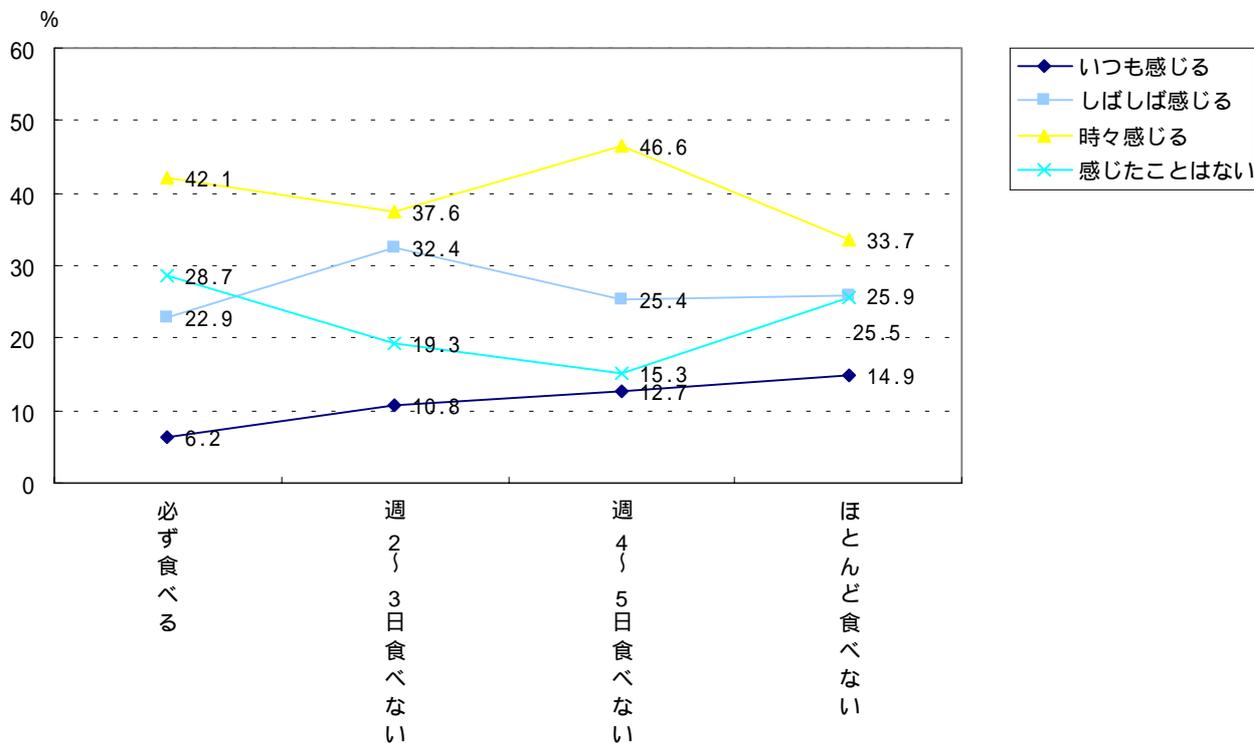


図 - 81 「朝食欠食」と「頭痛がする」の関係（中学校）

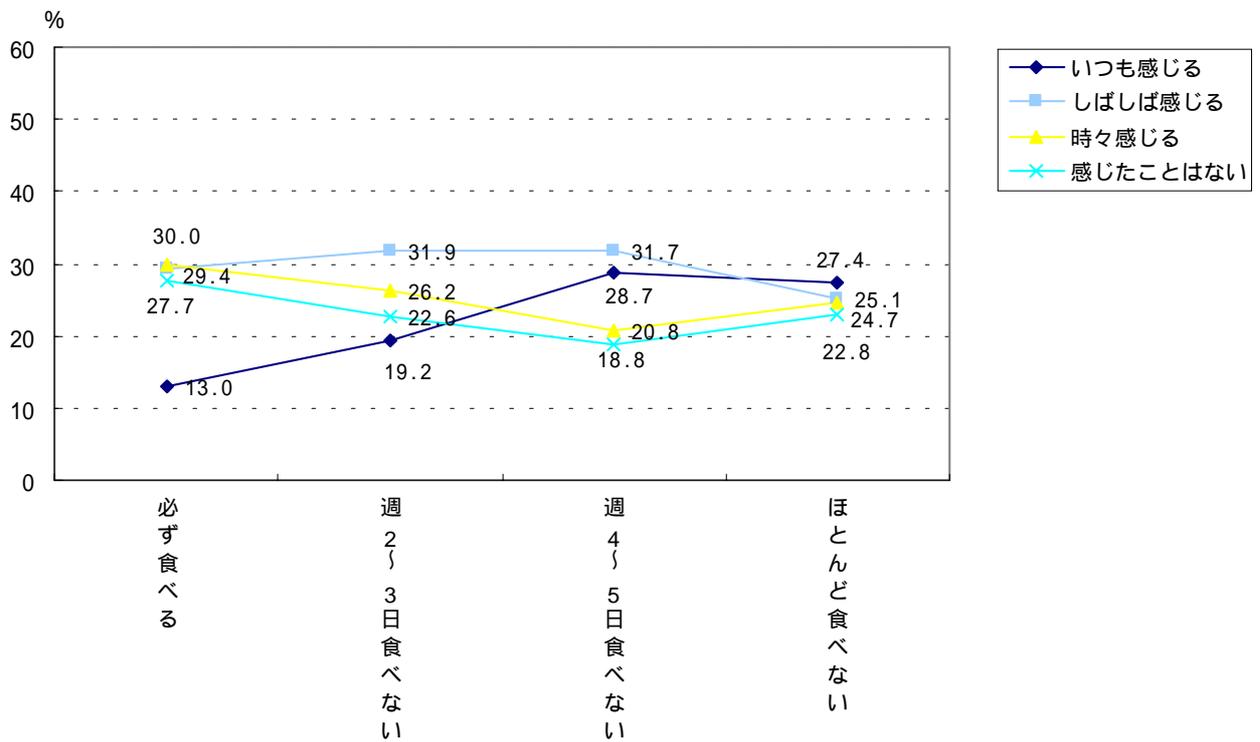


図 - 82 「朝食欠食」と「目が見つかる」の関係（小学校）

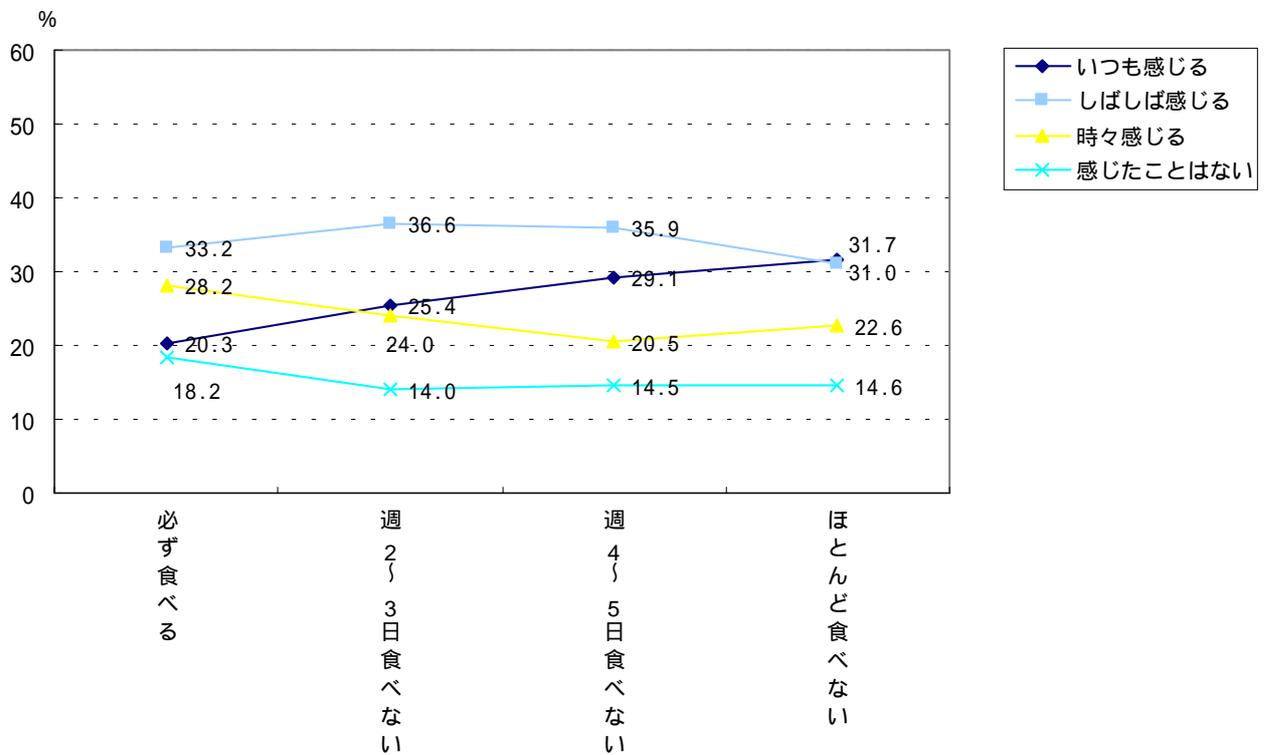


図 - 83 「朝食欠食」と「目が見つかる」の関係（中学校）

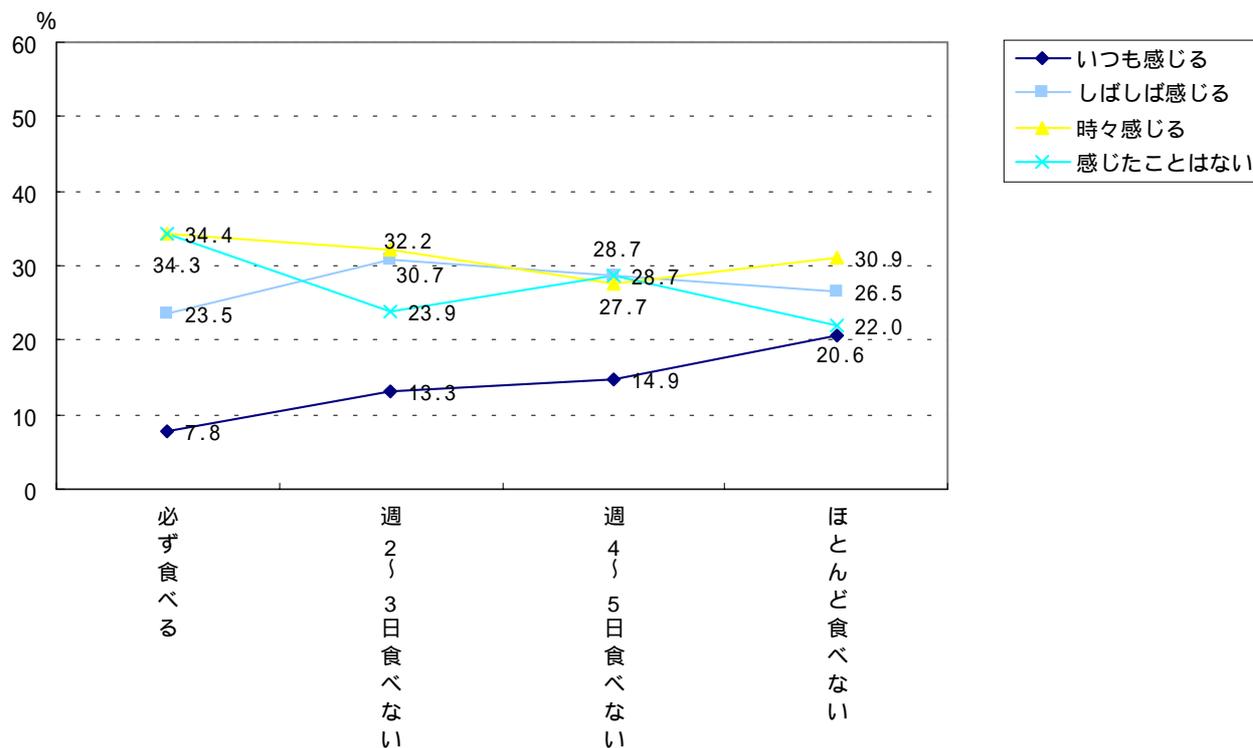


図 - 84 「朝食欠食」と「何もやる気が起こらない」の関係 (小学校)

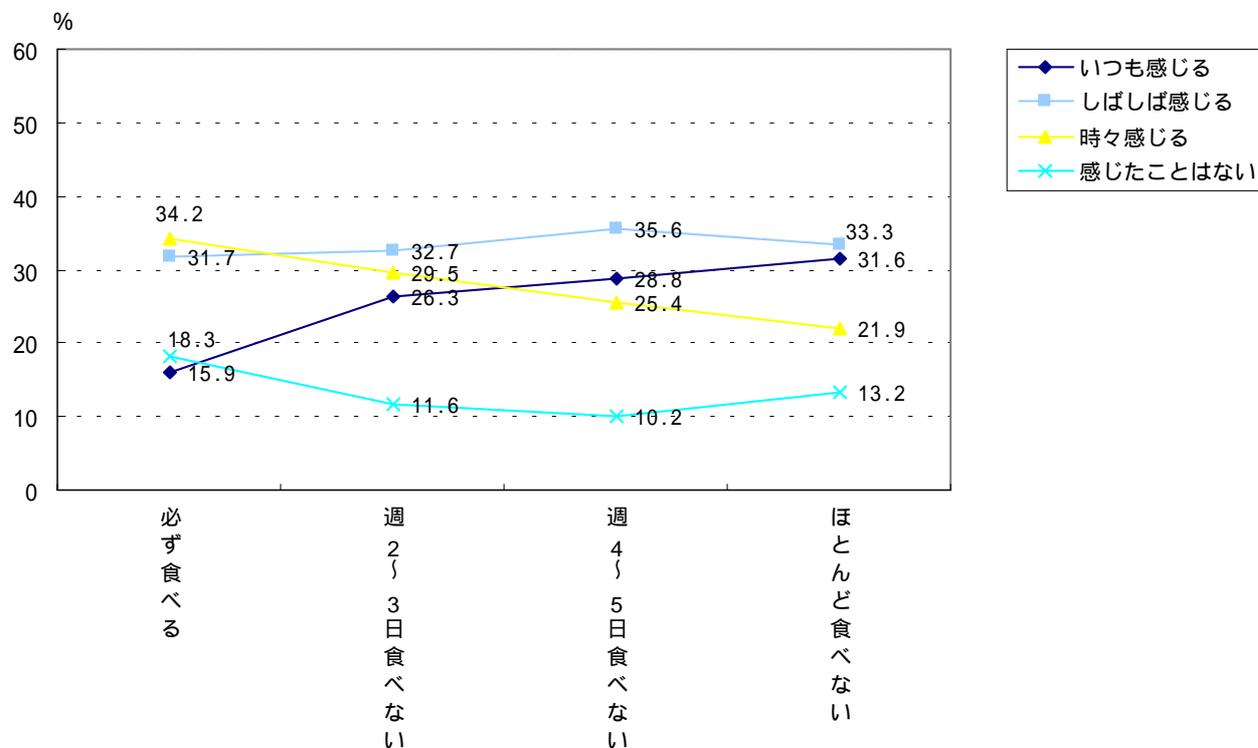


図 - 85 「朝食欠食」と「何もやる気が起こらない」の関係 (中学校)

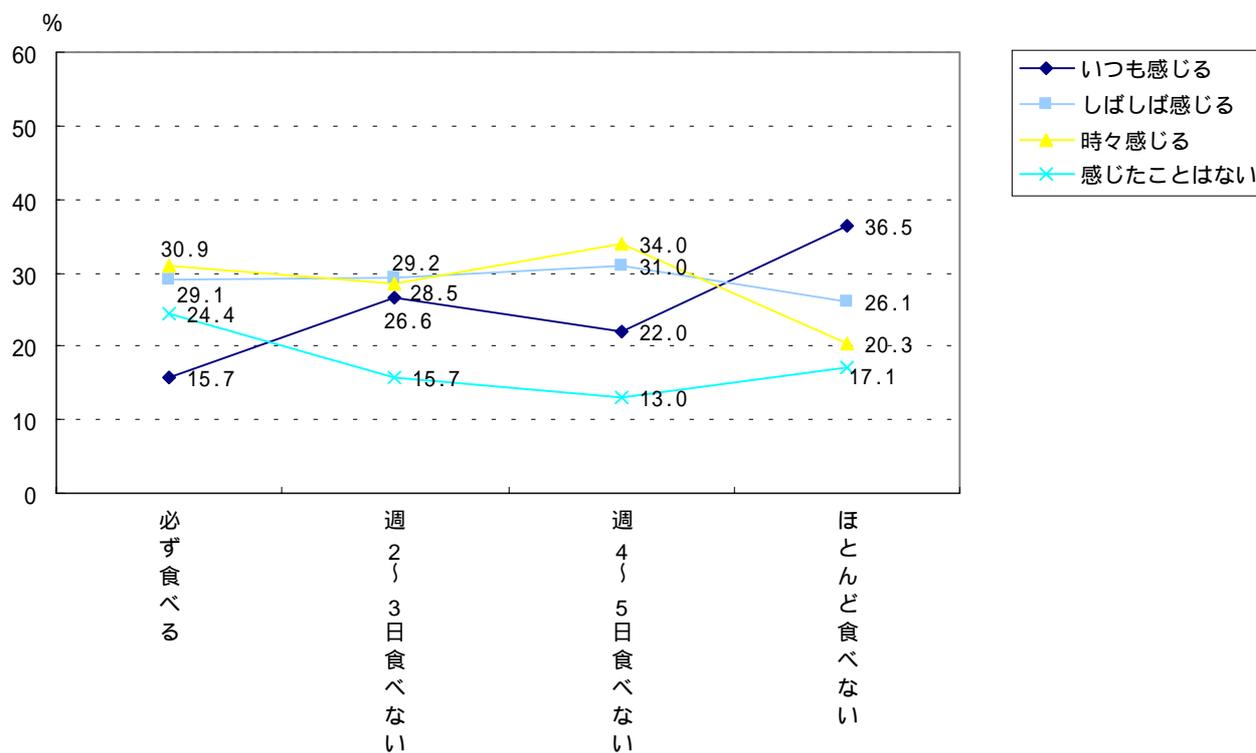


図 - 86 「朝食欠食」と「イライラする」の関係（小学校）

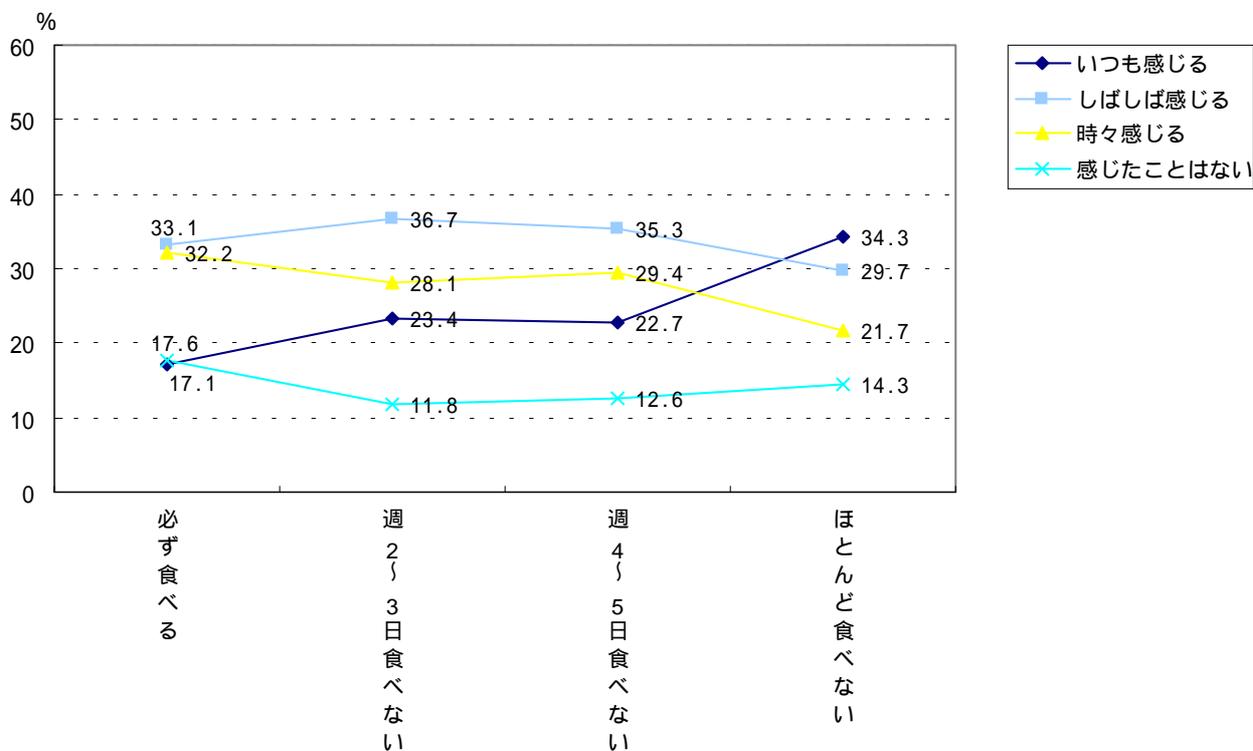


図 - 87 「朝食欠食」と「イライラする」の関係（中学校）

「学校給食を残すことがあるか」と「不定愁訴」の関係について

「学校給食を残すことがある」と回答した児童生徒の方が、不定愁訴を感じる割合が小学校、中学校とも若干高い。

学校給食を残すことがあるか

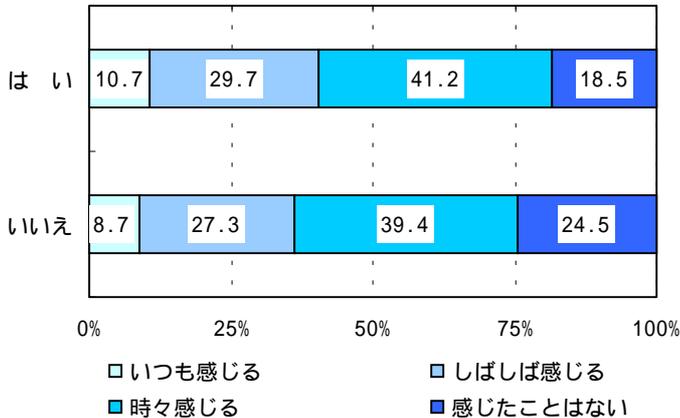


図-88 「学校給食を残すことがあるか」と「体がだるい」の関係(小学校)

学校給食を残すことがあるか

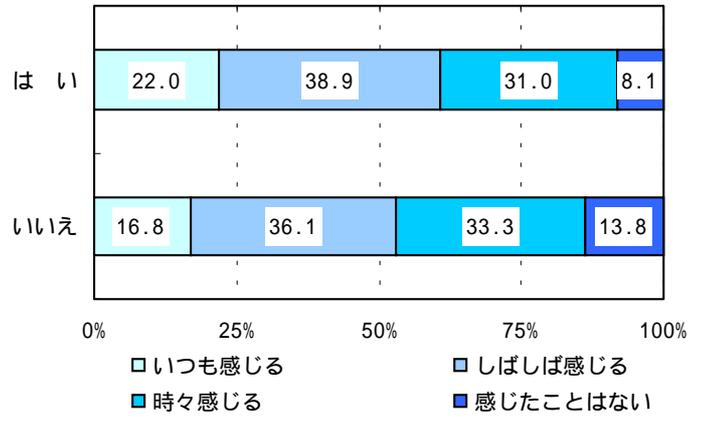


図-89 「学校給食を残すことがあるか」と「体がだるい」の関係(中学校)

学校給食を残すことがあるか

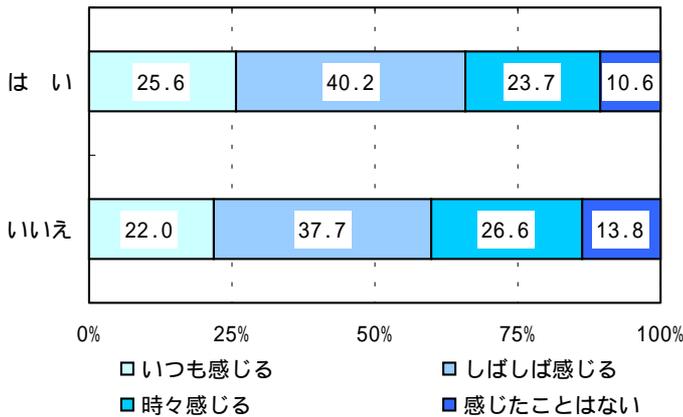


図-90 「学校給食を残すことがあるか」と「つかれる」の関係(小学校)

学校給食を残すことがあるか

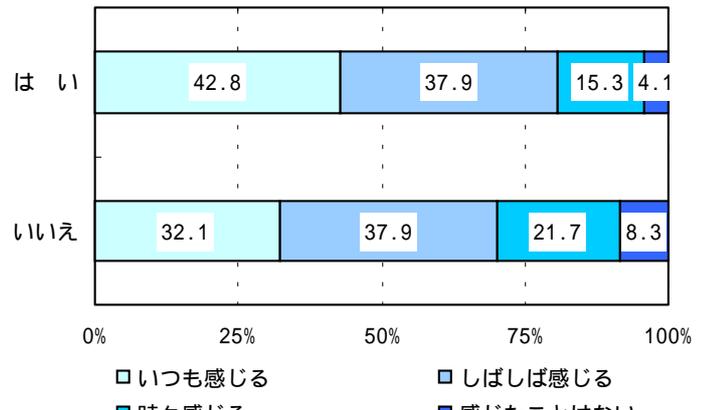


図-91 「学校給食を残すことがあるか」と「つかれる」の関係(中学校)

学校給食を残すことがあるか

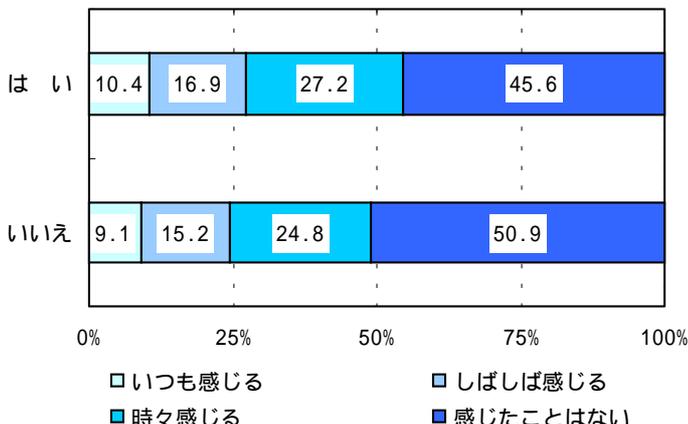


図-92 「学校給食を残すことがあるか」と「肩がこる」の関係(小学校)

学校給食を残すことがあるか

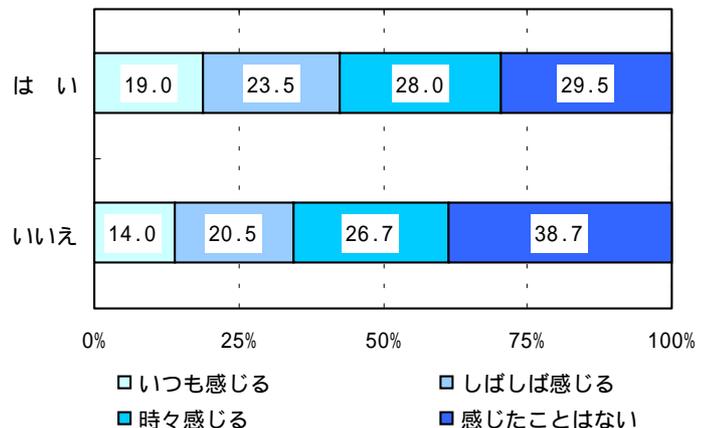


図-93 「学校給食を残すことがあるか」と「肩がこる」の関係(中学校)

学校給食を残すことがあるか

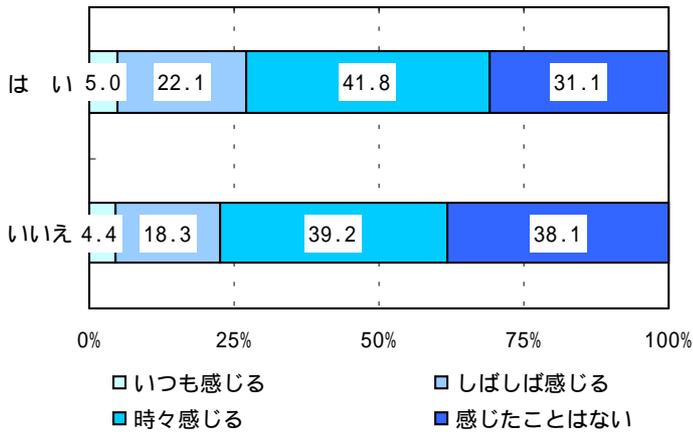


図-94 「学校給食を残すことがあるか」と「頭痛がする」の関係(小学校)

学校給食を残すことがあるか

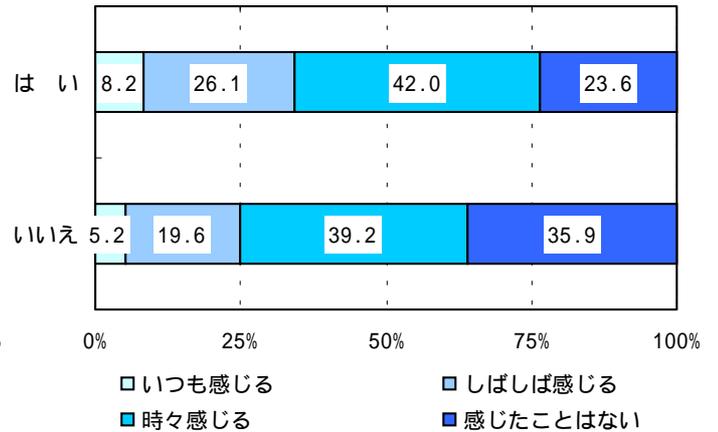


図-95 「学校給食を残すことがあるか」と「頭痛がする」の関係(中学校)

学校給食を残すことがあるか

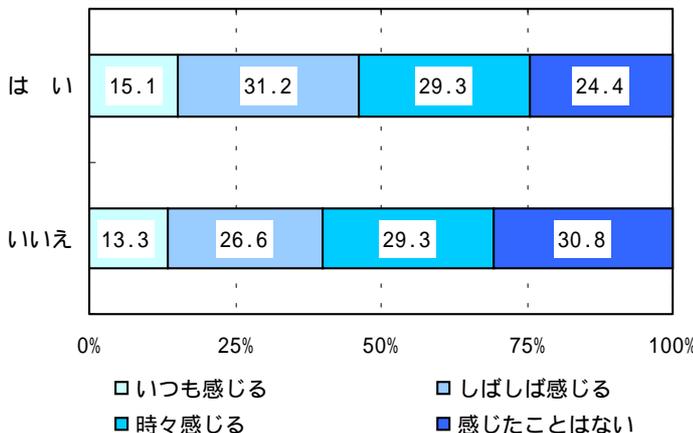


図-96 「学校給食を残すことがあるか」と「目がつかれる」の関係(小学校)

学校給食を残すことがあるか

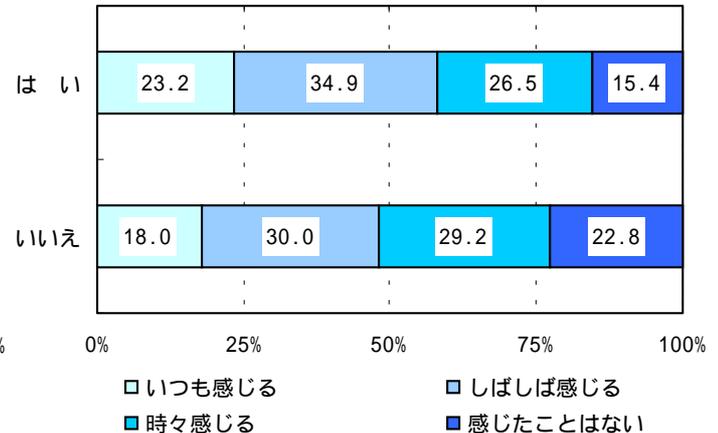


図-97 「学校給食を残すことがあるか」と「目がつかれる」の関係(中学校)

学校給食を残すことがあるか

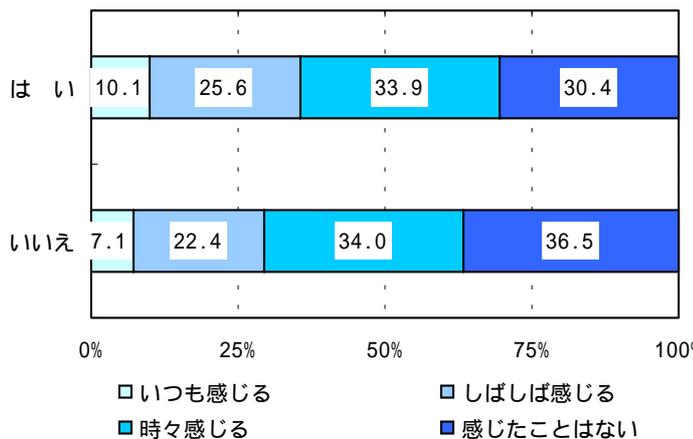


図-98 「学校給食を残すことがあるか」と「何もやる気が起こらない」の関係(小学校)

学校給食を残すことがあるか

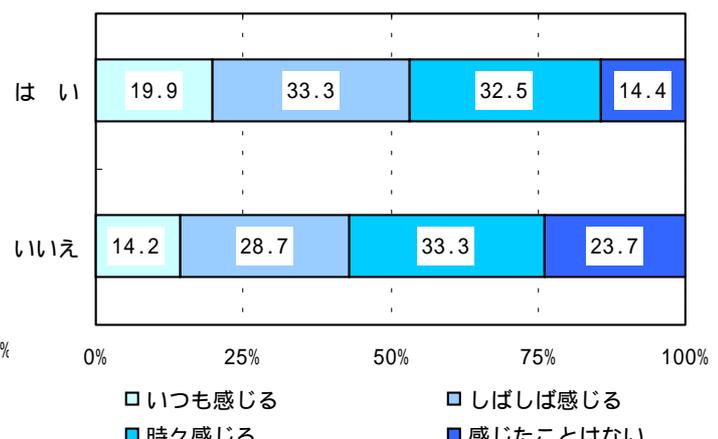
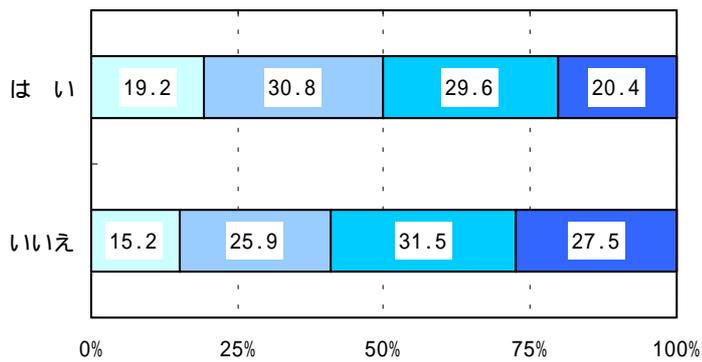


図-99 「学校給食を残すことがあるか」と「何もやる気が起こらない」の関係(中学校)

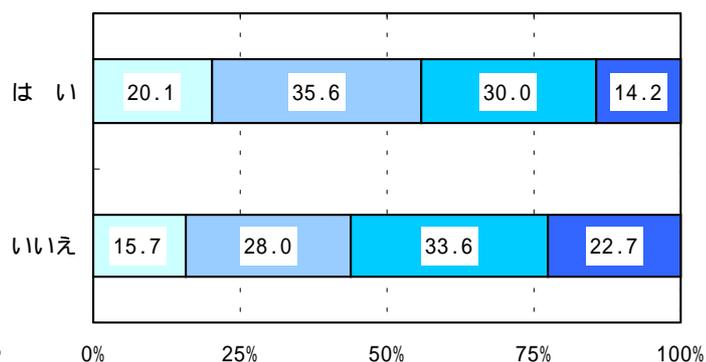
学校給食を残すことがあるか



いつも感じる しばしば感じる
 時々感じる 感じたことはない

図-100 「学校給食を残すことがあるか」と「イライラする」の関係(小学校)

学校給食を残すことがあるか



いつも感じる しばしば感じる
 時々感じる 感じたことはない

図-101 「学校給食を残すことがあるか」と「イライラする」の関係(中学校)